

會計課ニ廻付スルコト
三 前二項ノ外收支ニ關スル事務取扱規程(三十六年六月二十五日廳達第六號)ヲ準用スルコト

● 公金ニ對スル利息計算

報告方

明治四十年六月二十七日
訓令總第四三號

收入 役

〔何〕區役所

公金取扱ニ對シ本市現金取扱人ヨリ納付スル利息金計算報告方左ノ通心得ヘシ

一 公金及各種保證金ニ對スル利息計算報告ハ別紙様式ニ依リ其月一日ヨリ末日迄ノ分ヲ翌月五日迄ニ市參事會ニ報告スヘシ
但本年四月及五月分ハ各月分ヲ區別シ七月十日迄ニ一時ニ報告スヘシ

(別紙用紙)

(何)月中公金(又ハ保證金)明細書

月日	公金(又ハ保證金)	扣除額	差引殘額	殘額ニ對スル利息	摘要

備考

一本表作製ハ公金及保證金ヲ各別表ニ調製スヘシ

(別紙用紙)

(何)月中公金其他明細書(區役所訓令添付ノ分)

計	公金及各種保證金		差引殘額		殘額ニ對スル利息	
	月日各種保證金	扣除額	公金各種保證金	計	對スル利息	摘要

備考

- 一 公金及各種保證金中ニハ國稅、府稅、及入札保證金ヲ除キタル現金額ヲ記載スルコト
- 二 扣除額ハ前項ニ對スル十分ノ二(貳割)ニ相當スル金額ヲ記載スルコト
- 三 殘額ニ對シ附加スル利子ハ百圓ニ付日歩貳厘五毛ノ割合ヲ以テ計上スルコト
- 四 利子ノ計算ハ第一項ノ金額ヨリ第二項ノ金額ヲ扣除シタル殘額ニ對シ翌日ヨリ利息ヲ付スルコト但利息ヲ付スヘキ日カ一般休業日ニ當ルトキハ其翌日ヨリ起算シ百圓ヲ以テ單位トス
- 五 役所費其他一般經濟、水道費、給水工事費、區費及保證金ノ各經濟ニ用紙ヲ各別ニ用ユヘシ

● 市稅其他ノ收入金領收証書

名義ノ件

明治三十九年三月二十八日
訓令總第十三號

市稅其他ノ收入金ニ對スル領收証書ハ本年四月一日ヨリ區

第三類 行政 第十二章 區役所

長名義ヲ以テ發行スヘシ

第十二章 區役所

● 區長分掌事項(國、府行政ニ關スル分)

明治卅二年一月二十七日
大阪市告示第六號

市制第七十四條ニ依リ監督官廳ノ許可ヲ受ケ左ノ事務ヲ區長ニ分掌セシム

- 一 國稅徵收ノ事
- 一 地方稅收入命令滯納者處分ノ事
- 一 行旅病人及死亡人取扱ノ事
- 一 種痘ニ關スル事
- 一 民事訴訟法并刑事訴訟法ニ依リ市長ノ取扱フヘキ事務
- 一 公證人規則ニ依リ公證囑托人證明ノ事
- 一 陸地測量諸標及同敷地監守ノ事
- 一 海軍下士卒服役條例ニ關スル事
- 一 人民印鑑ノ事

- 一 徵發ニ關スル事
- 一 與書證印ノ事
- 一 寄留届ニ關スル事
- 一 明治二十九年遞信省令第二十五號及ヒ同省訓令第四號(第五號ヲ除ク)ニ依リ船鑑札下付ニ關スル事(但西洋形船ヲ除ク)
- 一 小學校教員恩給基金納付ニ關スル件
- 一 精神病者監護法ニ依リ監護設置ニ關スル件
- 一 罹災救助基金法及同基金管理並ニ支出規則ニ依リ給與品ヲ罹災者ニ給與シ罹災者ノ爲ニ必要ナル禁出ヲ爲シ又ハ避難所ヲ設ケ若シハ一時療養ニ關スル事(明治三十四日大阪市告示)
- 一 明治三十三年法律第六十七號間接稅犯則者處分法ニ依ル差押物件保管ノ件(明治三十七年二月十二日大阪市告示第五號)

市參事會ヨリ區長ニ委任事項 明治三十二年一月十九日 大阪市告示第一二號

- 市制七十二條ニ依リ左ノ事項ヲ區長ニ委任ス
- 一 市稅及區費賦課徵收並滯納處分ノ事
- 二 戶籍法ニ依リ市ニ收入スル手數料徵收ノ事
- 三 道路橋梁川中堤防及溝上ノ使用料徵收ノ事
- 四 區役所經費支出命令及不用品賣却ノ事
- 五 區會ノ準備及議決ノ執行ニ關スル事
- 六 區有財產ニ關スル事
- 七 區書記以下請假旅行欠勤及除服ノ事
- 八 區役所雇以下進退ノ件
- 九 堤防道路橋梁河岸地石垣植管及其他水防ノ事
- 十 道路橋上使用許可標札檢印ノ事
- 十一 街燈ノ事
- 十二 橋燈監視ノ事
- 十三 區會議員選舉ニ關スル事
- 十四 水道使用料、水道給水用具修繕費徵收并ニ滯納處分ノ事(明治四十一年四月二十日告示第八日告示第三六號改正)
- 十五 水道給水工費月賦納金及量水器貸渡損料徵收ノ事(明治三十五年二月八日告示第七號追加)

- 十六 删除
- 十七 水道共用檢査渡代金徵收ノ事(全上)
- 十八 (自然消滅)
- 十九 道路堤防溝渠川中ノ使用料及河川占用料滯納處分執行ノ事(明治三十六年五月二十三日告示) 大阪市告示第五號追加)
- 二十 教育手數料滯納處分執行ノ事(全上)

市參事會ヨリ東區長ニ委任事項 明治三十六年五月二十三日 大阪市告示第二六號

- 市制七十二條ニ依リ左ノ事項ヲ東區長ニ委任ス
- 一 市立病院入院料ノ徵收及滯納處分執行ノ事

市參事會ヨリ南區長ニ委任事項 明治四十年四月十九日 告示第二七號

- 市制七十二條ニ依リ左ノ事項ヲ南區長ニ委任ス

- 一 市立大阪盲啞學校授業料徵收ノ件

市參事會ヨリ北區長ニ委任事項 明治三十七年三月十九日 大阪市告示第九號

- 市制七十二條ニ依リ左ノ事項ヲ北區長ニ委任ス
- 一 市立大阪高等商業學校入學檢驗料徵收ノ件
- 一 同上授業料徵收ノ件
- 一 天南堀川市有地沿岸地賃貸料徵集ノ件(明治四十年一月十八日告示第二號)

市參事會ヨリ北南區長ニ委任事項 明治三十六年六月十日 大阪市告示第三二號

- 市制七十二條ニ依リ左ノ通各區長ニ委任ス
- 北區長へ
- 一 中之島公園地便用料徵收及之レカ滯納處分ノ件

- 一 市立大阪工業學校受驗料及授業料徵集ノ件 (明治四十三年一月一日告示第四號)
- 一 高津入堀川河岸地使用料徵收及之レカ滞納處分ノ件

收入役ヨリ區長ニ

委任事項

明治三十二年一月十九日
大阪市告示第二號

市制第七十二條ニ依リ本市收入役ヨリ左ノ事項ヲ區長ニ委任ス

- 一 市稅收入ノ事
- 二 諸手數料收入ノ事
- 三 道路橋上川中及溝上ノ使用料收入ノ事
- 四 區役所經費支出ノ事
- 五 區費收入及支出ノ事
- 六 水道便料收入ノ事 (明治四十一年五月十四日大阪市告示第四三號改正)
- 七 水道給水工費月賦納金及量水器貸渡損料收入ノ事 (明治三十五年二月十日大阪市告示第九號追加)

收入役ヨリ南區長ニ

委任事項

明治四十年四月二十六日
大阪市告示第二九號

市制第七十二條ニ依リ左記ノ事項ヲ南區長ニ委任ス

- 八 其他區役所ニ於テ取扱フ金錢ノ收入支出ニ關スル事
- 九 水道給水用具修繕費收入ノ事 (明治三十五年三月二十九號)
- 十 水道共用檢鎖代金收入ノ事(全上)

收入役ヨリ東區長ニ

委任事項

市制第七十二條ニ依リ本市收入役ヨリ左ノ事項ヲ東區長ニ委任ス

一 將基島普通水利組合東區中本ニ係ル組合費徵收ノ事 (明治三十二年五月十七日大阪市告示第二四號)

一 市立病院入院料收入ノ件 (明治三十五年四月二十三日大阪市告示第二八號)

收入役ヨリ北區長ニ

委任事項

市制第七十二條ニ依リ本市收入役ヨリ左ノ事項ヲ北區長ニ委任ス

- 一 將基島普通水利組合及淀橋屋二川水害豫防組合北區内ニ係ル組合費徵收ノ事 (明治三十二年五月十三日大阪市告示第二二號)
- 一 南中島普通水利組合北區豐崎西成川崎北野曾根崎上福島下福島西成野田ニ係ル組合費徵收ノ事 (明治三十二年五月二十日大阪市告示第一一五號)
- 一 榎並莊普通水利組合北區内ニ係ル組合費徵收ノ事 (明治三十三年四月二十七日大阪市告示第四三號)
- 一 市立大阪高等商業學校入學受驗料收入ノ事 (明治三十三年三月二十三日大阪市告示第一〇號)
- 一 全上授業料收入ノ事(全上)
- 一 天滿堀川市有沿岸地賃貸料收入ノ件 (明治四十年一月十日告示第二號)

區役所事務章程

明治三十二年十一月一日
大阪市訓令第一號

區役所

大阪市區役所事務章程左ノ通相定ム

大阪市區役所事務章程

- 一 法律命令ニ依リ其區ニ屬スル一切ノ事務ヲ掌理ス
- 一 部下ノ吏員ヲ統轄シ區書記ノ進退ハ市參事會ニ具狀シ其他附屬員ノ進退ハ之ヲ專行ス
- 一 區書記以下ニ分課ヲ命スルコトヲ得
- 一 但課長ノ選任ハ此限ニアラス (明治四十年三月二十日訓令秘第一二號)
- 一 每課定名ヲ置キ區書記ヲ以テ之ニ充ツ
- 一 區長ノ指揮ヲ受ケ課中一切ノ事務ヲ整理ス

一 常ニ課員ノ勤務能否ヲ監視シ區長ニ對シ意見ヲ申陳スルコトヲ得

一 課員ニ事務ノ分擔ヲ命スルコトヲ得

課 員

一 區書記其他附屬員ハ區長課長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

區役所ノ事務分ツテ四課トシ課中掛ヲ設キ其條項ヲ定ムルコト左ノ如シ

庶務課

庶務 掛

一 賞典ニ關スル事

一 營業ニ關セサル會社ノ事

一 漂流物取扱及捕役場ニ關スル事

一 逃亡死亡絶家遺留財産處分ニ關スル事

一 身代限處分ニ關スル事

一 財産差押ニ關スル事

一 抵當物件公賣ニ關スル事

一 登記法ニヨリ土地建物船舶證明ニ關スル事

一 公證人規則ニ依リ公證囑托人證明ニ關スル事

一 諸寄附金及施與金ニ關スル事

一 水火災等ニ罹ル窮民救助ニ關スル事

一 諸報告ニ關スル事

一 諸印刷物ニ關スル事

一 公文淨寫ニ關スル事

一 圖書管守ノ事

一 市條例規則等頒布揭示ノ事

一 區長役印及廳印管守ノ事

一 廳中取締ニ關スル事

一 昇降時限ニ關スル事

一 當直ノ順次ヲ定ムル事

一 出勤簿ニ關スル事

一 區吏員並使丁進退賞罰其他身分上ニ係ル諸願伺届ニ關スル事

一 死刑宣告書榜示ニ關スル事

一 他課ニ屬セサル事務ニ關スル事

統 計 掛

一 諸統計ニ關スル事

一 議員ノ選舉ニ關スル事

一 區會ニ關スル事

商 工 掛

一 商工業獎勵及盛衰ノ起因查察ニ關スル事

一 水陸運輸ニ關スル事

一 市場ニ關スル事

一 銀行會社商社等ニ關スル事

一 諸營業仲間規約ニ關スル事

一 諸製造所ニ關スル事

一 商工議會ニ關スル事

一 勲業ニ係ル諸報告ニ關スル事

一 商標登錄ニ關スル事

一 意匠特許及發明品專賣特許ニ關スル事

一 燈籠ニ關スル事

一 博覽會共進會ニ關スル事

一 獸類傳染病ニ關スル事

一 度量衡ニ關スル事

一 郵便局及切手賣下所箱場貯金預所等ニ關スル事

土 木 掛

一 街燈橋燈ニ關スル事

一 橋梁保護ニ關スル事

一 官有地所在民有建物賣買讓與買入書入証明ニ關スル事

一 官有地枯損木竹等處分ニ關スル事

一 土地買上ニ關スル事

一 官地官金貸下ニ關スル事

一 區廳舍建築修繕ニ關スル事

一 揭示場新設修繕ニ關スル事

一 地籍ニ關スル事

一 地種目變換ニ關スル事

一 電信柱敷地料ニ關スル事

一 市ノ境界ニ關スル事

衛 生 掛

一 流行病傳染病豫防ニ關スル事

一 衛生會ニ關スル事

- 一種痘ニ關スル事
- 一衛生ニ係ル諸報告ノ事
- 一醫師藥師產婆ニ關スル事
- 受付掛
- 一諸文書收受發遣ニ關スル事
- 一人民喚徴ニ關スル事
- 學務課
- 一學齡兒童就學ニ關スル事
- 一小學校及幼稚園ニ關スル事
- 一私立各種學校ニ關スル事
- 一小學校教員及幼稚園保母助手檢定ニ關スル事
- 一學務委員選舉ニ關スル事
- 一前各項ノ外教育ニ關スル事
- 戶籍課
- 一戶籍ニ關スル事
- 一出入寄留人ニ關スル事

- 一人民印影簿ニ關スル事
- 一埋火葬認許証付與ニ關スル事
- 一後見人届ニ關スル事
- 一恩給扶助料ニ關スル事
- 一棄兒迷子及墜死人ニ關スル事
- 一窮民救助ニ關スル事
- 一行旅病人死亡人ニ關スル事
- 一處刑人通知ニ關スル事
- 兵事掛
- 一徵兵及志願兵ニ關スル事
- 一兵籍ニ關スル事
- 一陸海軍生徒募集ニ關スル事
- 一諸兵宿泊証明ニ關スル事
- 一陸軍召集事務ニ關スル事
- 一陸海軍人結婚ニ付品行證明ニ關スル事
- 一徵發ニ關スル事
- 收稅課
- 徵稅掛

- 一國稅府縣稅ノ徵收ニ關スル事
- 一土地墾帳及地圖ニ關スル事
- 一所得稅調查委員選舉人ノ選舉ニ關スル事
- 一府ニ屬スル收入金ノ賦課徵收ニ關スル事
- 一市稅并ニ使用料手数料ノ賦課徵收及不納者處分ニ關スル事
- 一區費賦課徵收及不納者處分ニ關スル事
- 一授業料及保育料徵收ニ關スル事
- 一水道給水料徵收ノ事(明治三十五年二月八日訓總第二號追加)
- 一水道給水工費月賦納金及量水器貸渡損料徵收ノ事(全上)
- 一營業及公課證明ニ關スル事
- 檢稅掛
- 一課稅ニ係ル營業并ニ物件ノ検査及課稅標準調査ニ關スル事
- 一鑑札及檢印ニ關スル事
- 會計課
- 會計掛
- 一金錢出納ニ係ル文案調査ニ關スル事

- 一金錢ノ收支ニ係ル記簿ニ關スル事
- 一金錢收支現計表諸決算帳及精算報告ニ關スル事
- 一金錢收支ニ係ル決算報告書証書類管理ニ關スル事
- 出納掛
- 一金錢出納ニ關スル事
- 一市稅金取扱人ニ關スル事
- 一郵便切手出納ニ關スル事
- 一諸貸下金徵收ニ關スル事
- 一抵當品及金券監守ニ關スル事
- 用度掛
- 一諸物品購求ニ關スル事
- 一不用品公賣ニ關スル事
- 一諸物品管守ニ關スル事

區役所文書整理規程

明治四十一年一月十七日
指令總第一二八號

第三類 行政 第十二章 區役所

第二條 文書ハ曆年ヲ以テ分類編纂スヘシ
 但會計年度ニ依ルヘキモノハ其年度ニ從フ
 第三條 文書ハ處理終了ノ年ニ於テ編纂シ第一號式ノ索引
 及部類ヲ標記シタル表紙ヲ附シ編纂ヲ爲スヘシ但文書ノ
 種類ニヨリ區長ノ承認ヲ受ケ索引ヲ附セサルコトヲ得
 第四條 編纂ヲ爲シタル文書ハ曆年ニ依リタルモノハ翌年
 三月三十一日迄ニ會計年度ニ依ルモノハ其年九月三十日
 迄ニ目錄ヲ添ヘ庶務課庶務掛ヘ回附スヘシ但目錄ニハ第
 九條ノ種別ヲ記入スヘシ
 第五條 庶務課庶務掛ニ於テ編纂文書ノ回附ヲ受ケタルト
 キハ第九條ニ定ムル種別ニ從ヒ第二號式ノ文書蓋帳ニ登
 録シ之ヲ保管スヘシ
 第六條 金銭出納ニ關スル文書ハ第四條第五條ニ依リ特ニ
 會計課ニ於テ編纂保管スヘシ
 但會計課ニ於テハ第二號式ニ準シ金銭出納ニ關スル文
 書蓋帳ヲ備置キ之ニ登錄スヘシ
 第七條 機密ニ關スル文書ハ區長ノ指揮ヲ受ケ特ニ主務課
 長ニ於テ編纂保管スルコトヲ得

第八條 數年服用ヲ要スルモノハ其使用ヲ終リタルトキニ
 於テ第四條ノ取扱ヲ爲スヘシ
 但主務課ニ於テ第三號式ノ保管簿ヲ製シ之ニ登錄シ置
 クヘシ
 第九條 文書ノ保存期限ハ左ノ如シ
 第一種 無期
 第二種 十ケ年
 第三種 七ケ年
 第四種 三ケ年
 第五種 一ケ年
 前項ノ種別ハ市參事會ノ認可ヲ經テ區長之ヲ定ム
 保存期限ハ曆年ニ依ルモノハ翌年一月ヨリ會計年度ニ依
 ルモノハ年度經過ノ翌月ヨリ起算ス
 第十條 保存期限ヲ經過シタル文書ハ庶務課長及主務課長
 立會調査シ區長ノ檢閱ヲ受ケ廢棄文書トシテ會計課ニ引
 渡シ其旨文書蓋帳ニ記入ス可シ
 但廢棄文書ニシテ印章アルモノ又ハ他ニ使用ノ虞アル
 モノハ之ヲ塗抹シ若クハ截斷シ其性質ニヨリテ之ヲ燒

七〇〇二六

第一號式

第十一條 保存中ノ文書ハ關係課員ノ請求ニ依リ之ヲ閱覽
 セシムルモノトス此場合ニ於テハ第四號式ノ文書借覽簿
 ニ記載認印セシムヘシ
 第十二條 文書ノ閱覽期限ハ七日以内トス若シ七日以上ニ
 涉ル場合ニ於テハ豫メ其日數ヲ借覽簿ニ記載スルモノト
 ス

索引目錄

番號	件名	事件發生原因ノ官 公署名又ハ氏名

(備考) 文書ノ上部左側ニ

分三 一寸五分

ノ朱印ヲ押捺シ

索引ノ番號ヲ記入スルモノトス

文書蓋帳

第三類 行政 第十二章 區役所

何課 何掛 第何種 保存期限何年

保存期限	保存期限	書目	冊數	番號	備考

(備考) 本蓋帳ハ各課毎ニ調製シ且第九條ノ種類毎ニ區分
 ス

第三號式

文書帳簿保管簿

書目	冊數	備考

第四號式

文書借覽簿

主務課借入	書目	冊數	備考	返戻年月日	借受人
長印年月日					取扱者ノ印 氏名

七〇〇二七

庶務課	
一 吏員以下進退費關ニ關スル書類	無期限
一 民刑事ニ關スル書類	全
一 訓令	全
一 指令	全
一 廳達	全
一 吏員以下保証狀類	全
一 區長會議一件書類	全
一 區長事務引續及演說書	全
一 編入町村ニ關スル一件書類	全
一 吏員以下履歷ニ關スル書類	全
一 逃亡死亡絶家遺留財産處分ニ關スル書類	全
一 職員簿	全
一 宿所簿	全
一 區會ニ關スル一件書類	全
一 普通財産臺帳	全
一 積立金臺帳	全
一 基本財産臺帳	全
一 區有財産ニ關スル書類	無期限
一 選舉權取調簿	全
一 名譽職員簿	全
一 種痘調査簿	全
一 醫籍及藥劑師名簿	全
一 賣藥營業請賣、行商、賣藥規則外製劑者名簿	全
一 藥種商及製藥者名簿	全
一 產婆及看護婦名簿	全
一 衛生組長名簿	全
一 私立病院名簿	全
一 電燈柱及街燈臺帳類	全
一 地籍并ニ官有地ニ關スル書類	全
一 度量衡器并ニ肥料等製造販賣者名簿	全
一 會社銀行及營業組合名簿類	全
一 神社氏子總代人ニ關スル書類	十ヶ年
一 賞與ニ關スル書類	全
一 土地道路河川下水等使用臺帳類	全
一 水防水利ニ關スル書類	全

一 區會共進會等ニ關スル書類	全
一 水大災等救助ニ關スル書類	七ヶ年
一 漂流物取扱及浦役場ニ關スル書類	全
一 北海道移住民ニ關スル書類	全
一 貴族院議員選舉ニ關スル納稅者取調書議員互選名簿	全
一 市會議員選舉人名簿	全
一 區會議員選舉人名簿	全
一 市會議員選舉一件書類	全
一 區會議員選舉一件書類	全
一 市會議員選舉原簿	全
一 區會議員選舉原簿	全
一 衆議院議員選舉人名簿	全
一 府會議員選舉人名簿	全
一 衛生組合ニ關スル書類	全
一 傳染病ニ關スル名簿	全
一 聯合營繕ニ關スル書類	全
一 街燈ニ關スル書類	全
一 統計ニ關スル書類	全
一 衆議院議員選舉一件書類	全
一 府會議員選舉一件書類	全
一 出勤簿	全
一 秩祿處分ニ關スル書類	三ヶ年
一 諸寄附金及施與金ニ關スル書類	全
一 豫算參考書	全
一 傳染病ニ關スル書類	全
一 醫師藥劑師產婆及看護婦ニ關スル書類	全
一 種痘ニ關スル書類	全
一 郵便發遣簿	一ヶ年
一 宿直日誌	全
一 區長親展簿	全
一 宿直在宿通知簿	全
一 出張伺簿	全
一 守備日誌	全
一 電話發着簿	全
一 吏員以下諸願屆書類	全
一 賣藥請賣及行商願書類	全

學務課

一 學校幼稚園職員名簿	無期限	一 學事統計ニ關スル書類	七ヶ年
一 小學校教員年功加俸受領者名簿	全	一 學務委員ニ關スル書類	全
一 學校幼稚園職員履歷書綴	全	一 學級編制ニ關スル書類	全
一 私立學校名簿	全	一 學齡簿	三ヶ年
一 小學校、實業補習學校、裁縫學校恩給基金簿	全	一 學齡兒童調查簿	全
一 學校積立金基本財産ニ關スル書類	全	一 學齡兒童異動簿	全
一 學校幼稚園設備編制ニ關スル書類	全	一 學校幼稚園職員願届ニ關スル書類	全
一 學校幼稚園建築ニ關スル書類	全	一 學校幼稚園講習會研究會ニ關スル書類	全
一 學校幼稚園職員進退ニ關スル書類	全	一 私立學校ニ關スル書類	全
一 學校幼稚園職員宿所簿	全	一 授業料保育料免除ニ關スル書類	全
一 學齡兒童就學ニ關スル書類	十ヶ年	一 學校幼稚園火災保險ニ關スル書類	全
一 學校教員幼稚園保姆檢定手数料彙帳	七ヶ年	一 印鑑簿	無期限
一 學校教員幼稚園保姆免許ニ關スル書類	全	一 埋火葬認許書交付簿	全
一 學校幼稚園需用品購入修繕及賣却ニ關スル書類	全	一 行旅病人同死亡人精神病者ニ關スル名簿	全
一 師範學校講習生薦舉ニ關スル書類	全	一 棄兒恤救人ニ關スル名簿	全
一 學校幼稚園經費豫算ニ關スル書類	全	一 處刑人名簿及通知書	全
一 學校幼稚園職員年功加俸退還料遺族扶助料恩給基金ニ關スル書類	全	一 在郷軍人名簿	全

徴兵検査名簿

一 第一國民兵名簿	全	一 徴兵ニ關スル書類	七ヶ年
一 抽籤名簿(事務取扱上區ニ於テ)	全	一 海軍兵ニ關スル書類	全
一 第二國民兵名簿	全	一 國民兵ニ關スル書類	全
一 徵集尙像名簿	全	一 兵役事項取調書類	全
一 徵集免除名簿	全	一 死亡認許證請求書類	三ヶ年
一 兵役免除名簿	全	一 一年志願兵書類	全
一 兵役事項調査簿	全	一 勳章及從軍記章交付書類	全
一 海軍豫後備役下士卒補助名簿	全	一 賜金ニ關スル書類	全
一 在郷軍人出寄留名簿	全	一 徵發物件書類	全
一 在郷軍人入寄留名簿	全	一 演習召集書類(教育召集書類合綴)	全
一 戦病死者廢兵名簿	全	一 簡閱点呼書類	全
一 假決者名簿	全	一 陸海軍志願兵書類	全
一 徴兵適齡届	全	一 馬匹ニ關スル書類	全
一 徴兵検査不参届	全	一 徴兵寄留地受檢書類	一ヶ年
一 印鑑并改印届書類	十ヶ年	一 諸臺帳及圖面類	無期限
一 救護取扱ニ關スル書類	七ヶ年	一 國稅收納簿	十ヶ年
一 戶口統計表	全	一 府縣入徴收簿	全

一 市稅區費徵收簿	十ヶ年	一 市區歲入過誤納金整理簿	十ヶ年
一 使用料徵收簿	全	一 過誤金還付伺書類	全
一 手数料徵收簿	全	一 滞納處分一件書類	全
一 給水工役納金徵收簿	全	一 決算報告書類	全
一 給水料徵收簿	全	一 所得稅調查委員選舉人選舉ニ關スル書類	三ヶ年
一 雜收入收納簿	全	一 地租延納年賦收納簿	十ヶ年
一 國稅收納集計簿	全	一 檢稅復命書類	七ヶ年
一 府歲入簿	全	一 納入告知書、徵稅令書、賦課令狀、督促令狀、發付伺書類	全
一 市歲入整理簿	全	一 土地登記濟通知書類	全
一 區歲入整理簿	全	一 土地異動ニ關スル書類	全
一 國稅細別整理簿	全	一 建物ニ關スル諸屆書類	全
一 府稅細別整理簿	全	一 課稅標準ニ關スル書類	全
一 市稅細別整理簿	全	一 國稅通知書類	全
一 區費細別整理簿	全	一 給水料ニ關スル精算書類	全
一 府歲入滯納整理簿	全	一 土地水面使用ニ關スル書類	全
一 市區歲入滯納整理簿	全	一 授業料保育料徵收ニ關スル書類	全
一 國稅過誤納金整理簿	全	一 國稅滯納者報告書類	全
一 府歲入過誤納金整理簿	全	一 金庫又ハ現金取扱收入濟通知書類	全

一 納稅管理人ニ關スル書類	七ヶ年	一 日計簿	無期限
一 賦金ニ關スル書類	全	一 出納官吏現金受拂簿	全
一 給水ニ關スル諸屆及通知書類	三ヶ年	一 豫算決算ニ關スル書類	全
一 營業開廢通知書類	全	一 臨時軍需費一件書類	全
一 調定額報告書類	全	一 陸海軍召集諸費ニ關スル書類	全
一 府歲入記簿伺書類	全	一 給料支拂原簿	全
一 市歲入精算書類	全	一 備品原簿	全
一 市歲入送納伺書類	全	一 備品保管ニ關スル書類	全
一 仕拂命令發付伺書類	全	一 金錢出納簿	全
一 仕拂命令書原簿	全	一 需用品購入賣却ニ關スル書類	七ヶ年
一 督促令狀送達書類	全	一 郵便切手受拂簿	三ヶ年
一 公示送達原簿	全	一 利子計算簿	全
會 計 課		一 市交付金ニ關スル書類	七ヶ年
一 據置貸取帳	無期限	一 金筋區分簿	三ヶ年
一 收支命令并領收證類	全	一 消耗品受拂簿	全
一 內譯簿	全	一 經費豫算下調書	全
一 日記簿	全	一 支拂切符	一ヶ年
一 原簿	全	一 金品受送簿	全

一 乘車簿	一 年
一 被服保管簿	三 年
各課ニ通シ用ルモノ	
一 例規類	無期限
一 往復書類	七 年
一 受送簿	三 年
一 雜書類	全
一 證明及閱覽簿	全
一 奧書經由簿	全
一 出頭通知簿	一 年
一 遞附簿	全
一 番號簿	全
一 出帳簿	全
一本規定ニ掲記無キ文書簿冊等有之場合ハ之ニ準據シ區長ニ於テ適宜其ノ期限ヲ付スルモノトス	

證明事件ノ受理處分方

明治二十八年九月四日
第六五〇號

大阪市區役所事務章程中登記法及公証人規則ニ據リ爲スヘキ證明事項ハ庶務課ノ主管ニ屬シ居一般證明ノ事件ニ付テハ追テ何分之義規定可相成候得共特更庶務課ニ於テ取調ナスルモノ、外ハ直ニ關係ノ課ニ受理証明候様御取扱成度右ハ時間ヲ徒費シ人民ノ迷惑不尠候趣相聞候ニ付市參事會ノ決議ニ據リ此段及御通達候也

四 區長 宛

內 務 部 長

區役所處務規程

明治二十二年十月二日
大阪市訓令第二號

區 役 所

大阪市區役所處務規程在之通相定ム

大阪市區役所處務規程

第一條 凡ソ區役所ニ到達スル文書ハ庶務課受付掛之ヲ受

ケ親展書ヲ除クノ外總テ開封シ受送簿ニ其件名ヲ登記シ其願何届ニ係ルモノハ受附簿ニ其要旨ヲ登記シ番號等ヲ附シ主務課長ニ配付スヘシ

第二條 凡ソ執務時限外ニ到達スル文書ハ當直ニ於テ之ヲ受ケ第三十一條以下ノ規定ニ依リ處辨スヘシ

第三條 區長宛親展書ハ封皮ノ官職氏名等ヲ親展書受送簿ニ登記シ送致スヘシ其課長以下職名ヲ宛タルモノ亦同シ

第四條 現金又ハ金券ヲ添付シタル文書ハ別ニ金圓受送簿ニ登記シ會計課長ニ送付スヘシ

第五條 凡ソ本人持參又ハ使送ニ係ル文書ニシテ即時指令又ハ回答ヲ要スルモノハ受附掛ニ於テ黃色片紙ヲ貼付シ爲待置ノ印ヲ捺シ配付スヘシ

第六條 凡ソ來書ノ急務ト認ムルモノハ受付掛ニ於テ赤色片紙ヲ貼附シ配付スヘシ

第七條 受付掛ハ主務課ヨリ指令又ハ鑑札等送付シ來ルトキハ受付簿ニ其月日ヲ記入シ完了ノ印ヲ捺スヘシ

第八條 受付掛ハ收受ノ文書ヲ計算シ日表ハ翌日月表ハ翌月之ヲ製シ區長ニ提出スヘシ

第九條 各課長ハ受付掛ヨリ受ル所ノ文書ヲ查閱シ其課ノ往復主任ニ交付シ往復主任ハ之ヲ主管簿ニ登記シ主任ニ配付スヘシ但他課ノ主管ニ係ルモノハ受付掛ニ返付シ直ニ甲課ヨリ乙課ニ轉送スルヲ得ス

第十條 各主任ハ其受クル所ノ文書ノ要領ヲ回議録ニ記載シテ後處分案ヲ紳シ課長ニ出シ課長ハ之ヲ密査シ區長ニ提出シ區長決判ノ上執行ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 成規定期例アルモノハ其本書ニ成規定期例ノ印ヲ捺シ別ニ回議用紙ヲ付スルノ限リニアラス

第十二條 凡ソ事ノ他課ニ交渉スルモノハ其課ニ合議スヘシ

第十三條 合議ヲ受タル課ハ其議案ノ當否ヲ審案シ課長ヨリ區長ニ提出シ其異議アルモノハ課長ヨリ主務課長ニ面議シ互ニ議ノ叶ハサルトキハ區長ハ區長ノ面前ニ於テ各意見ヲ開陳シ決裁ヲ請フヘシ

第十四條 凡ソ公文ハ如何ナル場合ト雖トモ區長ノ決判ヲ經ルニアラサレハ執行スルヲ得ス其之ヲ却下スルモ亦同シ

第十五條 凡ノ事務ハ即日處理スルヲ定例トス其府知事又ハ市參事會ニ稟議シ若クハ他ノ官廳等ニ照會ヲ經ルノ後ニアラサレハ處分スヘカラサルモノ、外週クモ三日以上ニ渉ルヲ得ス若シ已ムヲ得サル事由アリテ三日以内ニ完結セスト認ムルモノハ豫メ課長ニ面陳シ承認ヲ受クヘシ

第十六條 凡ノ爲待置又ハ赤色ノ片紙貼付シアル文書ハ他事ヲ擱キ即時調理ノ手續ヲナスヘシ

第十七條 凡ソ公文ハ區長ノ名ヲ署スルヲ例トス但事輕易ニ屬シ又彼レヨリ役所宛ヲ以テ來ル文書ニ對スル回答ノ如キハ便宜役所名ヲ署スヘシ

第十八條 凡ソ區長ニ於テ判決シ了ルモノハ之ヲ主務課長ニ附シ課長ハ其判決ノ如何ヲ認メタル上主任ニ交付スヘシ

第十九條 決判濟ノ文書ニシテ區長ノ名ヲ以テ發スヘキモノハ庶務課庶務掛ニ移シ同掛ニ於テ淨書シ發送ノ手續ヲ爲スヘシ其指令又ハ區役所名ヲ以テスルモノハ主務課ニ於テ淨書發送スヘシ

第二十條 凡ソ處分結了シタル文書ハ部類ヲ分チ編纂シ各

課ニ保存スヘシ

第二十一條 知事又ハ市參事會ノ訓令サレモノ、及指令ハ區長閱覽後本書ヲ庶務掛ニ保存シ其謄本ヲ主務課長ニ送付スヘシ

第二十二條 凡ソ他ニ發送スモ文書ハ受付掛ニ送付シ同掛ニ於テ使送ト郵送トニ區別シ使送ハ送附録ニ其件名ヲ登記シ郵送ニ係ルモノハ郵便發送簿ニ其量目等ヲ登記シ相當ノ切手ヲ貼附シ發送スヘシ

第二十三條 凡ソ大阪市及接續町村ノ人民ヲ喚徵セントスルトキハ喚徵簿ニ其住所氏名及出頭ヲ要スヘキ日時並事由ヲ記載シ區長ノ認印ヲ得テ受付掛ニ移シ同掛ニ於テ喚徵狀ヲ發スヘシ

第二十四條 各課ハ毎月一回收受文書完結及未結月表ヲ作リ區長ニ提出スヘシ

第二十五條 吏員出頭退散ノ時限ハ時々之ヲ定ムヘシト雖トモ事務繁劇ノ場合ニ於テハ時限前後ハ勿論休日ト雖トモ參應其事務ニ服スヘシ

第二十六條 吏員參應スレハ自ら出動簿ニ押印シ出頭ヲ表

スヘシ其ノ疾病事故等ニテ參應スル能ハサルモノハ出頭時限ヨリ一時間内ニ本人ヨリ届出ヘシ但病氣引籠一週間ニ至レハ醫師ノ診斷書ヲ添へ届出爾後一週間毎ニ届出ヘシ

第二十七條 在廳中發病若クハ不得已事故アリテ退廳セントスルトキハ其事故ヲ具シタル届書ヲ提出シ區長ノ認許ヲ得テ退出スヘシ

第二十八條 區内ニ出火アリテ大火ニ至ラントスルトキ又ハ大火ニ至ラサルモ區役所ノ近火ト認ムルトキ其他非常ノ變アルトキハ吏員一同參應シ區長ノ指揮スル所ニ從フヘシ

第二十九條 當直ハ書記 課長ヲ 二名トシ執務時限外ニ係ル一切ノ事務及廳中取締ノ責ニ任スルモノトス

第三十條 當直ノ外各掛ニ書記一名ノ在宿番ヲ定メ臨時當番ヨリ照會スル事務ヲ處辨スヘシ

第三十一條 當直ニ於テ收受スル一切ノ文書ハ親展ノ外總テ開封シ其事ノ緩急ヲ調査シ急務ニ屬スルモノハ主務課在宿番ニ送致シ成規定例アルモノハ直チニ處辨スヘシ其

他ハ受送簿ニ登記シ翌日受付掛ニ其當直ニ引渡スヘシ

第三十二條 此規程ニ掲グルモノ、外區長ニ於テ便宜處務順序ヲ定ムルコトヲ得

區役所派出所收稅事務取扱方

明治四十年八月十二日 訓令總第四二八四號

區 役 所

其區役所吏員派出所ノ收稅ニ關スル事務ハ自今令書ノ配付及納付金ノ受領ノミトス

右 訓 令 ス

區會議決事項報告

明治三十五年六月二十四日 訓令總第五六號

區 長

自今左記ノ事項ハ指定ノ期日ニ之ヲ本職ニ報告ス可シ

一 區會議決ノ諸件(議案貳)閉會ノ翌日

一區會議決ノ執行停止及ヒ再議ニ附シタル事件 即日

區長區書記履歷書進達方

明治二十二年十一月四日
大阪市訓令第四五號

區 役 所

區長區書記履歷書別紙雛形ニ據リ調製セシメ至急取調メ進達スヘシ
但自今新任者アルトキハ三日以内ニ差出サシムヘシ

(別紙)

某官位勳階	苗	字	名	印
本籍何縣何郡何町何番地				
何府(縣)華族(士族平民)舊何藩 舊名 某				
年號干支月日何國何郡何町(村)ニ於テ生				
年號干支月日 任 免 賞 罰 事 故				
明治何年何月何日 任某官(某職) 被仰付候事				
某省				

同 年 何月何日	何々ニ付勳勞何山下某候	同上
同 年 何月何日	叙勳何等	賞勳局
同 何年 支何月何日	某々委員囑任候事	某 隊
同 何年 何月何日	御用有之某國へ被差遣候事	太政官
同 何年 支何月何日	歸 朝	
同 何年 支何月何日	某官被廢	
以下此休ニ依ヒ楷書ニテ正シク認ムヘシ但官廳廢置及官等改正ハ朱ヲ以テ記載スヘシ		

履歷記載條項

一 任官	一 免官
一 轉官并鶴官	一 叙任
一 叙勳并從軍記章	一 叙爵
一 賞典慰勞	一 罰罰
一 武官補職罷役退職後備軍職員	

一分局課

一委員

一公立府縣立學校教員ノ類 一内地出張

一外國派遣并歸朝 一教員囑托

一 佩用免許 一 恩給并一時賜金又ハ滿年賜金

一 官費、留學、入學、卒業、内外學位

一 官省廢置及官等改正 一 轉籍改氏名

此他職務上ニ就キ官廳ヨリ命令訓達ナ受ケタル事件ハ悉皆記載スヘシ

區長及區付屬員給料及定員

明治三十一年十月十三日
大阪市告示第三〇號

第三類 行政 第十二章 區役所

本市ノ區長ハ有給吏員トシ其給料額及區付屬員ノ定員名稱并給料額ヲ定ムルコト左ノ如シ
但書記給料豫算定額内ニ於テ其人員ヲ増減シ又ハ備員ヲ使用スルコトヲ得

區長年給 七百圓以上千五百圓以下

(明治三十八年四月十一日)
(大阪市告示第二三號改正)

區書記 定員 三百人

(明治四十年三月六日)
(大阪市告示第一〇號改正)

區技手 定員 八人(同上追加)

月 給 拾貳圓以上百圓以下(同上改正)

區役所雇員異動報告

明治二十二年十月三十一日
大阪市訓令第三五號

區 役 所

其役所雇員異動其月分翌月五日限別紙雛形ニ依リ届出シヘシ

(別紙)

明治何年何月中雇員異動表 (用紙美濃紙)

月日	任用	贈給	免職	辭職	死亡	本籍	氏名	生年月日
年								
月								
日								

年月日
區長

區役所執務時間

明治二十八年十二月二十六日
市參事會決 定

庶甲第二八九號
今般閣令第六號ヲ以テ各官廳執務時間改定相成候ニ就テハ
各區役所共自今右ニ準シ執行致度候條右相伺候也

四 區 長

指令 明治二十八年十二月六日
大阪府指令參一郡乙第一五四八號

四 區 役 所

本年十二月三日庶甲第二八九號區役所執務時間改定ノ件認
可ス

區役所備員給料額ノ件

明治三十四年九月十二日
內庶訓第三號內訓

區役所備員給料ハ月額貳拾五圓ヲ超過スルヲ得ス(明治四十
月十一日市參事會決)
定内訓秘第一號改正)
制限外ノ給料ヲ支給セントスルトキハ其事由ヲ詳具シ認可
ヲ請フ可シ

事務成績及收發文書件數

報告方 明治三十四年十二月二十六日
訓 庶 第 五 六 號

區 役 所

事務成績報告收發文書件數報告式別紙ノ通知定ノ明治三

十五年一月ヨリ實施ス

但其月分テ每翌月十日限リ報告ス可シ

記 載 例

一本表ハ各係及派出所ニ於テ日々整理シタル材料ニ依リ一
ヶ月分ヲ取纏メ製表ノ上報告スヘキモノナリ故ニ往復係
ニ於ケル收發ノ文書數トハ符合セサルモノトス但區役所
ト派出所トハ各別ニ製スルモノトス

一 事務件數トハ職務上出來事ノ數ナリ故ニ此出來事ニ付テ
ハ煩雜ノ手續キテ要スル事ト簡單ノ手續ニテ了スル事
アルモ要スルニ其手續毎ニ處理發遣ノ二欄ニ員數ヲ記載
スルモノトス

記載方ノ梗概ヲ示セハ左ノ如シ

- 一 届書ノ如キハ一定ノ手續ヲ終レハ直ニ完結スルヲ以テ
- 此場合ニ於テハ事務件數一、處理數一、ナリ
- 一 奧書証明類等ニ付テハ書面ヲ受理スレハ事務件數一、
- ニシテ成規ノ手續ヲ了レハ處理數一、願人ニ下付スレ
- ハ發遣數一、ト算シ其願書等ニ不備ノ虞アリテ附箋又
- ハ書面ヲ以テ却下スル場合モ亦同シ但訂正ノ上再出シ

第三類 行政 第十二章 區役所

タルトキハ更ニ事務一件ヲ生シタルモノトシ前例ニ依
リ記入スルモノトス

- 一 他處ヨリ照會ヲ受ケタルトキハ即チ事務件數一、ニシ
テ其ノ手續ヲ終レハ處理數一、トナレトモ此照會ニ對
シ回答ヲ發スレハ發遣數一ヲ加フ若シ更ニ本件ニ付數
十箇所ニ向ヒ照會等ヲ發スルトキハ事務件數ハ増加セ
サルモ發遣數ハ數十トナルヘシ然レトモ此照會ニシテ
發遣ト淨書ト其係ヲ異ニスル場合ハ發遣ノ係ニ於テハ
發遣數一、ト算シ淨書ノ係ニアリテハ事務件數一、ト
シ發遣數ハ其ノ淨書ノ數ト同シ又此照會ニ對シ各所ヨ
リ回答ヲ受ケタルノ要アレハ發遣ノ係ニ於テハ處理數何
十トナリ此ノ數十ノ回答ヲ取纏メ最初ノ照會ヲ受ケタ
ル場所ヘ向回答ヲ發スレハ發遣數一、ヲ加フルナリ
- 一 徵稅令書等ヲ發スルトセンカ然ルトキハ事務件數一、
ナレトモ其發遣數ハ令書ト同數ナルヘシ此ニ對スル日
々ノ納稅切符數ハ日々ノ處理數トナリ又督促令狀ヲ發
スレハ其ノ數ハ發遣數ニ加ヘ滞納處分ヲ要スルニ至リ
本件ノ一段落トシ滞納處分ニ付テハ更ニ事務件數一、

ヲ生スルモノトス
 一或ル事務ノ爲メ人民ヲ喚徴スルトセンカ事務件數一、
 ニシテ發遣數ハ其人員ト同數ナリ而シテ其内不參屆ヲ
 受理スレハ其數ハ處理數ニ加ヘ人民ノ出頭數ハ相當欄
 ニ記載スルモノトス
 一統計小票記入ノ如キ假令ハ一種類ノ票ニ付一ヶ月事務
 件數ハ一トシ日々記載シタル員數ハ處理數トシテ記載

シ一ヶ月分取摺メ送付ニ際シ發遣數一、トナルナリ
 一出張度數ハ一日一人ニシテ同一事件ノ爲メ數回出張シ
 タルモ一日中ニアリテハ一回トシ事件ノ異ナルトキハ
 假令一人ニテモ其回數ニ應シ記載スルモノトス
 一人民召喚中ニハ入札若クハ物品納入等ノ爲メ出頭シタ
 ル人員ハ除算スルモノトス

種別	明治 年 月分收發文書件數報告				何 區 役 所
	收	受	發	送	
	庶務學務戶籍收稅會計	計	庶務學務戶籍收稅會計	計	
開 省					
大 阪 府					
大 阪 市 役 所					
大 阪 市 區 役 所					
大 阪 市 所 屬 公 衙					
大 阪 市 立 學 校 病 院					

種別	明治 年 月分收發文書件數報告				何 區 役 所
	收	受	發	送	
	庶務學務戶籍收稅會計	計	庶務學務戶籍收稅會計	計	
諸 官 衙 公 廳					
郡 市 町 村					
社 寺 教 會					
公 社 立 學 校					
全 病 院					
會 社 行 院					
公 社 銀 行					
告 示 體					
訓 令 示 體					
指 令 示 體					
願 令 示 體					
同 令 示 體					
屆 令 示 體					
其 他					
計					

本表ハ受付掛ニ於テ取扱タル員數ヲ記入スルモノトス但區役所ト派出所トハ各別ニ製表スルヲ要ス

明治 年 月 分事務成績報告

(何) 區 役 所

課 名	係 名	現 月		未 月		出 度	入 張	民 決	最 多	最 少
		日 員	件 員	日 員	件 員					
計										

- 一 區會閉會日數
- 一 全 流會日數
- 一 全出席議員數
- 但選舉會等ハ之ニ準シ記載スベキモノトス

市立病院入院料徴收

取扱方 明治三十五年四月二十一日 訓 諭 第三三三號

東 區 役 所 市 立 病 院

市立病院入院料ノ徴收ヲ東區長ニ委任セシニ付其取扱方左ノ通心得ヘシ

一 市立病院ニ於テ特別室ニ入院ナ許シタルトキハ其等級病名住所氏名并ニ入院料納入義務者ノ住所氏名ヲ直ニ東區役所上木町吏員派出所へ通知スヘシ

但患者死亡若クハ退院又ハ入院料ヲ要セサル室へ轉シタルトキ亦同シ

二 區役所ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ規定ノ入院料納入告知書ヲ發シ納入義務者ナシテ之ヲ納入セシメ領收ノ上其旨病歴ニ通知スヘシ

但患者死亡若クハ退院又ハ入院料ヲ要セサル室ニ轉シタルトキ既納ノ入院料ニ過剩ヲ生シタル場合ハ之カ割戻ヲ爲シ其旨病歴ニ通知スヘシ

區役所收稅吏員

被服規程 明治三十九年十月二十七日 訓 令 總 第四四號

- 第一條 檢稅及滯納處分ニ從事スル吏員ノ服制ハ別表ノ定ムル所ニ據ル
- 第二條 被服ハ之ヲ貸與シ使用期限ヲ經過シタルモノハ帽章ヲ除クノ外之ヲ給付ス
- 第三條 被服ヲ使用スル期限ノ計算ハ貸與ノ月ハ初日ト末日ニ拘ハラス一ヶ月ニ計算シ滿期ノ月ハ末日ニ至ラサレハ一ヶ月ニ算入セス
- 第四條 故意又ハ過失ニ依リ使用期限中ノ被服ヲ毀損又ハ滅失シタルモノハ使用殘期間ニ應ジ調製ノ原價ニ依リ其價格ニ依リ其價格ヲ賠償セシム

第五條 靴ハ代料ヲ以テ支給シ毎月金拾錢トス
但新任者ニ在ツテハ其月ノ十五日以前ハ金額十六日以後ハ半額解雇及死亡者ニ在ツテハ其月ノ十五日以前ハ半額十六日以後ハ金額ヲ支給ス
(明治四十年六月十五) 日訓令總第四一號

第六條 被服具ノ使用期間左ノ如シ

帽 一ケ年
冬服、夏服 各一ケ年
外套 二ケ年

制式

名稱	品質	區分
帽子	地質 黒又ハ濃紺絨	分
鈕釦	製式 海軍形	
徽章	前章ハ金モールニシテ直徑一寸圓ノ如キ徽章ヲ附シ帽ノ周圍ニ巾二分ノ金モール一條ヲ附ス	
日覆	鈕釦 金色圓形	
	日覆 白布ニシテ帽ノ上部ヲ包ム	

外套	夏服			冬服		
	鈕釦	袖章	製式	地質	製式	地質
鈕釦	冬服ニ全シ	冬服ニ全シ(白平打)	冬服ニ全シ(平)	白リンネル	背廣詰襟	黒又ハ濃紺絨上下衣共
製式	折襟胸ニ重ニシテ后面裾割キテ腰部帶結ヲ附シ左右ハ物品入一箇ツ	冬服ニ全シ(白平打)	冬服ニ全シ(平)	白リンネル	背廣詰襟	黒又ハ濃紺絨上下衣共
地質	黒又ハ濃紺絨	冬服ニ全シ(白平打)	冬服ニ全シ(平)	白リンネル	背廣詰襟	黒又ハ濃紺絨上下衣共
鈕釦	銀色徑五分ノモノノ胸部十個腰部ニ八個ヲ附ス	冬服ニ全シ(白平打)	冬服ニ全シ(平)	白リンネル	背廣詰襟	黒又ハ濃紺絨上下衣共

(製式畧)

使丁被服規程

明治四十年四月十八日 四區長 決定

第一條 給仕小使ハ本規程ニ定ムル服装ヲナスモノトス
但病氣其他止ムヲ得サル事故ニ依リ本文服装ヲ爲シ難キトキハ認可ヲ受クヘシ

第二條 給仕小使ニハ本規程ニ依リ被服ヲ貸與シ各保存期間満了シタルトキハ之ヲ給與ス

第三條 保存期間満了ニ至ラスシテ轉免死亡シタルモノハ貸與品ヲ返納セシメ其満期ニ至リタルモノハ徽章ノミヲ返納セシム

第四條 靴ハ代料ニテ支給シ毎月金拾錢トス
但新ニ採用シタルモノ其月十五日以前ノモノハ全月分十五日以後ノモノハ半月分ヲ支給シ轉免死亡其月ノ十五日以前ノモノハ半月分十六日以後ノモノハ全月分ヲ支給ス

第五條 自己ノ過失意儘ニ依リ貸與品ヲ毀損若クハ亡失シタルトキハ調製ノ原價ニ依リ保存期間ノ月割ナリテ計算

シ殘月數分チ一時ニ賠償セシムヘシ

第六條 被服ハ隨時點檢ヲナスモノトス

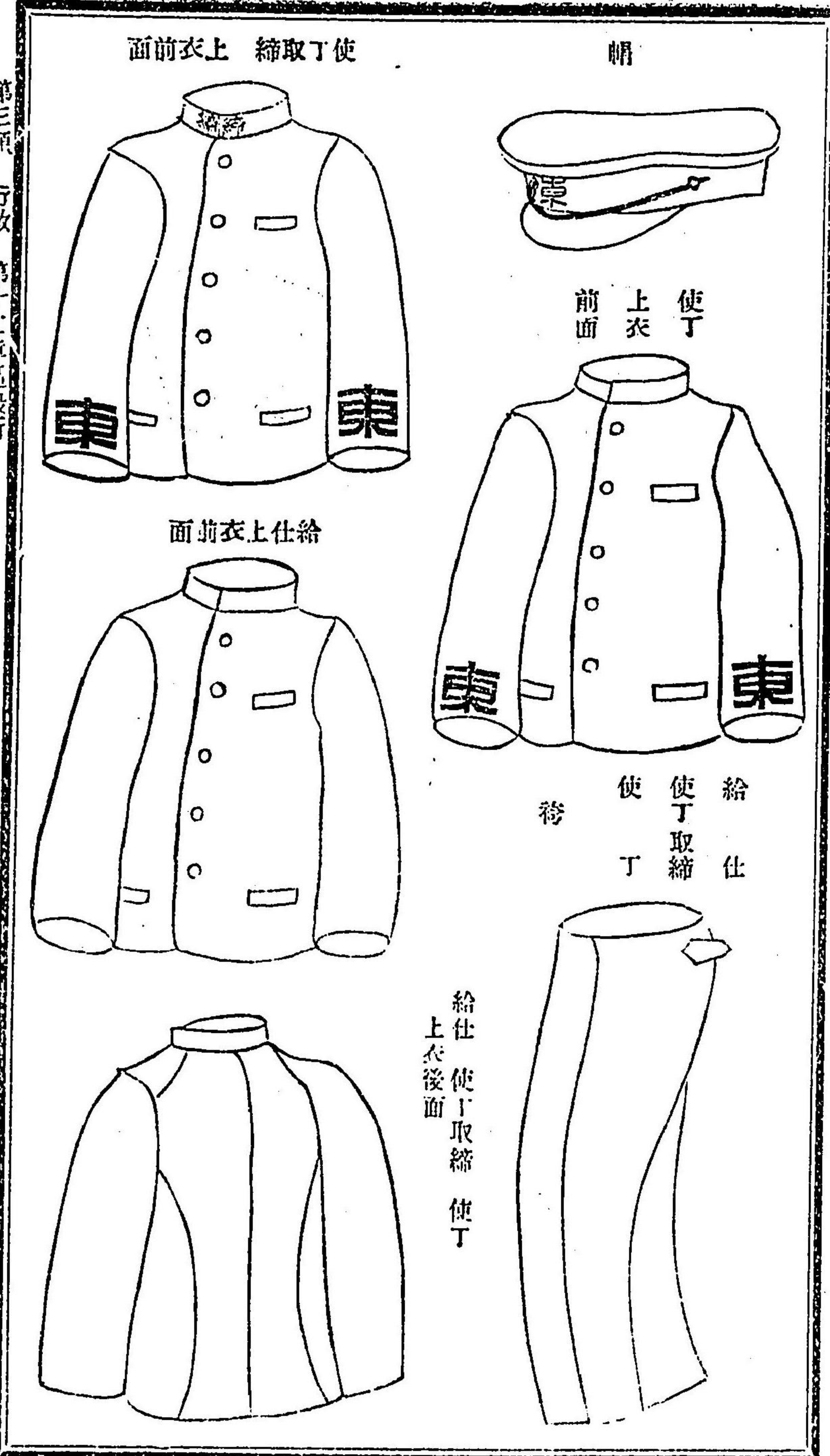
第七條 補修及洗濯料ハ白弁トス

被服種類其保存及着用期限左ノ如シ

品目	負數保存期間	着用期間
帽子(日覆)壹個壹ケ年	交付シタル月ヨリ起算シ十二ケ月間	
冬服(上下)壹着全	自十月至翌年五月	
夏服(上下)貳着全	自六月至同年九月	
外套 壹着壹ケ年	交付シタル日ヨリ起算シ二十四ケ月間	
ゲートル壹足一ケ年	交付シタル日ヨリ起算シ十二ケ月間	
靴 貳足全	全	

冬 上				子 帽				名稱	
鈕	袖章	製式	地質	目類	鈕	徽章	製式	地質	種類
銀色ニテ五個ヲ付ス	○	背廣詰襟巾一寸五分、袖端ニ銀色ニテ縮ノ一ツ、又ハ左右腰部ニ物入一個ツ、ナ付ス	表黒又ハ濃紺絨、裏適宜	白布	銀色	前章ハ銀色、其區ノ頭字一ツヲ付ス	海軍形	表黒又ハ濃紺絨、裏適宜	給仕
黒角製ノモノ五個ヲ付ス	紐ニテ其區ノ頭字ヲ付ス	幅五分、厚ノ黒平打	表紺小倉裏適宜	全上	全上	全上	全上	全上	小區使

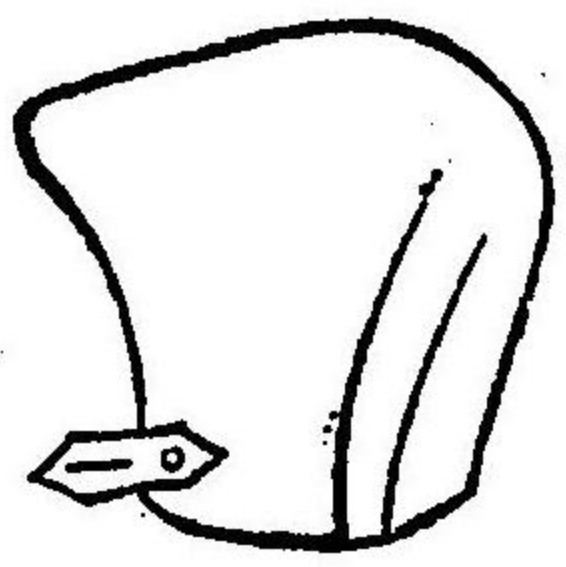
外 套			服 夏				服	
鈕	製式	地質	袴		上 衣		製式	地質
			製式	地質	鈕	袖章		
銀色ノモノ八個ヲ付ス	立襟ニシテ巾ヲ付シ、胸ニ重ニシテ、肩ヲ割キ、又腰部ニ物入一個ツ、ナ付ス	表黒又ハ濃紺絨	普通	白小倉	冬服ニ全シ	○	冬服ニ全シ	白小倉
他ハ全上	全上	全上	全上	全上	全上	冬服ニ全シ、白平打紐	全上	紺小倉



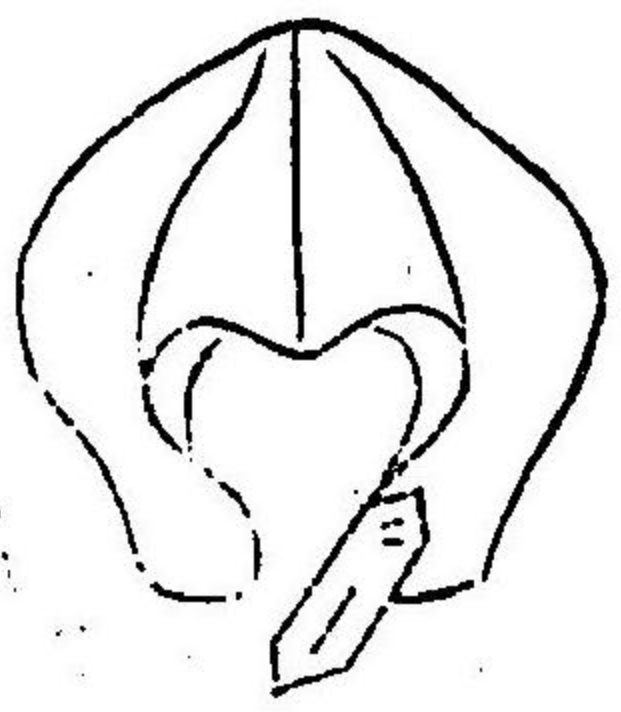
第三類 行政 第十二章 區役所

七〇〇ノ六

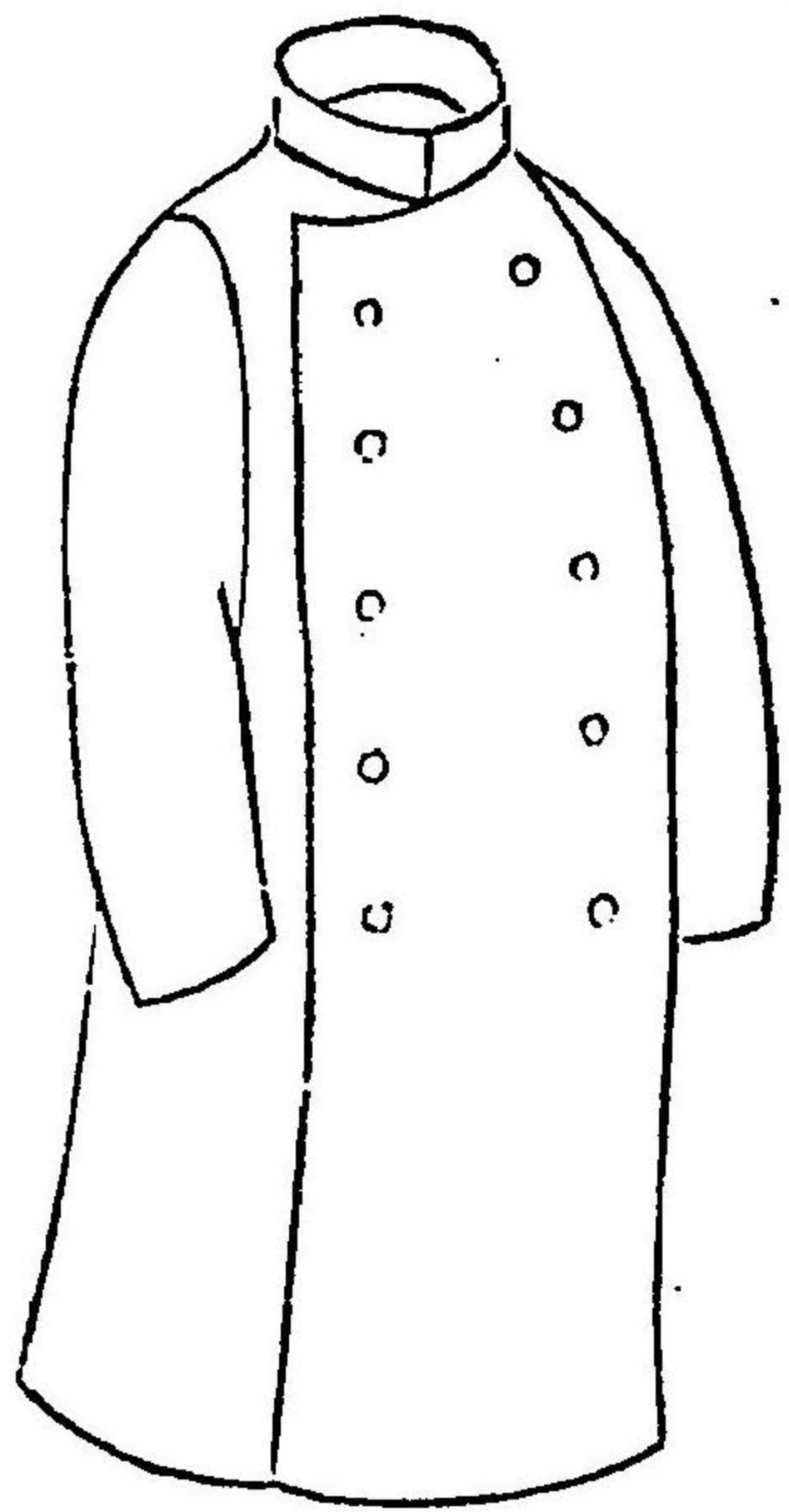
全上 頭巾 橫面



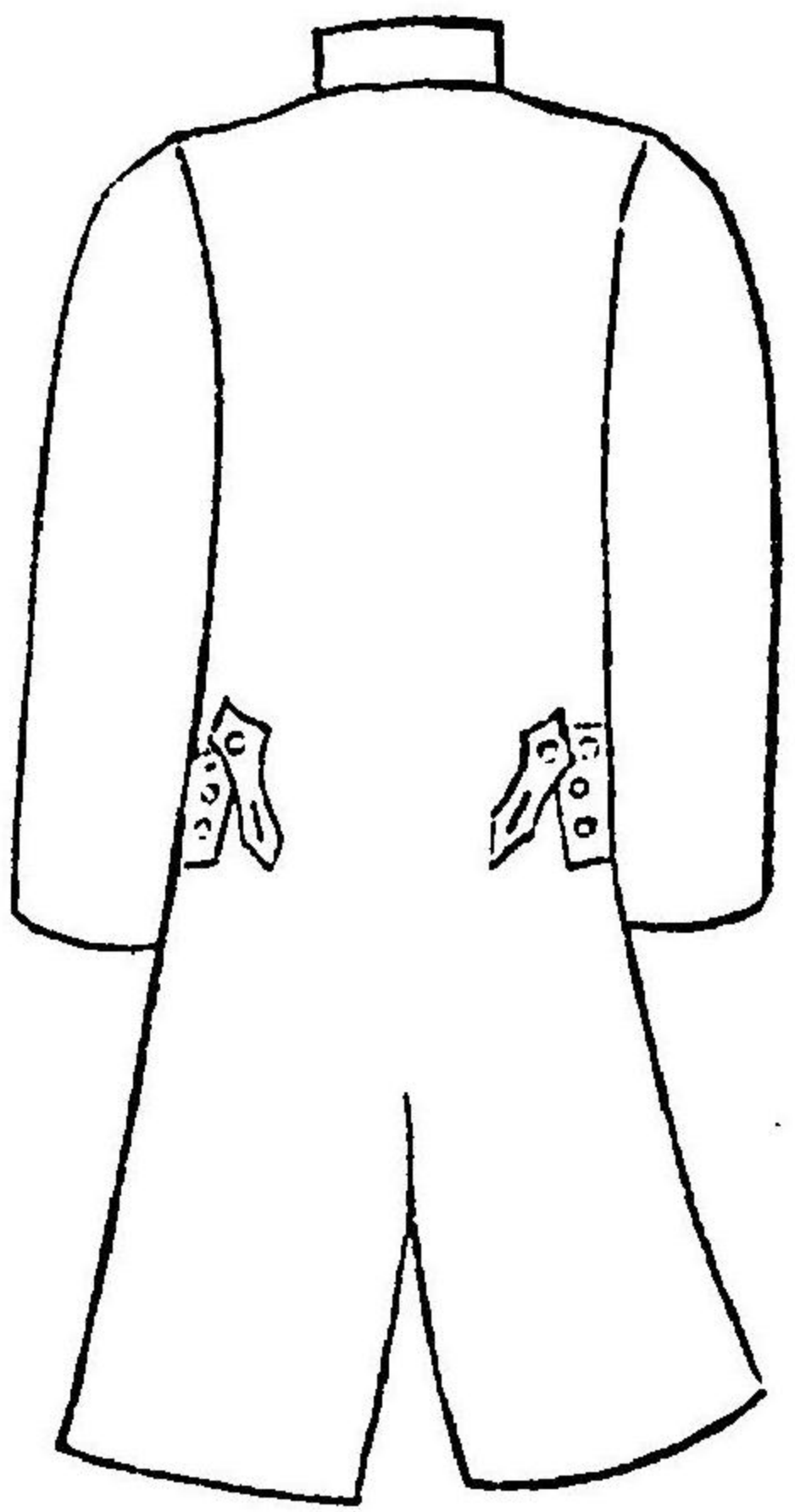
全上 前面



給仕 使丁取締 使丁 外套前面



全上 後面



●區役所ニ屬スル豫算材料

差出方

明治三十七年七月十一日 財乙第一一四號

明治三十八年度以後ノ費所豫算ニ關スル調書ハ別紙様式ニ依リ市稅材料ハ前年九月五日迄ニ其他ハ全七月三十一日迄ニ無遅滞御差出相成度依命此段及通牒候也
明治三十七年七月十一日

總務課長

各區長宛

(別紙様式)

市稅豫算材料調書

(用紙美濃紙)

何

區

地租額調書

(明治 年七月三十一日現在)

區	城	地租額
市	市	(地價百分ノ貳ケ半)
何町外何ケ町 (元大字何々)		

編	入	部	落
	✓	✓	✓
	✓	✓	✓
	✓	✓	✓
	✓	✓	✓
合	計		

計

備考

一編入部落ハ前年度ニ於テ稅率ヲ異ニシタルモノヲ各別ニ記載スルモノトス
 一市稅ヲ賦課セサル地租額ハ之ヲ控除シテ傍ニ之ヲ朱記スルモノトス
 一地租額ハ總テ四捨五入ヲ以テ圓位ニ止ムルモノトス
 一市稅ヲ賦課セサル地租額ニシテ區費ヲ賦課スル地租額ヲ加ヘタルモノハ區費豫算ニ掲グルモノト一致スルヲ要ス

所得稅調書 (用紙美濃紙) 何 區

種別	人員	國稅額
第一種	人	円
第二種		
第三種		
計		

備考

- 一 第一種及第二種ハ前々年度ノ實數ニ依リ第三種ハ其年八月三十一日現在ノ數ニ依ルモノトス
- 一 稅額ハ總テ四捨五入ヲ以テ圓位ニ止ムルモノトス
- 一 稅額ハ區費豫算ニ掲グルモノト一致スルヲ要ス

(用紙美濃紙)

國稅營業稅調書 (明治 年七月三十一日現在) 何 區

種別	人員	國稅額
物品販賣業	人	円
何々		
計		

備考

- 一 稅額ハ四捨五入ヲ以テ圓位ニ止ムルモノトス
- 一 稅額ハ區費豫算ニ掲グルモノト一致スルヲ要ス

(用紙美濃紙)

何 區

賣藥營業稅調書 (明治 年七月三十一日現在)

人員	國稅額
人	円

備考

- 一 稅額ハ四捨五入ヲ以テ圓位ニ止ムルモノトス

(用紙美濃紙)

何 區

第二種營業稅調書 (明治 年七月三十一日現在)

人員	收入金額
人	円

備考

- 一 收入金額ハ四捨五人ヲ以テ圓位ニ止ムルモノトス

(用紙美濃紙)

何 區

雜種稅調書

種別	人員	收入金額
料理屋	人	円
待合茶屋		
遊船宿		
芝居茶屋		
飲食店		
湯屋		
理髮人		

遊藝師匠

等級 人員

等級	人員
計	人

遊藝稼人、俳優モ之ニ全シ		人	藝員	間	人
計		等級	人		員
遊藝場所	興行	演劇	種別	上	り
遊技場					高
酌人、相撲モ之ニ全シ					
種別	西鯉漁船	本島遊船	日遊船	種別	員
洋小計	四噸	三噸	二噸	一噸迄	數
形 本島遊船、川船、積載五十石未満ノ漁船、積載五十石以上ノ海船					
種別 突					
大弓、揚弓、射的吹矢等					
種別 個所					
數					

形		蒸溜船	石油機械船	風帆船	種別	輛	數
車							
馬車		二頭立以上	營業用	家用	小計		
全一頭立		營業用	家用	小計			
自轉車		營業用	家用	小計			
二人人力車		營業用	家用	小計			
備考							
一等級ハ前年度ニ依ルモノトス							
種別		西洋形小車	荷積中車	荷積小車	小計		
乘馬							
駕籠							
種別		全大七、大八車	荷積牛馬車	全一人乘營業用	小計		
數							

一 上り高ハ前々年度ノ實數ニ依リ其他ノ數量ハ其年七月三十一日ノ現在ニ依ルモノトス
 一金員ハ總テ四拾五入ヲ以テ圓位ニ止ムルモノトス

(用紙美濃紙)

何 區
 家屋調査 (明治 年七月三十一日現在)

等級	坪數			計	個數
	住宅	倉庫	其他		
計					

備考

一 坪數ハ割引シタル結果ヲ記載スルモノトス
 一 坪數及個數ハ四拾五入ヲ以テ單位ニ止ムルモノトス

何 區
 (用紙美濃紙)
 取引所調査 (明治 年七月三十一日現在)

利益金額	所	在	取引所名
計			

(用紙美濃紙)

何 區
 坪數割調査 (明治 年七月三十一日現在)

等級	坪數
計	

計

(用紙美濃紙)

何 區

明治何年度歳入(出)豫算調査
 經常費(臨時費) (歳出ニ限ル)

科目	前年度		本年度		附別員數	單位金額	計金額
	豫算額	實際額	豫算額	實際額			

備考

一本表ハ一欸毎ニ調製スルモノトス
 一 科目及種別ハ前年度ニ依ルモノトス
 一 附記欄内ニ細則シ得サルモノハ明細書ヲ添附スルモノトス

一手數料ノ豫算額ハ特別ノ事由アル場合ノ外前々年度ノ實數ニ依リ過年度歳入及過年度歳出ハ特別ノ事由アル場合ノ外前々年度以前三ヶ年ノ平均數ニ依ルモノトス

(用紙美濃紙)

明治何年度歳入(出)豫算増減表
 經常費(臨時費)

科目及種別	前年度		本年度		比較増減	事由
	豫算額	實際額	豫算額	實際額		

備考

一本表ハ豫算調査ニ配シテ一欸毎ニ調製スルモノトス
 一 事由欄内ニハ算出ノ基礎及増減ノ事由ヲ記載スルモノトス

●區役所記簿樣式改正

明治三十五年三月十三日
訓令第一一〇號

區役所

其記簿樣式別冊之通改正明治三十五年度ヨリ施行ス
但補助簿ヲ要スルモノハ適宜之ヲ設ケ其名稱樣式ヲ市收
入役へ報告スヘシ

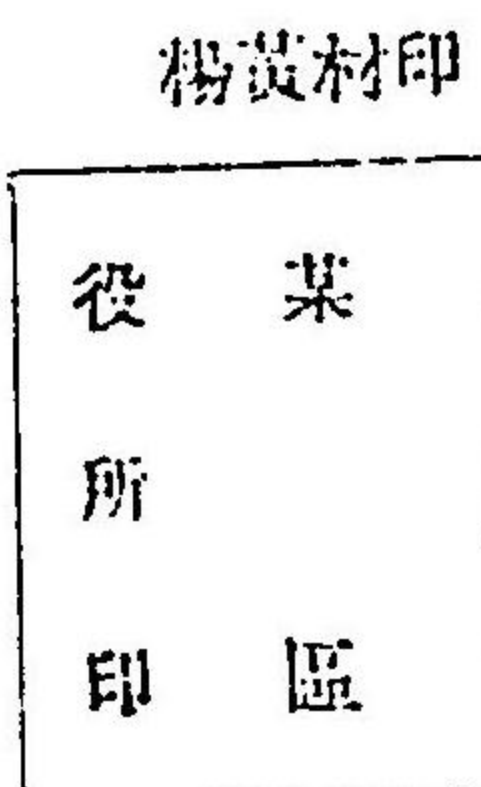
(別冊樣式畧ス)

●區役所及區長印章

明治二十二年十月一日
大阪市訓令第三號

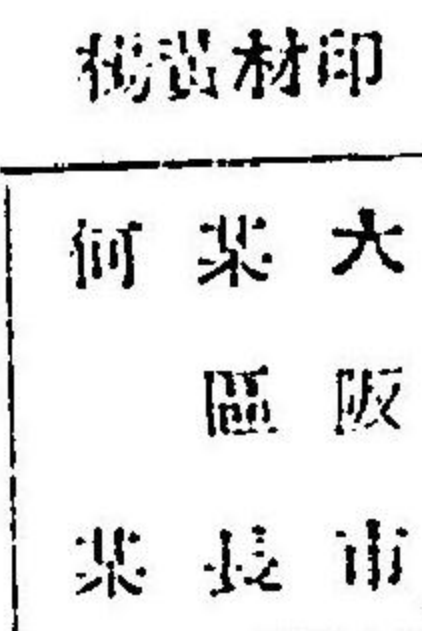
區役所

區役所印及區長役印左記雛形ノ通相定候條區役所ニ於テ彫
刻シ其印影届出ヘシ



區長方一寸三分

楊黃材印



區長方六分

●區役所非常用提燈徽章

明治二十三年一月十七日
市參事會決定

從來本市四區役所備附非常用高張提燈徽章ノ義ハ單ニ區役
所名ノミヲ記シ或ハ上下部へ大ノ字連キテ記入スルモノア
リ元區役所ニ於テ區々ナル印ノ分引繼ノ儘使用致來候處右
ニテハ不都合ニ付自今張替ヲ要シ候場合ニ於テハ追々改正

ノ見込ヲ以テ市區役所徽章別紙雛形之通一定致候テ差附無
之哉爲念相伺候條至急何分ノ御指揮相仰候也

明治二十三年一月十六日

四區長總代 北區長

(別紙)



指令 明治二十三年一月十八日
大阪市指令參第一二號

本年一月十六日付北第十七號高張提燈徽章之儀何之通取計
フヘシ

●區長及區書記提燈徽章

明治二十二年十二月九日
大阪市訓令第四九號

區長

區長及區書記提燈徽章別紙ノ通相定候條右ニ據リ調製ス可
シ

(別紙)

區長



區書記



第十二章 築港事務所

●築港事務市長專決事項

明治三十六年十一月四日
關達第一一二號

各課

築港事務市長專決事項左ノ通り相定ム

築港事務市長專決事項

- 一 毎年豫算ニ於テ確定シタル工事施行ニ關スル事
- 一 船員并ニ俸給月額貳拾五圓以下ノ職員任免進退ニ關スル事
- 一 職員ノ出張又ハ請暇欠勤除服ニ關スル事
- 一 職員退職一時金及死亡者遺族給與金ニ關スル事
- 一 金錢ノ收支命令ニ關スル事
- 一 費額貳千圓未滿ノ工事ノ請負及價額壹千圓未滿ノ物品購入發却ニ關スル事
- 一 物品出納ニ關スル事
- 一 破損亡失流失物品處分ニ關スル事
- 一 船舶登記ニ關スル事

第三類 行政 第十三章 築港事務所

一 登記ニ係ル代人委任ノ事

一 傳染病豫防消毒及清潔法施行ニ關スル事

一 諸備人使役并負傷治療費支給ニ關スル事

一 工事請負及物品購入ニ關スル擔保品ノ事

一 輕易ナル事務ニ付市參事會ノ名ヲ以テ文書ヲ往復スル事

一 貸貸契約ニ係ル埋立ノ帳貸又ハ工作物造營ニ關スル事

明治三十九年六月四日關達第一一二號追加

●築港事務所職員及處務規程

明治三十年九月十四日
大阪市告示第十九號ノ乙

本市會ノ議決ヲ經テ大阪市築港事務所職員及處務規程左ノ通り相定ム

第一條 大阪市築港事務所職員及處務規程

第一條 築港事務所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長	一人
工事長	一人
技師	若干人

七〇一

事務員 若干人
技手 若干人
助手 若干人

第二條 所長ハ所員ヲ統督シ所内一切ノ事務ヲ掌理ス
第三條 所長ハ分課規程及職務細則ヲ設クルコトヲ得
第四條 所長ハ定額豫算内ニ於テ雇員ヲ使用スルコトヲ得
第五條 所長ハ所員ノ特別勤勞アルモノヲ賞與スルコトヲ得

第六條 工事長ハ所長ノ指揮ヲ承ケ工事ニ關スル事務ヲ掌
リ所長事故アルトキハ之ヲ代理ス
第七條 技師ハ所長及工事長ノ指揮ヲ承ケ工事ニ關スル事
務ヲ分掌ス

第八條 事務員ハ所長及工事長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
第九條 技手、助手ハ所長、工事長及技師ノ指揮ヲ承ケ工事
ニ關スル事務ニ従事ス

築港事務所處務細則

明治三十年一月十八日
所長 達 第一號

大阪市築港事務所處務細則別紙ノ通相定ム

(別紙)

大阪市築港事務所處務細則

第一條 本所ニ到達スル文書ハ凡テ庶務課ニ接受シ開綴ノ
上甲(應答指令ヲ要スルモノ)乙(應答指令ヲ要セサルモノ)
ノ二種ニ分テ主務課ニ送付スヘシ但所長、工事長宛親
展書并電信ハ直ニ之ヲ所長、工事長ニ提出シ金券又ハ金
ハ會計課ニ送付スヘシ
各課又ハ各課ノ職員ニ宛テタル文書ハ各課ノ取扱ニ關ス
ヘシ

第二條 各課ニ於テ接受シタル文書ノ甲號ニ屬スルモノハ
接受シタル日ヨリ三日以内ニ處分案ヲ具ヘ庶務課ニ回付
スヘシ其他課ニ合議ヲ要スルモノハ之ヲ其合議課ニ回付
シ合議課ハ毎課二日以内ニ之ヲ關丁シ庶務課ニ回付スヘ
シ但本條ノ日數ニハ休暇日ヲ算入セス
前項期限内ニ處分若クハ關丁シ得サルモノハ附箋ニ其事
由及延期ヲ要スル日數ヲ記シ之ヲ本書ニ貼付シ所長ノ承
認ヲ乞ヒ其旨ヲ庶務課ニ通知スヘシ

第三條 合議ヲ受ケタル議案ニ異議アルトキハ主務課長又
ハ主任ニ面議シ尙決セサルトキハ意見ヲ具シ所長ノ決裁
ヲ乞フヘシ

第四條 各課調査濟ノ成案ハ庶務課ニ於テ之ヲ取纏メ所長
ニ提出スヘシ但シ工事ニ關スルモノハ工事長ヲ經由スヘ
シ

第五條 決裁濟ノ文書ハ庶務課ニ於テ施行スヘシ其所長名
若クハ所名ヲ以テ發スル文書ハ庶務課ニ於テ淨寫シ主任
之ヲ校正シ主務課長之ニ捺印スヘシ但本書ニ添付スヘキ
別紙及圖面等ハ主務課ニ於テ淨寫校正スヘシ

第六條 電信又ハ郵便若クハ通郵便ニ附スヘキ文書ハ經理
課ニ交付シ經理課ニ於テ之ニ切手貼用等ノ手續ヲ爲スヘ
シ所外ヘ文書ノ直達ヲ要スルモノ亦經理課ニ交付シ經理
課ニ於テ使送ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 事ノ至急ヲ要シ又ハ秘密ニ係ルモノハ通常ノ手續
ニ係ラス課長ヨリ直ニ決裁ヲ乞ヒ又ハ便宜主任自ラ携帶
シテ各課ノ議ヲ取り所長ニ提出スルコトヲ得其決裁濟施
行ヲ要スルモノハ之ヲ庶務課ニ回付スヘシ

至急又ハ秘密ノ文書ハ(急)又ハ(秘)ノ印ヲ回議ノ欄外ニ
捺スヘシ

第八條 回議ノ結局ヲ知ラントスルトキハ評名ノ上ニ「要
再回」ノ印ヲ捺スヘシ

第九條 文書ハ本所ニ接受シ若クハ成案ヨリ施行ニ至ルノ
間ニ授受スル毎ニ簿冊ニ記入シ受領者ノ捺印ヲ要シ且
シ其月日ヲ明ニシ何時タリトモ直ニ其文書ノ所在ヲ知り
得ルヲ要ス

第十條 處分施行濟ノ文書ハ庶務課ニ於テ之ヲ分類編冊保
存スヘシ其秘密ニ係ルモノハ特ニ所長付事務員ニ命シテ
之ヲ保管セシムルコトアルヘシ

第十一條 所員ハ他ノ課事務多端ニシテ補助ヲ要スルトキ
ハ所長、工事長ノ命ニ依リ之ニ従事スヘシ

第十二條 公文書類ハ所長、工事長ノ許可ヲ得シテ他人ニ
示シ又ハ寫帳ヲ與フルコトヲ得ス

第十三條 所員主管ノ文書ハ總テ散逸セサル様嚴重取締ル
ヘシ

築港事務所事務分課規程

明治三十八年九月二十七日
廳達 第八號

廳中一般

築港事務所分課規程中別紙ノ通改正ス

(別紙)

大阪市築港事務所分課規程

第一條 大阪市築港事務所ニ工務課、庶務課ヲ置キ各課長ヲ置ク

第二條 工務課ニ工事掛棧橋掛ヲ置キ庶務課ニ秘書掛、經理掛、計算掛ヲ置ク

第三條 各掛ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル

工事掛

一 工事ノ設計、施行ニ關スル事項

一 測量製圖ニ關スル事項

一 工事費豫算ニ關スル事項

一 舟船及諸器械ノ設計製造ノ監督并修繕ニ關スル事項

棧橋掛

一 港内及航路標識ノ取締ニ關スル事項

秘書掛

一 所員ノ進退并賞罰ニ關スル事項

一 所印ノ管守ニ關スル事項

一 所内ノ條規ニ關スル事項

一 文書ノ調査ニ關スル事項

一 文書ノ收受發送并淨寫ニ關スル事項

一 統計報告ニ關スル事項

一 文書ノ編纂保存ニ關スル事項

一 翻譯ニ關スル事項

一 他掛ノ主管ニ關セサル事項

經理掛

一 工所用材料ノ出納保管ニ關スル事項 (四十一年一月二日廳達第改)

一 事務所需用品ノ出納保管ニ關スル事項 (全上)

一 工所用舟船諸器械ノ出納保管ニ關スル事項 (全上)

一 不用品處分ニ關スル事項

一 營繕ニ關スル事項

港灣事務分掌

明治卅八年九月十八日
廳達 第七號

各課

築港事務所

築港事務分掌自今左ノ通相定ム

總務課

一 諸收入及公債費支出ニ關スル事項

築港事務所

一 港灣維持及物件ノ賣買貸與ニ關スル事項

櫻島工場設置

明治四十年四月九日
市參事會決定

港灣附帶事業ノ爲メ櫻島工場ヲ設置ス

器械課分課規程細目

明治三十一年三月十四日
所長達 第二七號

一 公舎ノ取締ニ關スル事項

一 給仕小使ノ命免及取締ニ關スル事項

一 土地及建造物ノ賣買貸與ニ關スル事項

計算掛

一 築港費ノ總豫算編製并支出命令ニ關スル事項 (明治八年十月十日廳達第九號改正)

一 事務所費ノ豫算ニ關スル事項

一 契約書并證書類ノ保管ニ關スル事項

一 港灣費ノ豫算及支出命令ニ關スル事項

一 保証金ノ收支命令ニ關スル事項 (明治三十八年十月十日廳達第九號追加)

築港事務所工事請負物品 購入及不用品賣却方

明治四十年十二月六日
市會議決

從來築港事務所ニ於テ管掌シタル左記ノ事項ハ來十二月十六日ヨリ市役所ニ於テ掌理スルモノトス

一 工事請負物品購入及不用品賣却ニ關スル契約ノ事

器械課分課規程細目

第一條 器械課ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 器械工場諸般ノ事務ヲ整理シ舟船及諸器械ノ修繕ニ支障ナカラシムルコト

一 舟船及諸器械ノ新造改造修繕保存ニ關スルコト

一 舟船及諸器械ニ關スル設計圖式調製ノコト

一 舟船定期臨時検査ニ關スルコト

一 船長以下船員及機械掛員ノ能否勸怠ヲ監督スルコト

一 船長以下船員及機械掛員ノ技術上過誤失錯審問ニ關スルコト

ルコト

一 船長以下船員及機械掛員ノ定員給料ニ關スルコト

一 船長及諸器械附屬品ノ制限並ニ調査ニ關スルコト

一 舟船及諸器械ノ需用品消耗品及材料ノ撰擇並要否調査ニ關スルコト

ニ關スルコト

一 航海日誌、機關日誌諸報告類ヲ調査シ其當否ヲ定ムルコト

コト

第二條 舟船及諸器械ノ製造若シクハ修繕ヲ請負ニ付セントスルトキハ先ツ圖式(修繕ハ輕易ノモノニ限リ)省界ス

ルコトヲ得) 及仕様書ヲ調製シ所長ノ裁決ヲ受クヘシ

第三條 舟船及諸器械ノ製造若シクハ修繕中仕様書外ノ工事ヲ要スヘキ箇所ヲ生シタルトキハ更ニ所長ノ裁決ヲ受クヘシ

第四條 舟船及諸器械ノ製造修繕ニシテ之ヲ公入札ニ附セントスルモノハ新聞紙廣告案契約書案又隨意契約ニ據ラントスルモノハ其隨意契約ヲ爲スヲ要スルノ理由方法及契約書案ヲ具シ所長ニ提出スヘシ

第五條 舟船及諸器械ヲ製造若シクハ修繕スルトキハ所長ノ裁決ヲ得テ每品之ヲ監督員ヲ定ムヘシ

第六條 監督員ハ舟船及諸器械ノ製造若シクハ修繕中日々工場ニ出張シテ指揮監督スヘシ但事宜ニ依リ課長ノ許可ヲ得テ隔日若クハ期日ヲ定メテ出張スルコトヲ得

第七條 監督員ハ仕様書中文字ノ意味若クハ圖面ノ解釋ニ關シ總テ判定ヲ爲スヘシ

第八條 監督員ハ船體機關材料ノ強弱其他構造運用等ニ關シ試験ヲ爲スコトヲ得

第九條 監督員ハ舟船及諸器械ノ製造若クハ修繕ヲ終リタ

ルトキ試運轉ヲ執行シ若シ不完全ト認メタル部分アルトキハ期限ヲ定メテ改造ヲ爲サシムルヘシ

第十條 監督員ニ於テ舟船ノ製造修繕ヲ完成シタリト認メタルトキハ其旨ヲ課長ニ報告シ検査員ノ出張ヲ請求スヘシ

第十一條 舟船ノ検査期限ハ順次之ヲ記録シ其検査期日接近シタルモノハ別ニ船名ヲ標示シ豫メ修繕等ノ準備ヲナスヘシ

第十二條 船長以下船員及器械掛員ノ勸怠ハ別紙書式ニ依リ取摺メ翌月三日迄ニ所長ニ提出スヘシ

第十三條 課長ハ船長以下船員及器械掛員ノ病氣其他事故ニ依リ欠勤スルトキハ所長ノ裁決ヲ經テ豫備船員若クハ他船乘組員又ハ掛員又ハ臨時雇人員ヲ以テ其職務ヲ代理セシムルコトヲ得(明治三十四年四月十日)

第十四條 船長以下船員及器械掛員ニ於テ技術上ノ過誤失錯アリタルトキハ現場ニ就キ其實事ヲ調査審問シ詳細ノ報告書ヲ製シ意見ヲ付シ所長ヘ提出スヘシ

第十五條 舟船及器械工場ハ所長ノ裁決ヲ得テ豫メ定員及

附屬品ノ制限並ニ消耗品ノ支消月額ヲ定ムヘシ

第十六條 舟船及諸器械ニ必用ナル物品ノ交付若クハ交換ノ請求アルトキハ課長之ヲ審査シ其請求書ニ捺印シテ經理課ニ回付スヘシ

第十七條 舟船諸器械ノ附屬品ハ豫メ稟帳ヲ製シ之ニ記載シ時々現品ト引合スヘシ

諸規程適用ノ件

明治四十年二月二十二日 所長 決 定

一 現行ノ規程中器械課長ニ關スル規程ハ工務課長、器械課ニ關スル規程ハ工務掛、庶務課ニ關スル規程ハ秘書掛、經理課ニ關スル規程ハ經理掛、會計課ニ關スル規程ハ計

算掛主務課ニ關スル規程ハ主務掛ニ各之ヲ適用ス

二 現行ノ規程中經理課長ニ關スル規程ハ之ヲ庶務課長ニ適用ス

●會計課分課規程細目

明治三十三年二月八日
所長達第七號

會計課

其課分課規程細目別紙ノ通り相定ム

(別紙)

會計課分課規程細目

第一章 總 則

第一條 會計課ニ左ノ三係ヲ置ク

調 査 係

豫 算 係

出 納 係

第二條 記簿及調査簿ヲ終了シタルトキハ押印シテ其責任

ヲ明カニスヘシ

第三條 帳簿及憑書類ハ退所前必ス倉庫ニ納ムヘシ

第四條 帳簿及諸表ノ様式ハ所長ノ定ムル所ニ依ル

第五條 收入役ノ印章ハ所長ノ面前ニ於テ押印シ所長ノ封

緘ヲ受ケ金庫ニ藏置スヘシ

第六條 金庫ハ會計課長若クハ其ノ代理者ノ立合アルニア
ラサレハ開閉スルコトヲ得ス

第二章 調査係

第七條 本係ニ於テ左ノ事項ヲ掌ル

一 課員ノ起案ニ係ル文書諸表及收支命令案調査ニ關スル
事項

一 契約書保管ニ關スル事項

一 例規編纂ニ關スル事項

一 收入役印及課印管守ノ事

一 他係ニ關セサル事項

第八條 各課ノ合議案及課員ノ起案ニ係ル文書諸表並收支

命令書等ハ法律命令其他例規ニ抵觸スルコトナキヤ否及

費目并ニ算定ノ當否等文書接受ノ日ヲ以テ嚴密ニ精算調

査ナラヌヘシ

第九條 契約書ハ渾テ金庫ニ藏置シ且保管簿ニ授受ノ事蹟

ヲ明記スヘシ

第十條 例規書類ハ類別編纂シ搜索ニ便ナラシムヘシ

第三章 豫算係

第十一條 本係ニ於テ左ノ事項ヲ掌ル

一 豫算ニ關スル一切ノ事項

一 金錢ノ收支命令ニ關スル事項

一 金錢ノ收支ニ關スル各課ノ合議案照査ニ關スル事項

一 豫算記簿ニ關スル事項

第十二條 本係ニ左ノ帳簿ヲ設ク

一 豫算簿

一 發議金差引簿

一 設計調査簿

一 給料原簿

一 内拂金整理簿

一 其他補助簿

第十三條 毎年二月末日迄ニ各課ヨリ翌年度豫算調書ヲ取

纏メ精査ノ上總豫算書ヲ製シ三月二十日迄ニ所長ニ提出

スヘシ

第十四條 豫算ノ違テ受ケタルトキハ記簿報告書ヲ製シ豫

算簿ニ登載ノ上出納係ヘ回付スヘシ

第十五條 豫算ノ流用及費目ノ拂換ハ主務課ヨリ參考書ヲ

徴シ所長ノ決裁ヲ得記簿ノ手續ヲ終ヘ出納係ヘ回付スヘ

シ

第十六條 各課ヨリ金錢ノ收支ニ係ル合議ヲ受ケタルトキ

ハ調査ノ上發議金差引簿ニ登記シ追テ確定ノ上豫算簿ニ

金額及收支ノ要領ヲ登記スヘシ但支出ヲ要スル金額ニシ

テ豫算殘額ヲ超過スルトキハ豫算流用ノ決定ヲ待テ支出

シ得ルニ至リタル上ニ非サレハ登記スヘカラス

前項登記ノ金額及要領ハ他日請求書ト照合ヲ爲スニ便ナ

ランコトヲ要ス

第十七條 金錢ノ收支命令ハ左ノ手續ニ依リ調製スヘシ

一 給料ノ内年俸月給ハ仕譯書ヲ作り日給ハ主務課長ノ証

印又ハ庶務課ノ通知ニ依リ精査ノ上豫算簿及給料原簿

ニ登記スヘシ

一 主務課ヨリ回付ヲ受ケタル官衙公署ノ納入告知書又ハ

納付書返納書請求書ニシテ主務課長ノ証印アルモノハ

精査ノ上豫算簿ヘ照合シ其顛末ヲ付記スヘシ

一 旅費食料賄料宿泊料等ノ請求書ハ主務課長ノ証印又ハ

庶務課ノ通知ニ依リ調査ノ上豫算簿及支給原簿ニ記載

スヘシ

一 市内車馬賃ノ請求書ハ主務課長ノ証印及庶務課長ノ証印及庶務課ニ於ケル里程調査ノ証印アルモノニ依ル

第四章 出納係

第十八條 本係ニ於テ左ノ事項ヲ掌ル

- 一金錢收支ノ切符發行ニ關スル事項
- 一有價証券ノ收支命令并出納保管ニ關スル事項
- 一現金取扱人ニ關スル事項
- 一金庫倉庫ノ管理并ニ開閉ニ關スル事項
- 一憑替并ニ領收証書編纂ニ關スル事項
- 一出納記簿ニ關スル事項
- 一諸表調製ニ關スル事項
- 一決算ニ關スル事項

第十九條 本係ニ左ノ帳簿ヲ設ク

- 一現金收支計算簿
- 一印鑑簿
- 一有價証券受拂簿
- 一豫算原簿

一 内譯簿

一 前整理簿

一 假出金整理簿

一 保証金内譯簿

一 金錢預ケ帳

一 金錢受取帳

一 其他補助簿

第二十條 市參事會ヨリ經費金ヲ受ケタルトキハ即日記簿報告案及領收証書調製ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 納付金又ハ返納金アリタルトキハ其納書ニ捺印シテ現金取扱人ニ現金ヲ領收セシメ其納書ハ之ヲ豫算係ヘ同付スヘシ

第二十二條 金錢及有價証券ノ收支命令書ニハ年度ヲ通セテ番號ヲ付シ其切符ヲ作り領收証書ハ納人ニ支拂切符ハ領收証書引換ニ請求人ニ交付スヘシ

第二十三條 有價証券ノ受拂ハ即時有價証券受拂簿ニ登記シ課長ノ捺印ヲ受クヘシ

第二十四條 日々決行シタル收支ハ其當日合計簿ヲ付シ課長ノ捺印ヲ得テ金錢預ケ帳又ハ受取帳及現金收支計算簿ニ登記シ現金取扱人ト帳簿ヲ交換シ當日ノ收支金額ヲ証スル割印ヲ爲スヘシ

第二十五條 各地ヘ送付ヲ要スル金員ハ支拂切符ヲ現金取扱人ニ交付シ爲換券ノ調製ヲ命スヘシ

爲替券ノ回付ヲ受クル迄ハ預リ証ヲ徴スヘシ

第二十六條 記簿ハ收支命令書又ハ記簿報告書等ニ依リ詳細ニ登記シ且ツ必ス帳簿ヲ送クヘシ

第二十七條 當日ノ貸借對照表ハ必ス翌日限リ調製スヘシ

第二十八條 現金取扱人ヨリ抵當品ヲ納付シタルトキ又ハ下戻ヲ請求シタルトキハ市參事會ノ定メル價格ニ據リ調査ヲ送ケ預リ証書交付ノ手續ヲ爲スヘシ其既ニ預リ証ヲ交付シアルトキハ書替交付スヘキモノトス

第二十九條 有價証券ハ一ヶ月一回以上所長若クハ代理者ノ検査ヲ受クヘシ

第三十條 記簿簿ノ收支命令書報告書ハ一ヶ月毎ニ翌日區分ノ上合計簿ヲ付シ編纂スヘシ

第三十一條 領收ノ証書ハ調査係ノ調査ヲ終タルトキ一ヶ月毎ニ號ヲ送テ編纂スヘシ

諸文書庶務課ヘ回付方

明治三十一年二月二日 所長達第一一號

庶務細則第二條ニ依リ庶務課ニ回付スル文書ハ金錢ノ支出收入保管及記簿命令ニ關スルモノヲ除キ凡テ其文書ニ庶務課ヲ記入スヘシ

金錢支出ニ關スル契約證

書取扱方

明治三十一年十月二十一日 所長達第四一號

物品購買人夫供給其他等金錢ノ支出ニ關シ契約証書ヲ作成シタルモノハ其契約締結ノ上之ヲ會計課ニ預ケ置クヘシ而シテ毎年度經過後三十日以内ニ別紙書式ノ目錄ヲ添ヘ會計課ヘ引續クヘシ

但明治三十年度分ハ來十一月三十日限本文ノ手續ヲ爲スヘシ

明治何年度中締結ニ係ル契約書目

一 契約書 何通

内 譯

番 號	決議年月日	件 名	契約履行済受 負 人 備 考
、	、	、	何々ノ事
、	、	、	由ニヨリ
、	、	、	何年何月
、	、	、	何日解約
、	、	、	結了期限
、	、	、	何年何月
、	、	、	何日

右及引繼候也

年 月 日

會 計 課 宛

課

名 印

(備考) 年度中契約履行ニ至ラサルモノハ進テ履行済ノ

七引繼クヘキモノトス

金錢收支ニ關スル契約證

書回覽ノ件

明治三十二年一月二十日 所長 達 第三號

各 課

金錢ノ收支ニ關係スル諸般ノ契約書ハ締結後ノ回覽ニ會計課ヲ加フヘシ

電報取扱手續

明治三十二年一月二十日 所長 達 第四號

各 課

電報取扱手續別紙ノ通り相定ム

(別 紙)

電報取扱手續

第一條 當所ヨリ發スル電報ハ主務課ニ於テ頼信紙へ受信人發信人并ニ電文ヲ片假名ヲ以テ認メ尙ホ月日時刻字數

文書保存規程

第一條 文書ハ總テ庶務課ニ收蒐シテ分類編纂裝訂保存ス

第二條 保存ノ文書ハ曆年度ヲ以テ分界トシ施行及決判ノ日ヲ逐テ編纂スヘシ但一事件ノ數年ニ跨リ相關聯スルモノハ其事件ノ完結セル最終ノ書類ニ合セ編纂スルモノトス

第三條 裝訂シタル文書ハ目錄ヲ卷首ニ掲ケ番號ヲ記シ又前後照應ヲ要スルモノハ其欄外ニ事由ヲ記注シ以テ搜索

第四條 各課ニ於テ施行若クハ決判済完結ノ文書ハ其完結(工事舟船器械其他物品ノ受負ニ係ルモノハ竣成若クハ納付檢査済又保証期限アルモノハ其保証満期後)シタル日ヨリ一ヶ月以内ニ件名簿ニ登記シテ庶務課ニ送付スヘシ

第五條 庶務課ハ前條ノ文書ヲ調査シ其種類ヲ甄別シテ之ヲ整理シ若シ不完全ノモノアルトキハ主任ニ就キ之カ完

等ヲ記シ課長ノ檢印ヲ得テ經理課へ交付スヘシ

第二條 經理課ハ前條ノ頼信紙ヲ受取リタルトキハ記載ノ事項ヲ漏レナク電話ヲ以テ大阪郵便電信局へ通知シ其類信紙ヲ保存スヘシ

第三條 電話ヲ以テ電報ヲ通シ來ルトキハ電話掛ニ於テ電報用紙ニ片假名ヲ以テ漏レナク書取リ即時送付簿ニ記入シ主任者へ交付シ受領ノ印ヲ求ムヘシ

第四條 課所後ニ在テハ宿直ニ於テ前數條ノ事項ヲ取扱ヒ受信ハ直チニ送付簿ニ記入シ其向ヘ送付スヘシ

第五條 發信電報料及依託電報料ノ請求アリタルトキハ經理課ニ於テ調査シ會計課ニ於テ支拂ノ手續ヲナスヘシ

文書保存規程

明治三十二年三月十九日 所長 達 第二八號

文書保存規程別紙ノ通相定ム

(別 紙)

備子價ムヘシ
 第六條 各課ニ於テ徵考例証ニ備ヘン爲メ保存文書ノ借覽ヲ要スルトキハ主任者文書貸與簿ニ其文書ノ件名ヲ登記シ之ニ捺印スヘシ返還シタルトキハ庶務課ニ於テ其件名ノ欄外ニ返還ノ印ヲ捺スヘシ
 第七條 借覽文書ハ厚ク取扱ニ注意シ嚴ニ散逸汚損ヲ戒ムヘシ

● ポートランド、セメント
製造監督規程及檢收規程

明治三十一年九月二十日
 所長達 第三八號

材料 試驗 課
 經理 課

ポートランド、セメント製造監督規程及檢收規程別紙ノ通相定ム
 (別紙)

第一條 大坂市築港用ポートランド、セメント仕様書第二條第二項ニ依リ供給者ノ工場ニ派遣セラレタル吏員ハ本

規程ノ定ムル所ニ從フヘシ
 第二條 吏員ハセメント製造ノ監督ヲ實行スル爲メ必要アルトキハ供給者ノ傭入職工ヲ使役シ且其機械器具雜品ヲ使用スルコトヲ得
 第三條 吏員ハ常時供給者ノ工場ニ在リテ之カ監督ニ從事シ當事務所ニ供給セントスルセメントノ製造作業中ハ何時モ該工場ヲ離ル可カラズ

第四條 原料ノ調査ハ終始一定不變ナルヲ要ス故ニ吏員ハ粘土及石灰(若クハ炭酸石灰)粉末ノ細度、量器、量法及混和ノ精粗ニ關シ供給者ニ於テ常ニ一定ノ操作ヲ爲スト否トヲ監査スヘシ吏員ニ於テ前項ノ操作ニ關シ不満足ト思惟スル廉アルトキハ其標本ヲ採取シ意見ヲ付シテ之ヲ當事務所ニ送付スヘシ
 第五條 吏員ハ供給者ナシテ豫メ當事務所ニ供給スヘキセメント熱灼ノ用ニ供スル熱窯若干ヲ指定セシメ且監査ヲ經タル生煉瓦ニ非サレハ一箇タリトモ監査スルヲ許サ、ルモノトス
 前項指定ノ熱窯ハ記號ヲ附シ一見識別ニ容易ナラシムヘシ

シ
 第六條 燒窯ヨリ取出シタル燒塊ハ黑色、青黑色、若クハ綠色ノモノ、ミチヲ撰擇シテ之ヲ粉碎機ニ移サシムヘシ荷モ熱灼ノ過不及ニ由リ硝子質ニ變シタルモノ若クハ粉狀ヲ呈スルモノ又ハ黃色、淡紅色、淡紫色若クハ赤色ノ燒塊ハ決シテ混入セシム可カラズ

第七條 吏員ハ燒塊粉碎ノ度ヲ少クモ一日二回檢定スルモノトス其檢定ノ方法ハ毎回隨意ニ百「グラム」ノセメントヲ採リ一平方「センチメートル」ニ付四千九百個ノ孔眼ヲ有スル篩ヲ以テ三十分時間之ヲ篩フヘシ該篩上ニ殘留スル滓渣ハ二十五「グラム」ヲ超過スヘカラス
 吏員ハ前項ノ檢定ニ於テ粉碎ノ度完全ナルトキハ貯藏場ニ其旨ヲ標示スヘシ

第八條 貯藏場ニ於ケルセメントハ厚一尺以上ニ堆積セシムヘカラス又其貯藏七日以上ニ至ラサレハ樽詰ヲ爲サシムヘカラス
 第九條 樽詰ヲ終リタルトキハ吏員ハ直ニ供給者ヲシテ商標ヲ貼付セシメ且觀易キ處ニ其樽詰シタル月日ヲ記シ捺

第三類 行政 第十三章 築港事務所

印シ以テ其檢定済ヲ証スヘシ
 第十條 セメントハ樽詰ノ順序ヲ逐フテ當事務所ニ發送セシムルモノトス粉砕後少ナクモ二週日ヲ經過シ且吏員ノ檢定ヲ經タルモノニ非サレハ發送セシムヘカラス
 吏員ハセメント發送ノ都度其分納品ニ對スル各檢定ノ成績簿及月日ヲ當事務所ニ報告スヘシ

第十一條 大坂市築港用ポートランド、セメント仕様書第六條末項ノ試驗ヲ爲スニハ本規程第七條ノ注意ヲ加ヘ一回ニセメント百「グラム」宛ヲ篩ヒ以テ所要ノ量ヲ篩ヒ上クルモノトス
 第十二條 吏員ハ監詰ノ都度各窯ニ對スル生煉瓦ノ標本ヲ取リ直ニ當事務所ニ發送スルノ外尙ホ左記ノ場合ニ於テ標本ヲ採收シ之ヲ當事務所ニ回送スルモノトス
 (一)供給者ニ於テ當事務所ニ供給スヘキセメントノ製造用原料ニ供スル粘土、石灰若クハ炭酸石灰又其熱灼用燃料ニ供スル石炭、無煙炭若クハ骸炭ヲ撰定シタルトキ及爾後前記原料若クハ燃料ヲ變更セシトキ
 (二)原料ノ調査、其混和ノ方法及生煉瓦ノ製作ニ關シ變更

第三類 行政 第十三章 築港事務所

アリタルトキ

(三)右ノ外吏員ニ於テ調査ノ必要アリト認ムルトキ及當事務所ヨリ特ニ標本ヲ徴シタルトキ

第十三條 吏員ハ工場監督日誌ヲ作リ其實行ニ係ル事項ヲ細大明記シ置クヘシ且其要領ハ每週一回之ヲ當事務所ニ報告スルモノトス

ポートランド、セメント檢收規程

第一條 セメント納付場所ニ到着シタルトキハ供給者ヲシテ其旨ヲ當事務所倉庫主任ニ届出シメ令主任ハ仮置場ニ充テタル倉庫ニ搬入セシムヘシ

仮置場ニ搬入ノ際セメントハ一車毎ニ必ス其通路ニ備フル秤器ヲ通過セシムヘシ倉庫主任ハセメント各樽ニ就キ製造監督吏員檢印ノ有無並ニ鐵閥、錫等樽ノ外観ヲ檢査シ其檢印ナキモノハ勿論外裝ノ不完全ナルモノハ直チニ檢印ヲ消却シ之ヲ庫内ニ搬入セシムヘカラス但仮置場ニ於テハ一口百樽宛ニ區分シテ之ヲ整置セシメ百樽ニ滿タル端數ハ一口ト見做シテ取扱フヘシ
前項秤器通過ノ際倉庫主任ハ一車毎ニ其重量ヲ帳簿ニ記

入シ車ノ重量ヲ扣除シテセメント各一口ノ總重量及各一樽ノ平均重量ヲ算出スヘシ

第二條 前條檢査了レタル後倉庫主任ハ所長ノ指定シタル吏員ノ立會ヲ得テ一口ノ中三樽乃至五樽ニ就キ蓋或ハ底ヲ開キ又ハ樽ノ中腹ニ孔ヲ穿テセメントノ概況ヲ觀察シ濕氣吸收ノ有無ヲ檢定スルモノトス
若シ濕氣ヲ吸收シタル影跡ヲ發見シタルトキハ倉庫主任ハ之ヲ排除シ尙ホ該檢査ヲ他ノ幾樽若クハ全部ニ及ホスヘシ其排除ニ係ルセメントハ悉ク樽ノ檢印ヲ消却スルモノトス

本條第二項ニ由リ排除シタルセメントハ所長ノ指定スル期限内ニ供給者ヲシテ假置場外ニ搬出セシムヘシ其重量ハ第一條第三項ノ平均重量ヨリ算出スルモノトス

第三條 倉庫主任ハ前條檢査ニ於テ完全ナルコトヲ認メタルトキハ所長ノ指定シタル吏員ノ立會ヲ得テ各一口ノ中ヨリ五樽宛ヲ採取リ供給者立會ノ上各樽ヨリセメントヲ取去リ風袋ノ重量ヲ秤定シ帳簿ニ記入シ其平均重量ニ一口ノ樽數ヲ乘シ之ヲ一口ノ總風袋トシテ帳簿ニ記入スヘシ

シ但秤定ナ終リタルトキハセメント樽内ニ詰メ込ムヘシ

第一條第三項ノ各口セメント總重量ヨリ前項各一口ノ總風袋ヲ引去リ各一口ノセメント正味ノ重量トシ各口ノ正味重量ノ和ヲ以テ分納品全部ノ重量トス

第四條 倉庫主任ニ於テ前條ノ手續ヲ終リタルトキハ分納品全部ノ倉入ヲ命シ供給者ヲシテ庫内ニ堆積セシメ番號(第一回分納品ヲ第一號トシ以下逐次番號ヲ進ム)ヲ附シ之ヲ榜示シテ他ノ分納品ト混セザラシムヘシ
倉入ヲ命シタル分納品ニ對シテハ倉庫主任ハ供給者ニ預書ヲ交付シ帳簿ヲ設ケテ出納ヲ明ニスヘシ

第五條 品質試驗用トシテ採取ルヘキセメントハ各分納品ニ付百分ノ二乃至五トス倉庫主任ハ所長ノ指定シタル吏員ノ立會ヲ得テ之ヲ採取リ一樽毎ニ記號(第何號ノ(イ)(ロ)(ハ)ノ類)ヲ付シ各樽内ヨリ供試標本トシテ充分ナル量ヲ取出シ爲ニ設ケタル容器ニ盛リ密封ノ上即日材料試驗課ニ移スモノトス
前項標本容器ニハ必ス樽ニ附シタルト同一ノ記號ヲ施ス

ヘシ

第六條 品質試驗了リタルトキハ材料試驗課長ハ其成績ヲ工事長ニ報告シ決裁ヲ得テ合格品ニ對シテハ本檢收証交付ノ手續ヲ爲スヘシ
試驗上不合格トナリタルセメントアルトキハ其分納品全部ノ樽ノ商標ニ捺シタル檢印ヲ消却シ所長ノ指定スル期限内ニ供給者ヲシテ之ヲ引取ラシメ第四條ニ據リ交付シタル預書ヲ返付セシムルモノトス

公舎規程

明治三十八年十二月八日 市長 決 定

第一條 公舎ニ居住シ得ル者ハ當所員ニシテ家族ヲ有スル者ニ限ルモノトス

第二條 公舎ニ居住セントスル者ハ書面ヲ以テ管理者ニ申請出テ許可ヲ受クヘシ

第三條 公舎居住者ハ當所力指定シタル家屋ニ對シ異議ヲ申立テ又ハ居住ヲ拒ムコトヲ得ス

第四條 公舎居住者ハ指定セラレタル公舎ノ引渡ヲ受ケタ

ルトキハ直ニ其保管ノ責ニ任シ公舎彙帳ニ記名捺印スヘシ

第五條 公舎居住者ハ公舎及其付屬品ヲ鄰重ニ取扱ヒ破損セサル様特ニ注意スヘシ

第六條 居住者ハ許可ヲ得スシテ猥リニ公舎ヲ交換シ又ハ溶カニ其付屬品ヲ取替フルコトヲ得ス

第七條 居住者ハ相互ニ親睦ヲ旨トシ風紀又ハ公安ヲ害スル行爲アル可カラス

第八條 居住者ハ衛生上常ニ家屋ノ内外ヲ清潔ニシ衛生ニ關スル府令其他ノ法規ヲ遵守スヘシ

第九條 自然ノ腐朽又ハ不可抗力ニヨリ建物ノ破損ヲ生シタルトキハ書面ヲ以テ居住者ヨリ其旨管理者ヲ經テ之カ修繕ノ請求ヲナスヘシ

第十條 居住者自己ノ便宜ニヨリ自費ヲ以テ建増又ハ建物ノ一部ヲ變更セントスルトキハ設計書及圖面并理由ヲ詳記シ管理者ヲ經テ願出スヘシ

第十一條 水栓ニ關シテハ當所ノ許可ヲ受クルニアラサレハ新設増設又ハ變更スルコトヲ得ス但給水ニ關シテハ本

市ノ規程ヲ遵守スヘシ

第十二條 居住者立退又ハ公舎内移轉スルトキハ第十條ニヨリ工事ヲ施シアルトキハ其増築ニ就テハ原形ニ復シ變更ノ部分ハ原形ニ復スルカ又ハ無償ニテ措置クカハ當所ノ指揮ニ從フヘシ

前項ノ場合ニ於テ第十一條ニ據リ新設増設又ハ變更シタル水栓ハ其儘ニ措置キ棄權セシムルモノトス

第十三條 居住者ノ過失又ハ失當ニヨリ破損ヲ生シタルトキハ居住者ノ自費ヲ以テ之カ修繕ヲナシ當所ノ指定セル掛員ノ検査ヲ受クヘシ

第十四條 給水料衛生費其他居住ニ關スル費用ハ居住者ノ負擔トス

第十五條 居住者ハ左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ公舎ヲ立退クヘシ

- 一 本人死去シタルトキハ三十日以内
- 二 解職又ハ他ニ轉職ノ場合ハ七日以内
- 三 本人又ハ其家族中刑ニ處セラレ若クハ家資分散ノ決定ヲ受ケタルトキハ立退命令ヲ受ケタル時ヨリ二十四

時間以内

四 本則ニ違背シタル場合ハ立退ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三日以内

第十六條 居住者立退ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ノ爲メ立退クトキハ其前日管理者ヘ届出テ豫メ公舎ノ検査ヲ受クヘシ

検査ノ上建物破損及付屬品ノ不足等アリテ居住者ノ責ニ歸スヘキモノト認メラレタルトキハ居住者ハ第十三條ニ依リ直チニ之カ修繕ヲナスヘシ

第十七條 水、火災其他ノ事變ニ際シテハ直チニ管理者ニ報告ヲナシ之カ防禦ニ從事シ居住者相互救助スヘシ

第十八條 居住者自己ノ過失ニヨリ火ヲ失シ其他危險ノ行爲アリタルトキハ當所ハ直チニ立退ヲ命シ再ヒ公舎ヲ貸與セズ

第十五條第三項第四項ニヨリ立退ヲ命セラレタル者モ亦全シ

附則

第十九條 明治三十一年七月二十五日遷第三二號當所公舎

假規程ハ本規程實施ノ日ヨリ廢止ス

築港事務所員服務規程

明治三十一年一月十五日 所長 達 第九號

大阪市築港事務所員服務規程左ノ通相定ム

大阪事務所員服務規程

第一條 所員ハ事務所ノ成規及所長ノ命令ニ從ヒ各其職務ヲ盡スヘシ

第二條 所員ハ内外ニ對シ謹慎懇切ニシテ食汚ノ行爲アルヘカラス

第三條 所員ハ己レノ職務ニ關スト又ハ他ノ所員ヨリ聞知シタルトキ問ハス所内ノ機密ヲ漏泄シ未發ノ文書ヲ他人ニ漏示スルコトヲ得ス

第四條 所員ハ所長ノ許可ヲクシテ職務ノ地ヲ離ル、コトヲ得ス

第五條 所員ハ其職務ニ關シ總テ他人ノ贈遺ヲ受ケルコトヲ得ス

第六條 所員ハ左ニ掲クル者ノ選任ヲ受クルコトヲ得ス

一 事務所ノ工事ヲ請負フタル者

一 事務所ノ用品ヲ調達スル者

一 事務所ノ現金取扱人

一 事務所ノ諸般ノ契約ヲ結フ者

第七條 所員ハ所長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ本職ノ外他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ス

第八條 凡ソ課長掛長ハ各其所屬ノ所員ヲ監督シ過失ヲ生セサル様常ニ訓告ヲ務ムヘシ若シ過失アリテ其處分ヲ要スト認ムルトキハ狀ヲ具シテ所長ニ稟告スヘシ其情ヲ知リ隠蔽シテ稟告セサル者亦過失タルコトヲ免レズ

附則

第九條 本規程ハ船員工務場雇員其他總テ事務所ヨリ辭令ヲ受ケタル者ニ適用ス

●築港事務所員勤務心得

明治三十年十二月一日
市長 達 第四號

所員勤務心得別紙ノ通相定ム

(別紙)

大阪市築港事務所員勤務心得

第一條 所員ハ毎朝時刻ヲ遅レサル様出勤シ所長室ニ備ヘアル出勤簿ニ捺印スヘシ

出勤時刻ヨリ十五分ヲ經過セハ出勤簿ヲ庶務課ニ收メ其後出勤スル者ハ之ヲ遲參トシ庶務課ニ於テ出勤簿ニ遲參ノ印ヲ捺スヘシ

第二條 病氣其他ノ事故ニ依リ出勤シ難キ者ハ出勤時刻後一時間内ニ其事由ヲ明記シタル届書ヲ差出スヘシ
病氣引籠ノ者ハ一週日毎ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出ツヘシ

第三條 出張ヲ命セラレタル者及歸省又ハ轉地療養ノ許可ヲ得タル者ハ其出發歸着共ニ届出ツヘシ

第四條 所員轉居スルトキハ其居所ヲ届出ヘシ

第五條 退所時刻ニ至ラハ所長工事長ノ在否ニ拘ハラズ所員ハ課長ノ許可ヲ得テ退所スルコトヲ得
但所長工事長在所由課長(課長不在ノトキハ次席員)ハ退所スルコトヲ得

得ス

●物品保管人勤務心得

明治三十八年八月七日
市長 決 定

第一條 物品保管人ハ庶務課經理掛主任ノ指揮ヲ受ケ經理掛主任ニ係ル物品ノ出納及ヒ保管ニ從事スルモノトス但
其主管ノ區域ハ掛主任ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第二條 常ニ其主管區域内及ヒ測量若クハ境界杭ヲ巡視シテ火災及盜難等ヲ豫防シ物品ノ整理并ニ保全ヲ計リ混亂損害或ハ移動等ナカラシメ若シ異狀アルヲ認メタルトキハ直ニ經理掛ニ申報ス可シ

第三條 如何ナル場合ニ於テモ經理掛員ノ指揮ヲ受クルノ外物品ノ出納ヲ爲ス可ラサルハ勿論濫リニ物品ノ所在ヲ變更スヘカラス

第四條 躬ラ物品ノ出納ニ任シ其ノ出納ヲ終リタルトキハ鎖鑰アルモノハ直ニ之ヲ施シ鎖鑰ナキモノハ之ニ代ハルヘキ適當ノ處置ヲ爲ス可シ

物品出納中ハ其場所ヲ離ルヘカラス但止ムヲ得サル場合ハ必ラス前項ノ處置ヲ爲スヘシ

第五條 物品出納ニ要スル人夫ヲ使役スルトキハ其獎勵ニ注意シ決シテ物品ヲ破損亡失セシムヘカラス

前項ノ人夫ヲ使役スル場合ハ嚴重ニ監督シ努力ノ空費時間ノ徒消等ヲナサシメサルヲ要ス

第六條 前各條ノ外總テ築港事務所員職務規程ニ準據シ及ヒ當該主任ノ命令ヲ遵守ス可シ

●守警勤務心得

明治三十八年十月十六日
工 事 長 決 定

第一條 守警ハ甲乙二部ニ分レ各隔日徹夜ノ勤務トシ事務所出勤時刻ヲ以テ兩部交替スルモノトス

但非常ノ場合又ハ人線ノ都合アルトキハ此限リニアラス

第二條 勤務當番者ハ事務所出勤時刻三十分前ニ出所シ前番者ヨリ日誌及警備要具ノ引繼ヲ受ケ交替スヘシ

但當番者出勤セサレハ交替時刻ト雖退所スヘカラス
第三條 當番者ハ晝夜構内(砲臺内一圓)ヲ巡邏シ盜火難
ヲ豫防シ其他構内ノ取締ニ從フモノトス

第四條 巡邏ノ際ハ必ラス豫テ交付シタル巡邏時計ヲ携帶
シ各所ニ配置シアル鍵ヲ以テ巡邏シタルコトヲ證スヘシ
第五條 構内ニ於テ暴動怪キ者ヲ認めタルトキハ篤ト詮議
ノ上尙不審ト思料スルカ又ハ暴行ヲ加ヘントスル者アル
トキハ構内特設請願巡查ニ引渡スヘシ
但此場合ト雖粗暴過激ノ處置ニ出ツヘカラス

第六條 天保町若クハ附近ニ火災アル場合晝間ニアリテハ
必要ト思料スルトキ及夜間ハ先ツ小使ヲシテ警鐘ヲ打鳴
ラサシメ尙豫定ノ各所ニ急報シ構内ヲ嚴重ニ警戒シ如何
ナル場合ト雖構外ニ出ツヘカラス
前項事變ノ構内ニ起リタル場合ハ臨機消防ノ策ニ出ツル
ト共ニ玉水丸ニ急達ヲ計リ尙前項ノ處置ヲ爲スヘシ
第七條 暴風雨ノ際ハ特ニ各所建造物ニ注意シ危險ナリト
認めタルモノアルトキハ當該係員若クハ宿直員ニ報告ス
ヘシ

第三條 工場員疾病其他ノ事故ニヨリ遅參又ハ缺勤スルト
キハ始業時間迄ニ其事由ヲ主任技師ニ届出スヘシ
第四條 疾病ニヨリ缺勤七日ニ及ブ時ハ醫師ノ診斷書ヲ添
ヘ主任技師ニ届出爾後七日毎ニ全權届出スヘシ
第五條 工場ノ休日左ノ如シ
十二月三十一日ヨリ翌年一月三日迄
大祭祝日
器械工場ニ於テハ前項ノ外左ノ休養日ヲ加フ
毎月 一日 十五日

第六條 雨雪風波又ハ船舶修繕等ノ爲メ主任技師ニ於テ工
事ヲ施行シ難シト認めタルトキハ業務ヲ休止スルトコトヲ得
此場合ニ於テハ主任技師ハ電話又ハ其他ノ方法ヲ以テ報
告スヘシ
第七條 工事休止ノ場合ニ於テハ當日起業ノ見込ナキトキ
ハ主任技師便宜工場員其他ノ職員ヲシテ退場セシムルコ
トヲ得
第八條 工事ノ進捗ハ別ニ定ムル書式ニ依リ主任技師ヨリ
工程月報ヲ製シ報告スヘシ

第八條 勤務中異變アリタル場合ハ前各條ニ據ルノ外臨機
ノ處置ヲ爲シ機宜ヲ誤ラサルヲ要ス

土曜日ニ於ケル吏員執務時間

明治三十年十一月八日
庶務課 通達

自今土曜日ノ十二時退散ヲ廢シ例刻ノ通執務スヘキ旨所長
ノ命ニ有之候此段及通達候也

工場執務心得

明治三十一年三月九日
所長達 第二五號

第一條 工場執務時間ハ一日十時間トシ其始終時限ハ主任
技師ニ於テ季節ニ應ジ制定ノ上所長ノ裁可ヲ經ヘシ但工
事ノ都合ニ依リテハ主任技師ニ於テ臨時其時限ヲ變更シ
又ハ伸縮スルトコトヲ得此場合ニ於テハ工程月報ニ其旨ヲ
記シ報告スヘシ
第二條 工場員出勤スルトキハ各自出勤簿ニ捺印スヘシ

第九條 工場員ノ勤怠ハ別ニ定ムル書式ニ依リ毎月分々翌
月三日迄ニ報告スヘシ
第十條 工場員ノ身分進退ニ關スル願届ハ總テ主任技師
ヲ經テ差出スヘシ

工場執務心得ニ依リ

報告書式

明治三十一年七月廿七日
所長達 第三二二號

工場執務心得第九條ニ依リ報告スヘキ書式別紙ノ通相定ム
(別紙)

明治何年何月中何々工場員勤務報告

勤務	欠勤	怠	引揚	暇	休	暇	計	職氏名

右報告候也

何々工場主任

明治 年 月 日

職 氏 名

所 長 宛

工夫、職工、人夫勤務心得

明治三十一年二月十六日
所長 達 第一八號

工夫、職工、人夫勤務心得別紙ノ通相定ム

(別 紙)

工夫、職工、人夫勤務心得

第一條 工夫、職工、人夫ハ各其所屬主幹及係員ノ指揮ニ職務ニ従事スヘシ

第二條 工夫、職工、人夫執業時間ハ一日十時間トシ其始終時限ハ別ニ之ヲ定ム但工事ノ都合ニヨリテハ臨時ホ文時間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第三條 工夫、職工、人夫ハ始業時限二十分以前ニ出勤スヘシ但工夫ハ出勤簿ニ捺印スヘシ

第四條 始業時限ヨリ遅参スルモノハ時間割合ヲ以テ其遲

参ニ對スル給料ヲ減給シ又ハ直チニ退場ヲ命スルコトアルヘシ但工夫ニシテ退場ヲ命シタルモノハ出勤簿ニ捺印セシメサルモノトス

第五條 勤務中疾病其他ノ事故ニヨリ退散セントスルトキハ其事由ヲ主幹ニ届出ヘシ此場合ニ於テハ前條ノ例ニヨリ給料ヲ減給ス

第六條 工事ノ都合ニヨリテハ定時間外若クハ夜間ニ於テ執業ヲ命スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ其時間ニ應ジ給料ヲ増給スルモノトス

第七條 勤務中ハ左ノ各項ヲ嚴守スヘシ

一 執業中喫烟及飲食スヘカラス

一 工場ニ酒類ヲ携帯スヘカラス

一 工場ニ銃器彈藥其他ノ兇器ヲ私ニ携帯スヘカラス

一 喧嘩口論其他喧擾ニ涉リ若クハ風俗ヲ害スル所爲アルヘカラス

一 工所用材料其他ノ物品ハ凡テ主幹ノ許可ナクシテ猥リニ使用スヘラス

一 執業中公用ノ外猥リニ他人ト談話スヘカラス

一 工場内ニ於テ厠ノ外大小便ヲ爲スヘカラス

一 終業後故ナク工場内ニ止マルヘカラス

一 主幹ノ許可ナクシテ他人ヲ工場ニ入ラシムヘカラス

一 執業中ハ主幹ノ許可ナクシテ其場所ヲ離ルヘカラス

第八條 前條ヲ犯シタルモノハ退場ヲ命スルコトアルヘシ

此場合ニ於テハ當日ノ給料ハ第五條ノ例ニ依ル

第九條 器具、器械ハ大切ニ使用スヘシ若シ故意怠慢ニ依

リ亡失毀損シタルトキハ之ヲ辨償セシムルモノトス

第十條 工夫ハ工場又ハ其近傍ニ失火若クハ車變ノルトキ

ハ速ニ出頭シテ主幹ノ指揮ヲ受クヘシ

水防委員心得

明治卅二年八月三十日
所長 達 第三七號

水 防 委 員

水防ニ關シ左ノ通心得ヘシ

一 警報ハ到達次第直チニ委員ヘ回付ス

一 委員ニ於テ警報ニ接シ若クハ警報ニ接セサルモ暴風襲

來ノ虞アリト認メタルトキハ便宜集會シ警防ノ方法ヲ協定スヘシ

一 防禦ニ要スル職工人夫材料及諸物品ノ供給焚出シ等ハ總テ經伺ヲ要セス臨機專行シ追テ其願未チ所長ニ具申スヘシ

一 左ノ物品ハ平素之ヲ貯藏シ置クヘシ

空 俵 參 百 俵

繩 五 拾 貫 目

杭 木 (古杭木參百本)

スコップ 貳 拾 挺

掛 矢 拾 挺

チヤンカス 貳 百 貫 目

衛 士 拾 個

一 公舎在住所員ノ總出ヲ要スルト委員ニ於テ認メタル

キハ所長ニ申出許可ヲ得テ招集スヘシ

一 事務所表門ノ堰板撤込並下水尻閉塞ハ其機ヲ誤ラサル

様施行スヘシ

一 委員ヘハ各角燈一個ヲ貸與ス

非常異變ノ際所員防禦

二 從事方 明治卅二年八月十八日 所長達 第三四號

各 課

本事務所ニ於ケル風水火災等非常異變ノ場合ニ際シ主トシテ之カ防禦ニ任スヘキ爲メ所員中ニ於テ別紙ノ通り委員常設致候條委員外ノ所員ハ委員指定ノ部署方法ニヨリ協力防禦ニ從事スヘシ

(別紙略)

船員心得

明治卅五年十月八日 所長達 第九號

各 課

船員心得別冊ノ通改正ス

(別冊)

船員心得

第一章 總則

第一條 船員ハ法令并事務所ノ成規ヲ遵守シ忠實ニ職務ヲ

盡スヘシ

第二條 船員ハ言行ヲ慎ミ禮節ヲ守リ荷モ品位ヲ失墜シ風儀ヲ紊亂スルカ如キ舉動アルヘカラス

第三條 船員ハ互ニ親密ヲ旨トシ信誼ヲ重シ船内ノ平和ヲ保ツヘシ

第四條 船員ハ上班職員ノ指揮ニ順從スヘシ若シ意見アルトキハ器械課ニ開陳スルコトヲ得

第五條 左ニ掲クル船員ノ行爲ハ之ヲ嚴禁ス
金錢ヲ賭スルト否トテ間ハス博奕又ハ之ニ類似スル遊戲ヲ爲スコト

直接間接ヲ問ハス職務ヲ利用シテ商事ヲ營ムコト
家族又ハ婢妾ヲ船内ニ居住セシムルコト

第六條 海員ヨリ事務所ニ提出スル願何屆書等ハ凡テ船長ノ認印ヲ受ケ所屬工場ヲ經由シテ器械課ニ差出スヘシ

(所屬工場ナキトキハ直ニ器械課ニ提出スルモノトス以下渾テ同シ)

但船長ノ認印ヲ受ケ難キ事情アルモノハ其理由ヲ付シ直チニ所屬工場ヲ經由シテ差出スコトヲ得

第七條 船員ハ拜命後六ヶ月未滿ニシテ擅ニ辭職ヲ許サ、ルモノトス若シ之ヲ肯セサルモノハ雇止證明書事由欄ニ其旨ヲ明記スルコトアルヘシ

第八條 海員ノ雇入雇止ハ渾テ事務所ヨリ辭令書ヲ交付シ船員法第二十六條ノ公認申請ヲ要セス

第九條 海員辭職ノ際ハ本人ノ申請ニ由リ海員雇止證明書ヲ交付ス此證明書ハ管海官廳ノ公認ト同一ノ効力ヲ有ス

第十條 海員ニシテ病氣其他ノ事故ニ由リ一時下船ヲ爲シ欠員ヲ生シタルトキハ補缺員ヲシテ代理セシム

第十一條 法定船員ヲ除ク他ノ海員ニシテ缺勤七週間以上ニ達ルトキハ事情ノ如何ニ拘ハラズ解雇スルモノトス

但公務上ノ負傷ハ此限ニアラス

第二章 船長

第十二條 船長ハ全船ヲ總轄シ凡テ責任ヲ有スルモノナルヲ以テ常ニ其職責ノ大ナルコトヲ即覺シ職務ノ執行上最モ嚴密ニ注意ヲ加フヘシ

第十三條 船長ハ海員ヲ統御シ其品行勤惰ヲ監督シ其能否ヲ鑑別シ意見アルトキハ之ヲ器械課ニ申告スヘシ

盡スヘシ

第十四條 船長ハ休業其他好機アル毎ニ船体ノ各部殊ニ船底ノ内外ヲ検査シ常ニ之カ保存ニ注意スヘシ

第十五條 運轉士ハ船長ノ命ヲ受ケ甲板部一般ノ指揮ヲ爲シ船具器械ノ整頓及保存并船用品ノ出納ヲ管掌ス

運轉士ハ甲板部海員ノ品行勤惰ヲ監督シ意見ヲ船長ニ申告スヘシ

第十六條 運轉士ハ船長ノ不在中船長ト等シキ責任ヲ負フモノトス

第十七條 運轉士ハ船燈ニ注意シ常ニ掃除ヲ充分ナラシメ燈器ニ損所アルカ又ハ燈光ニ支障アルモノハ決シテ使用スヘカラス

第十八條 運轉士ハ信號、煙火器、救命楫等ヲ常ニ乾燥セシメ變災ニ際シ差支ナカラシムヘシ

第十九條 運轉士ハ帆及「オーニング」索類ハ使用中ノモノト豫備品トテ間ハス常ニ其保存ニ注意シ好機アル毎ニ之ヲ展張シテ乾燥セシムヘシ

第二十條 運轉士ハ入渠毎ニ錨鐵ヲ引出シ其根止ノ確否及

各房着符ノ正否ヲ検査シ其現狀ヲ船長ニ報告スヘシ
第廿一條 運轉士ヲ置カサル船ニ在テハ第十五條ヨリ第二十條ニ至ル職務ハ船長ノ負擔タルヘシ

第四章 機関士

第廿二條 機関長ハ機関部全体ノ事ヲ管理處辨シ機関部員ヲ指揮シ各自ノ職分ヲ盡スヘシ

第廿三條 機関長ハ機関部員ノ品行勤務ヲ監督シ其能否ヲ鑑別シ意見アルトキハ船長ニ報告スヘシ

第廿四條 機関士ハ機関長ノ指揮ヲ受ケ部下ヲ指揮シ機関長ノ職務ヲ助クヘシ

第廿五條 機関長ハ常ニ凍機油罐ノ諸部及付属品豫備品ヲ検査シ腐蝕ノ豫防其他保存ニ注意シ若シ損傷異狀又ハ不完全ノ個所ヲ發見シタルトキハ速ニ船長ニ申告スヘシ

第廿六條 機関長ハ常ニ安全瓣及驗流器、復驗流器、驗空器、逃出瓣等ノ効用十分ナルヤ否ヤニ注意スヘシ

第廿七條 機関長ハ石炭其他消耗品ノ消費ニ注意シ嚴重ニ節約ヲ加フヘシ

第廿八條 機関長ハ石炭ノ消費ヲ節約スル爲メ流機、汽機

ノ許ス限リハ封鎖壓迄ニ流力ヲ保タシメ且成ルヘク高温度ノ養羅水ヲ供給スルト共ニ真空ヲ適度ニ保タシムルコトヲ勉ムヘシ

第廿九條 機関長ハ自ラ石炭ノ積入ヲ監視シ其品質數量ヲ検査シ意見アルトキハ速ニ船長ニ申告スヘシ

第三十條 機関長ハ石炭及離用水ノ積入數量ニ付テハ豫メ船長ニ協議スヘシ

第卅一條 機関長ハ少ナクモ毎月一回流力圖ヲ取り運行力ヲ検査シ且ツ少クモ三ヶ月ニ一回實馬力ヲ算出シ其時ニ於ケル日誌中參考トナルヘキ要項ヲ摘録シタル書面ヲ添ヘ器械課ニ差出スヘシ

第卅二條 機関長ハ甲板部ニ屬スル左ノ部分ヲ検査シ常ニ之カ整理保存ニ注意スヘシ

一 機関室ノ船底

二 石炭庫

三 諸管管子及各唧筒

四 蒸氣ヲ使用スル諸器

第卅三條 衝突其他ノ事變ニヨリ本船ニ甚シキ損害ヲ受

ケタルトキハ機関長ハ事變ノ前後ニ於ケル機関ノ動止及其時刻等ニ付詳細ナル報告書ヲ作り機関室日誌ノ謄本ト共ニ直接器械課ニ差出スヘシ

第五章 物品保管
第三十四條 物品保管ハ甲板部ハ船長機関部ハ船長及機關長其責ニ任ス

第三十五條 故意怠慢ニ由リ物品ヲ毀損若クハ亡失セルトキハ保管者辨償ノ責アルモノトス

第六章 航行

第三十六條 出帆ノ命令ヲ受ケタルトキハ船長ハ直ニ船具及需用品ヲ整備シ速ニ航行準備ヲ了シ運送ナク出帆スヘシ

第三十七條 出帆ノ際ハ各部諸般ノ準備殊ニ左ノ諸件ヲ点檢スヘシ

- 一 船橋上ノ傳令器ト機関室ノ傳令器ト相違ナキヤ否ヤ
- 二 轉舵機ノ揚錨機ノ動作ニ支障ナキヤ否ヤ并ニ附屬具ノ整備セルヤ否ヤ
- 三 船橋其他甲板上ノ測量器具船燈及信號器ノ備付其位

置整頓セルヤ否ヤ

四 船外ニ妨礙物ナキヤ否ヤ

第三十八條 航海中帝國軍艦ニ逢フトキハ國旗三回昇降シ敬禮ヲ行フヘシ

第七章 碇泊

第三十九條 船長機關長上陸ノ際ハ船長ハ運轉士ヲ運轉士ナキ船舶ハ水夫長若クハ船取ヲ機關長ハ機關士ヲ機關士ナキ船舶ハ火夫長若クハ一等抽差ヲ本船ニ留メ其行先ヲ之ニ告ケ置キ不在中代理ヲ爲サシムヘシ

第四十條 船長機關長上陸セントスルトキハ上陸前必ズ所屬工場ニ上陸届ヲ提出スヘシ

第四十一條 船長ハ在船ノ必要アリト認ムルモノヲ除ク外時間ヲ限リ海員半數以下ノ上陸ヲ許可スルコトヲ得

第四十二條 機關長ヲ除ク海員ニシテ上陸セントスルトキハ上陸簿ニ上陸事故ヲ記入シ甲板部ハ船長機関部ハ船長及機關長ノ認印ヲ受クヘシ

但船長機關長不在ナルトキハ代理者ノ認印ヲ受クヘシ

第四十三條 前條上陸簿ハ隨時監督員臨檢スルモノトス

第四十四條 船員ノ上陸ハ特別ノ事故ノルモノヲ除ク外作業時間ノ終リタル后ニアラサレハ許可セサルモノトス

第八章 日誌

第四十五條 日誌ヲ記載スルニハ字体鮮明ニシテ記事詳密ナルヘク殊ニ海難其他ノ事變ニ付テハ至重ノ注意ヲ加ヘ願末ヲ明確ナラシムヘシ

第四十六條 日誌ハ其紙葉ヲ抜キ取り又ハ貼紙ヲ爲スコトヲ得ス若シ添削正誤ヲ要スルトキハ原字ヲ塗抹セス字体ノ讀ミ得ヘキ様一線ヲ畫シ船長之ニ認印スヘシ

第四十七條 航海日誌ハ運轉士之ヲ記載シ船長之ニ認印スヘシ但シ運轉士、置カサル船ニ在テハ船長自ラ之ヲ記載スヘシ

第四十八條 航海日誌ニハ左ノ項ヲ記載スヘシ

- 一 發着ノ地名及其時刻
- 二 毎時ノ速力
- 三 毎時ノ風位及風力
- 四 毎時ノ天候

五 毎四時間晴雨計ノ示度及大氣海水ノ溫度但不定ノ天候ニ際シテハ一時間毎ニ記載スルコトヲ要ス

六 毎四時間ニ測リタル冷水ノ量

七 機關ノ動止緩急及其時刻

八 石材物品積卸及其終始ノ時刻

九 石材物品積載後ニ於ケル船首船尾ノ吃水

十 石炭、飲用水、離用水及船具其他重ナル需用品ノ積入

十一 本船ニ係ル文書ノ接受及ヒ發送

十二 公務ヲ帶ヒテ來船シタル吏員ノ氏名

十三 修繕工事

十四 海難及ヒ救助ノ願末

十五 船員ノ病傷死亡并ニ其狀況

十六 右ノ外異常ノ事實

十七 大阪灣内航行ノ時ハ第二ヨリ第五ニ至ル事項ヲ記載セサルモ妨ナシ

第四十九條 機關室日誌ハ機關長之ヲ記載シ船長之ニ認印スヘシ

第五十條 機油室日誌ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 罐内ノ油壓
- 二 瓣箱内ノ油壓若クハ真空
- 三 一分時間ノ回轉數
- 四 冷油器内ノ真空
- 五 喉瓣ノ開キ
- 六 罐水平均高
- 七 給水、廢水、海水、機關室、機油室ノ各溫度
- 八 罐水總分ノ多少
- 九 一時間ノ速力
- 十 以上ハ一時間毎ニ記載スルコトヲ要ス
- 十一 石炭ノ前日午後六時ノ殘高、航走用消費高、補助油消費高、埋火中消費高、蒸氣機生用消費高及其合計但毎午後六時ニ於ケル計算ニ依リ之ヲ示スヘシ
- 十二 内部機油、外部機油、自絞油、牛脂、燈油、糸屑
- 十三 切屑「カストル」油ノ前日午後六時ノ殘高當日午後六時ノ殘高及前日午後六時ヨリ當日午後六時迄ノ消費高
- 十四 當直者ノ氏名

第十三 出帆準備ヲ爲シタル埋火ノ時間及其時刻并碇泊中埋火ノ時間

第十四 積入レタル石炭ノ品質數量及離用水ノ噸數

第十五 付屬品豫備品ノ増減及常用品ノ豫備ト取替ヘタル事由

第十六 機關部内ノ作業

第十七 修繕工事

第十八 海難及救助願末

第十九 機油部船員ノ病傷死亡及ヒ其狀況

第二十 大阪灣内ニ在リテハ第一ヨリ第九ニ至ルノ事項ハ毎四時間ニ記載スヘシ

第九章 船内衛生

第五十一條 船長ハ常ニ船内ノ飲食物ニ注意セシメ空氣ノ流通、便所、廁所、物置場、水夫室及ヒ船底ノ掃除ヲ行届カシメ殊ニ傳染病發生地ニ航行スルトキハ船内ニ清潔法ヲ施シ各船員ニ衛生法及豫防法ヲ訓示シ専ラ豫防ニ注意セシメ其地ニ碇泊中ハ勉メテ船員ノ上陸ヲ制止スヘシ

第十章 罰則

第五十二條 本心得書規定ニ違犯セサルモノハ事實ヲ查覈シ其輕重ニ從ヒ夫々處分ス

附 則

第五十三條 船長ニシテ常所ニ採用セラレントスルモノハ船員法ニ定メタル手帖ヲ提供スヘシ其受有ナキモノハ當該吏ノ認証セル戶籍ノ謄本ヲ提供スヘシ

第五十四條 船員ニシテ採用セラレタレトキハ第一號雜形ニ由リ履歷書ヲ提出スヘシ但能取油差以上ノ者ハ二通ヲ要ス

前項履歷書ト同時ニ第二號雜形ノ保證書ヲ差出スヘシ但保証人ハ大阪市内ニ住居セルモノ二人ヲ要ス

第五十五條 前條履歷書ニ虛偽ノ記載アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ其職ヲ免スヘシ

第五十六條 職務上過誤怠慢若クハ不法行爲ニ因リ其職ヲ免シタルモノ又ハ拜命後六ヶ月未滿ニシテ擅ニ退職シタルモノハ假令補欠員代人タリトシテ採用セサルモノトス任意其職ヲ辭シタルモノト雖トモ命免二回ニ及ヒタルモ

ノハ前項ニ全シ但特別ノ事情アルモノハ此限リニアラス
第五十七條 海員雇止證明書ヲ得ントスルトキハ第三號雜形ノ雇止證明申請書ニ船長ノ認印ヲ受ケ提出シ第四號雜形ノ證明書ヲ交付スヘシ

第五十八條 船員ハ自己ノ病氣又ハ父母ノ疾病看護ノ外ハ

缺勤ヲ許サス其自己病氣缺勤ノ時ハ即日届出ヲ爲シ爾後一週間ニ充ルモ尙全快セサルトキハ一週間毎ニ醫師ノ診斷書ヲ添付届出ヘシ又父母ノ病氣看護ノ爲メ缺勤及隨省セントスルトキハ事實ヲ証明スヘキ書面ヲ添付認可ヲ受クヘシ

第五十九條 缺勤届ハ法定船員ニアリテハ自ラ署名捺印ノ上船長ノ認印ヲ受ケ其他ノ海員ニアリテハ船長名ヲ以テ即日所屬工場ヲ經テ届出ツヘシ
出勤届モ前項ニ同シ

第六十條 前條ノ場合ニ於テ補欠代人ヲ要スルトキハ船長ハ其代人選定ニ就テハ充分調査ヲ送ケ本人ト共ニ主務課若クハ所屬工場ニ出頭ノ上補欠代人届ヲ爲スヘシ
補欠人欠勤(公務負傷ヲ除ク)ノ場合ニ於テ更ニ補欠ヲ爲

サントスルトキハ先キノ補欠人ヲ解僱スルニアラサレハ

備入ル、コトヲ許サス

第六十一條 海員辭職又ハ轉船等ニ因リ欠員ヲ生シタルトキ船長ハ直ニ後任者又ハ見習員ノ雇入手續ヲ爲スヘシ補欠代人トシテ備入ル、コトヲ得ス但見習期間ハ二週間ヲ限度トス

第六十二條 當所船舶中ノ海員ヲシテ甲乙轉船セシメシトスルハ兩船長連署ノ上所屬工場ノ認印ヲ得テ届出ヘシ但所屬工場ノ異ルルハ兩工場ノ認印ヲ受ケ提出スヘシ

第六十三條 物品請求ハ甲板部ハ船長名機關部ハ機關長名ヲ以テ之ニ船長認印スルモノトス但事務用紙紙イシキ、ヘン先等ノ如キ機關用器具ニアラサルモノハ渾テ船長名ヲ以テ請求スヘシ

第六十四條 海員上陸簿ハ第五號雜形ニヨリ調製スヘシ

諸給與支給

第六十五條 諸給與金取調書中高金數字ハ一、二、三、十、ノ略字ヲ用ヒス必ス壹、貳、參、拾、ノ數字ヲ以テ記載スヘシ事由欄内ハ可成的事實明瞭ニ記載スヘシ

凡 例

新拜命或ハ轉船シ來リタルトキハ

(何月何日拜命又ハ何月何日何船ヨリ轉)

轉船或ハ免職シタルトキ

(何月何日免職又ハ何月何日何船(轉)

増給減給ノトキ

(何月何日何程ヨリ増何月何日何程ヨリ減)

病氣其他事故ノ爲メ欠勤アルトキ

(何日及何日又ハ何日ヨリ何日迄何日間病氣欠何々欠)

第六十六條 轉船ノトキハ發令當日ヨリ派テ乙船ニ於テ請求スヘキモノナレトモ自然航行中等ニアリテ即日ヨリ乙船ニ轉乘スルコト能ハサル場合ニアリテハ給料ハ發令當日ヨリ乙船ニ於テ請求スルモ其他諸給ノ如キハ依然甲船乗組中ハ是迄從事セル職務ニ相當スルモノヲ甲船ニ於テ請求スヘシ

第六十七條 本心得書中汽船ニ於ケル特別規程ヲ除ク外渾テ金剛中金剛小金剛浮島朝 夕風早潮朝日濁鎮海ニ適用ス尤艇長ハ船長ニ機關手ハ機關長ニ準シ其艇長ナキモノハ機關手ヲ早潮ハ水夫長ヲ鎮海ハ高給者ヲ以テ船長ニ準

第一號 雛形

籍地		現住地		年齢		氏名		紹介人	
本籍地		籍地		年 月 日生		氏 名			
免狀番號	登録年月日	免狀之種類	下付年月日	船名	噸數	馬力	定繫場	航路	
第 號	年 月 日	在船年月日	船主名	職務	給金				
番編				第 號				號	
至自		至自		至自		至自			
年	年	年	年	年	年	年	年	年	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	

第二號 雛形

印紙	保 護 書		年 月 日生	氏 名
本籍地	現住地	籍地	年 月 日生	某
族 籍	年	年	年	某

右之者今般費所 貴所へ對シ損害等相願シ候節ハ本人ニ於テ辨償セシムヘク萬一自辨シ能ハサル場合ニ於テハ拙者引受處辨可仕向ホ本人病氣ノ際相當引取人無之時ハ保證人引取り加養可致依テ如件

ニ御採用相成候ニ就テハ本人身上ハ勿論公務上不都合ノ行爲有之

大阪市築港事務所御中

年 月 日

住 保證人 何 某

住 保證所 何 某

住 保證人 何 某

住 保證所 何 某

住 保證人 何 某

住 保證所 何 某

第三號 雛形

海員雇止證明申請書

船舶ノ番號	第 號	船名	丸
船種	船名	船籍港	
航路定限		被雇者本籍	
被雇者氏名		職務	
雇入期間	何年何ヶ月	給料	月額何圓何拾錢
船員手帳番號	第 何 號	右明治何年何月何日雇止證明相成度此段申請候也	

年 月 日 何 某 印
大阪市築港事務所御中

船長印

第四號 雛形

海員雇止證明書

氏名	本籍地	船舶ノ番號	第 號	船名	丸
積量	噸噸	航路定限		船籍	
雇入期間	何年何月何日	雇止事由		職務及給料	

右明治何年何月何日雇止シタルコトヲ證明ス
年 月 日 大阪市築港事務所

第五號 雛形

乗組員上陸簿

甲 板 部		機 関 部	
年 月 日	上陸事由	年 月 日	上陸事由
	船長認印		船長認印
	職 名		職 名
	姓 名		姓 名
			機關長認印
			職 名
			姓 名

石材運搬船々員服務順序

明治三十二年二月十五日
所長達 第八號

工務課
器械課

石材運搬船々員心得別紙之通相定ム

(別紙)

石材運搬船々員服務順序

- 第一條 本服務順序ニ於テ石材運搬船ト稱スルハ犬島ヨリ石材ヲ運搬スル船舶及其船舶ノ曳船ヲ云フ
- 第二條 石材運搬船々員ハ明治三十一年三月達第二九號船員心得ヲ遵守スヘキハ勿論猶本服務順序ヲ遵守スヘシ
- 第三條 石材運搬船々員ハ犬島へ着船後同所出帆マテハ採石工場員其他ハ總テ突堤工事係ノ指揮ヲ受クヘシ
- 第四條 石材運搬船天保山沖ニ到着シタルトキハ突堤頭部近傍ニ投端シ濱笛ヲ鳴シ突堤工事係指揮ノ至ルヲ待ツヘシ
- 第五條 突堤工事係乘船スルトキハ航海日誌又ハ旬報ニテ

航海中ノ實況ヲ報告シ石材交付書ヲ呈シ總テ其指揮ヲ受ケテ石材ヲ投入スヘシ

第六條 石材投入後ハ直ニ突堤ノ位置ヲ距ル百間以外適宜ノ場所ニ碇泊シ指揮ヲ待テ進退スヘシ

第七條 曳船瀛船ハ石材運搬船ヲシテ投入場所ニ至ラシメタルトキハ直チニ五十間以外ノ所ニ退クヘシ石材投入後ハ直チニ運搬船ヲ百間以外適宜ノ場所ニ曳キ指揮ヲ待ツヘシ

第八條 石炭搭載、用水挹入、消耗品請取方及船員需用品積込等ニ付テハ大阪ニアリテハ突堤工事係犬島ニ於テハ採石工場員ニ其順序及費消時間等詳細申立許可ヲ得ヘシ

第九條 船体及諸器械等ノ修繕ヲ要スルトキハ前條同様許可ヲ得テ從事スヘシ

守警服務規程

明治三十八年十月二十三日
所長達 第十號

聽中 一般

築港事務所宿直規程

明治三十年十一月二十五日
所長達 第二一號

大阪市築港事務所宿直規程別紙ノ通相定ム

(別紙)

大阪市築港事務所宿直規程

- 第一條 宿直ハ事務員、技手、助手、雇ノ中一名ヲ以テ之ニ充ツ其日割ハ庶務課ニ於テ之ヲ定メ豫メ通知スヘシ但課長、囑托ノ事務員技手及工營場ニ從事スル者ハ之ヲ除ク(明治三十六年五月十日達第五號改正)
- 第二條 宿直ハ退所時刻ヨリ翌日出勤時刻迄トス
休日ノ宿直ハ出勤時刻ヨリ退所時刻迄トシ宿直ハ同時刻ニ交代シテ翌日出勤時刻迄トス(明治三十六年五月二十日達第六號改正)
宿直シタルモノハ課長ノ許可ヲ得テ翌日出勤時刻ヨリ退所スルコトヲ得
- 第三條 宿直ハ左ノ事項ヲ取扱及心得ヘシ
一 收受シタル公文書ハ凡テ開封ノ上(親展書類及見禮書在中ト記シアルモノハ此限リニアラス)宿直簿ニ沖

大阪市築港事務所守警服務規程左之通改正ス

守警服務規程

- 第一條 守警ハ庶務課長ノ指揮ニ從ヒ晝夜構内ヲ普ク巡邏シ非常ヲ警戒スヘシ
- 第二條 服務時間及警備方法ハ主務課長ノ隨時定ムル所ニ據ルヘシ
- 第三條 服務中ハ洋服ヲ着シ制帽ヲ被ムルヘシ
- 第四條 事務所又ハ構内ヨリ搬出スル物件ニ付テハ特ニ注意シ不審ト認メタルトキハ之ヲ檢問スヘシ
- 第五條 警衛中異變アルトキハ臨機ノ處置ヲ施シ直チニ主務課長係員又ハ宿直員ニ報告スヘシ
前項ノ場合必要ト認メタルトキハ直ニ構内特設諸願巡查ノ援助ヲ求ムヘシ
- 第六條 勤務中ハ警衛用務ノ外濫リニ構外ニ出テ又ハ他人ト交話スヘカラス
- 第七條 日々取扱タル總テノ事項ハ詳細之ヲ日誌ニ記載シ翌日係員ノ檢閱ヲ受クヘシ

- 件名ヲ登記シ翌日之ヲ庶務課ニ回付スヘシ但緊急書類ハ之ヲ其關係課長ニ又所長工事長宛親展ノ封書電信ハ直ニ所長工事長ニ送付スヘシ
- 二 大阪測候所ヨリ警報アリタルトキハ即時書面ヲ以テ所長水防委員及測候取扱員ニ通知シ且電話ヲ以テ工事長及各工場ニ通知シ其願末ヲ日誌ニ記載スヘシ
 - 三 宿直簿ニ記名捺印ノ上之ヲ翌日宿直ニ引繼クヘシ
 - 四 所員退散後小使ヲシテ所内各室及ストーブヲ掃除セシメ火鉢、煙草盆、鐵製灰吹等ヲ悉ク湯呑所ニ持出サシメ其數ヲ検査シ室内火氣ナキヲ認メタル後閉鎖スヘシ
 - 五 午後十時各室内ヲ巡檢閉鎖シ翌日出勤時刻一時間前ニ開扉スヘシ
 - 六 所内ニ於テ異變アルトキハ直ニ總理課長ニ通知シ臨機處置ヲ爲スヘシ
 - 七 飲酒シ又ハ所外ニ出ツヘカラス
 - 八 宿直ノ小使人數ヲ点檢シ小使宿直簿ニ檢印スヘシ
- 第四條 宿直當番ノ者所長、工事長ノ特命ニ依リ臨時事務

ニ從事シ宿直ヲ爲シ能ハサル場合ニ於テハ豫メ其旨ヲ庶務課ニ通知シ宿直日割ノ變更ヲ求ムヘシ

前項ニヨリ宿直ヲ延期セシ者及當番者病氣、歸省、忌引、出張中ニ當ル者ハ其臨時事務了ノ翌日及出勤當日迄之ヲ延期シ其翌日ニ至リ宿直セシムルモノトス

●櫻島工場宿直員設置

明治四十年四月十九日 所長 決 定

櫻島工場ニ壹名ノ宿直ヲ置キ當所宿直規程第二條一項、二項、第三條三號、四號、五號、七號ヲ準用ス

●事務所員宿直明ケノ勤務方

明治三十年十一月二十五日 所長 達 第 三 號

今般宿直規程相定メ候處宿直シタル者ハ當分ノ内事務差支ナキ者ニ限リ翌日正午十二時ヨリ退所シ不苦候此旨相達候也

●船舶及水上機械宿直規程

明治三十二年一月三十一日 所長 達 第一〇號

工 務 課
器 械 課
會 計 課

第一運行丸 宿直規程ヲ廢シ船舶及水上機械宿直規程別紙ノ三御崎丸 宿直規程ヲ施行ス

(別紙)

船舶及水上機械宿直規程

- 第一條 船舶及水上機械ノ常時指定シタル場所ニ碇泊スルモノハ宿直ヲ置ク
- 第二條 宿直ノ人員ハ別ニ定ムル所ニ據リ乘組員ノ内ヨリ船長又ハ機械方ニ於テ之ヲ命ス
- 第三條 宿直員ノ勤務ハ午後五時ヨリ翌日午前八時マテトス
- 第四條 宿直員ハ時々部内ヲ巡視シ火災盜難其他燈火等ニ注意シ船内一切ノ取締ヲナスヘシ

第五條 宿直中發病其他ノ事故ニ因リ上陸セントスルトキハ其旨ヲ船長又ハ機械方ニ申出ツヘシ

第六條 宿直員ハ左ノ行爲アルヘカラス
一 宿直中上陸スルコト
一 船員ノ外他人ヲ乘込マシメ又ハ宿泊セシムルコト
一 飲酒シ又ハ喧嘩ニ渉ルコト

第七條 宿直員ハ時々天候及晴雨計ニ注意シ若シ險惡ノ兆候アリト認ムルトキハ直チニ船長又ハ機械方ニ急報シ防護ノ處置ヲナスヘシ

第八條 碇泊中他船ノ衝突スルカ又ハ異變アリタルトキハ直ニ船長又ハ機械方ニ急報スヘシ

但衝突シタル場合ニ於テハ其船名及時刻其他目撃シタル實況ヲ船長又ハ機械方ニ申出ツヘシ

第九條 宿直員賄料ハ一夜ニ付金五錢ヲ支給ス

第十條 船長又ハ機械方ハ宿直員ヲ監督シ其責ニ任スヘシ

採石工場プロック製造 場及浚渫工場宿直ノ件

明治三十三年六月十六日
所長達第一三三號

各課

大島採石工場プロック製造場及浚渫工場ニ各壹名ノ宿直ヲ
置キ當所宿直規程第二條一項二項第三條二號三號四號六號
ヲ準用ス(明治三十六年五月
一日達第四號改正)

俸給規程

明治三十一年二月十五日
所長達第一七號

技師事務員技助手雇員俸給規程別紙ノ通相定ム

(別紙)

技師事務員技助手雇員俸給規程

第一條 技師八年俸事務員及技手八月俸トシ其額左表ノ如
シ

技師	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級	十四級
技師	參千圓	貳千五	貳千貳	貳千圓	千八百	千六百	千四百	千貳百	千圓	九百圓	八百圓	七百圓		
技師	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓	百圓
技師	八拾圓	七拾圓	六拾圓	五拾圓	四拾圓	四拾圓	參拾圓	參拾圓	貳拾圓	貳拾圓	拾八圓	拾六圓	拾四圓	拾貳圓

第二條 一級俸ヲ受クル事務員技手ニシテ事務技術熟練優
等ナルモノハ漸次百圓迄増俸スルコトアルヘシ
經理課長ハ本條ノ外特二月俸貳百圓迄ヲ給スルコトアル
ヘシ

工務課長ハ本條ノ外特二年俸四千圓迄ヲ給スルコトアル
ヘシ(明治三十六年十二月十
二日訓令第七七號追加)
第三條 助手八月俸拾圓以上拾五圓迄トス
第四條 雇員八月俸ト日給トナ間ハ一ヶ月拾五圓迄トス

但特別ノ技術ヲ要スル雇員ハ本條ニ依ルノ限リニアラ
ス

船員器械員職名及給料額

明治三十一年十二月二十日
所長達第四七號

船員器械員職名及給料額左之通改正ス

船長	月俸	拾五圓以上	七拾圓迄
一等運轉士	同	拾五圓以上	四拾圓迄
機關長	同	拾五圓以上	七拾圓迄
一等機關士	同	拾五圓以上	四拾圓迄
艇長	同	拾五圓以上	四拾圓迄
機關手見習	同	拾貳圓以上	五拾圓迄
機械方	日給	五拾錢以上	壹圓五拾錢迄
機械方見習	同	四拾錢以上	七拾錢迄
火夫長	同	四拾錢以上	八拾錢迄
水夫長	同	四拾錢以上	八拾錢迄

死傷手当支給規程

明治三十一年七月十二日
所長達第三四號

死傷手当支給規程

第一條 築港工事ニ使役スル工夫、船夫、職工、人夫、水
夫、火夫、舵取、油差、等ニシテ執業上ニ起ル死傷ハ分

船取	一等	二等	三等
船取	七拾圓	五拾五圓	四拾五圓
船取	以下四拾圓	以下參拾圓	以下貳拾圓
油差	七拾圓	五拾五圓	四拾五圓
油差	以下四拾圓	以下參拾圓	以下貳拾圓
火夫	六拾圓	四拾五圓	參拾五圓
火夫	以下參拾圓	以下貳拾圓	以下拾五圓
水夫	六拾圓	四拾五圓	參拾五圓
水夫	以下參拾圓	以下貳拾圓	以下拾五圓
船夫	四拾圓	參拾五圓	貳拾五圓
船夫	以下參拾圓	以下貳拾圓	以下拾五圓
石炭夫	日給	拾五錢以上	參拾五錢迄

ツテ五等トシ其等級ニ依テ第二條ノ手當ヲ支給スヘシ
 一 等 重傷死ニ至ル者
 二 等 重傷死ニ至ラスト雖モ終身自用ヲ辨スル能ハサル者
 三 等 自己ノ動作ヲ得ルモ終身事業ヲ營ムコト能ハサル者
 四 等 事業ヲ營ムコトヲ得ルモ身体ヲ毀傷シテ舊ニ復スルコト得サル者
 五 等 身体ヲ毀傷スルモ療養ニ依テ舊ニ復スルコトヲ得ル者

第二條 死傷者ニ支給スヘキ手當左ノ如シ

	療養料	埋葬料	扶助料
一 等	實 費 拾 圓	參 拾 圓	貳 拾 圓
二 等	同	同	拾 五 圓
三 等	同	同	拾 圓
四 等	同	同	同
五 等	同	同	同

第三條 第一條ニヨリ手當ヲ受クヘキ死傷者アルトキハ工場主任ニ於テ死傷ノ原因ヲ詳悉シタル書面ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ主務課長ヲ經由シテ所長ニ差出スヘシ
 第四條 療養料ハ診斷料藥料又ハ入院料ニシテ死亡癱疾若クハ全癒ノ日迄ニ要スルモノヲ當所ヨリ直チニ醫師ニ仕拂フヘシ
 第五條 死亡癱疾若クハ全癒ノ日迄負傷ノ當時支給スル所ノ日給ヲ支給スヘシ
 第六條 負傷者ハ總テ當所ニ於テ指定スル醫師ノ施療ヲ受クヘシ
 第七條 負傷者ニシテ當所指定外醫師ノ施療ヲ受ケンコトヲ望ム者ハ療養料トシテ一日ニ付金貳拾五錢以内ヲ給シ本規程ノ療養料及日給ヲ支給セス但死亡シタルトキハ埋葬料扶助料ヲ支給ス

附 則

第八條 負傷者一週間以上療養ヲ要スルトキハ主務課長ハ七日毎ニ醫師ノ診斷書ヲ徴シ其經過ヲ所長ニ報告スヘシ
 第九條 工事請負人ノ使役スル職工人夫等ノ死傷者ニハ本

規程ヲ適用セス

● 棧橋掛用船乗組員職名及給料額其他
 明治三十八年十一月二十五日 達 第一一號 廳 中 一 般

港灣事務用船乗組員職名及給料額并食料死傷手當支給方ハ築港事務所船艇ニ關スル各規程ヲ準用ス
 但明治三十八年十月一日ヨリ施行ス

● セメント工場監督員月額旅費支給規程
 明治三十二年一月二十四日 達 第五號 會 計 課

材料試驗課
 セメント工場監督員月額旅費支給規程別紙ノ通り定ム
 (別紙)
 セメント工場監督員月額旅費支給規程

第一條 セメント工場監督ノ爲メ出張スルモノニハ一切ノ旅費トシテ左ノ月額ヲ支給スヘシ
 技 師 金四拾五圓
 技 手 助 手 金拾圓
 雇 金貳拾圓

第二條 工場所在地以外ニ出張スルトキ又ハ築港事務所ト工場所在地間ノ往復ハ明治三十一年大阪市告示參第四號旅費規則ニ據ル
 第三條 月額ハ工場所在地へ到達ノ翌日ヨリ同所出發ノ前日マテ日割チ以テ支給スヘシ
 第四條 月額ノ日割計算ハ支給スヘキ日數ニ月額ヲ乘シ其月ノ現日數ヲ以テ除シ四捨五入厘位ニ止ム

● 船員艇員食料及航行手當支給規程
 明治四十年九月三十日 達 第一一八號

明治三十三年十二月二十八日達第四六號大阪市築港事務所船員艇員食料規程左ノ通改正シ來十月一日ヨリ施行ス

一 船員及艇員ニシテ就業シタルモノニハ食料トシテ一日ニ付左ノ金額ヲ支給ス
船長、運轉士、機関長、機関士、艇長、機関手 金貳拾五錢
其他ノ船員及艇員 金拾八錢

棧橋掛員手當支給規程

明治三十九年四月十七日 應 達 第四號

第一條 棧橋掛員ニハ本規程ニ據リ手當ヲ支給ス
第二條 本規程ニ於テ棧橋掛員ト稱スルハ棧橋長、助手、技手、燈臺、監守、兼信號手及雇員ヲ謂フ
第三條 手當ハ日額トシ左ノ區分ニ依リ執務ノ日數ニ應シテ支給ス
一 棧橋長助手、技手 金拾八錢
二 燈臺監守兼信號手 金拾五錢
三 雇員 金拾 錢
第四條 手當ハ毎月前月廿一日ヨリ其月廿日迄ヲ計算シテ之レヲ給ス

第五條 本規程ハ明治三十九年四月十七日ヨリ施行ス

死亡船員ノ給料及食料

等取扱方

明治三十三年三月二十六日 市 參 事 會 決 定

本市築港事務所ニ使役セル船員ノ給料及食料等ハ從來其船長又ハ水夫長ヲシテ取極メ請求セシメ當所ハ各自ヨリ正式委任狀ヲ査閱シテ之カ支拂ヲ爲セリ然ルニ其支拂前ニ本人ノ死亡シタルトキハ其委任狀モ隨テ消滅スヘキハ當然ナリト雖モ別ニ法定ノ繼承人又ハ代理人ノ確定セサルモノハ生存中辭職又ハ免職シタルモノニ準シ其死亡ノ日迄ノ給料及食料等ハ受任者ヲシテ請求領收ノ手續ヲ行ハシメ之ニ給付ヲ爲ス事

定時間外勤務者手當金

支給規程

明治三十三年六月十六日 所 長 達 第一二二號

請求書

一金

内

月	日	午前自何時至何時	午後自何時至何時	時間	事由

右之通り候也

職 氏 名

工場従事者手當金

支給規程

明治三十三年六月十六日 所 長 達 第一一號

各 課

工場従事者手當金支給規程別紙ノ通改正ス (別紙)

工場従事者手當金支給規程

各 工 場

定時間外勤務者手當金支給規程別紙ノ通定ム

(別紙)

定時間外勤務者手當金支給規程

一 所員ニシテ定時間外勤務シタルモノニハ手當トシテ一時間ニ付左ノ金額ヲ給ス
事務員、技手 金拾 錢
雇(工場備) 金七 錢
一定時間外一時間ノ勤務ニハ給セス二時間以上ニ渉ルトキハ定時間外ノ勤務時間ヲ通算シテ給ス一時間未満ハ之ヲ除ク
一定時間外勤務ヲ要スル場合アルトキハ時間外勤務額ニ其勤務ヲ要スル事由ヲ記シ豫メ主務課長又ハ工場主任ノ承認ヲ受クヘシ承認ヲ受クスシテ勤務シタルモノニハ手當ヲ給セス
一定時間外勤務者ハ左ノ書式ニ據リ手當金請求書ヲ調製シ主務課長又ハ工場主任ノ檢印ヲ得テ翌月十日迄ニ事務所ニ提出スヘシ

一 工場従事者ニハ手當トシテ一日ニ付左ノ金額ヲ支給ス
(明治三十六年四月二日)
(十五日所長決定改正)

工 場	事務員及技手	雇 (工場傭 ナ除ク)
大島採石工場	參拾	貳拾錢
フロック製造場		
突堤防波堤浚渫	貳拾	拾五錢
器械船渠工場		

一手當金ハ大島工場ニ在テハ同島へ着ノ翌日より同島ヲ去ルノ前日迄其他ハ實際工務ニ従事シタル日ニ對シ之ヲ給ス

一手當金ハ工場休暇日及病氣急引隨省等工務ニ従事セザル日ハ之ヲ給セス

一 此規程ハ明治卅三年六月十六日より施行シ同時ニ大島採石工場従事者旅費月額並宿泊料規定ヲ廢ス

● 人力車乘車手續

人力車乘車手續左ノ通改正ス

人力車乘車手續

第一條 所員公務ヲ帶ヒテ市内各所へ急行ノ爲メ人力車ヲ要スルトキハ經理課ニ備ヘアル「人力車賃貸費拂認許簿」ニ左ノ如ク記入シ所長又ハ工務長(所長、工務長不在ノトキハ課長)ノ檢印ヲ得テ之ヲ經理課ニ送付請求スヘシ

一 何處某方往復又ハ片道
或ハ何處ヨリ何處ヲ經テ何處迄 一輛
但何々ノ爲メ

年月日 何 某 印

第二條 經理課ハ前條ノ請求ニ對シ直チニ乘車券ヲ交付スヘシ

第三條 經理課ハ認許簿ト車夫提出ノ乘車券トヲ對照調査シ毎月十日、二十日末日ノ三回ニ賃金仕拂ノ運ヲ爲スヘシ

明治三十一年二月一日
所長 達 第一〇號

● 市内巡回ニシテ一里以上ニ 涉ルトキ車馬賃支給方

明治三十一年五月六日
所長 達 第三一號

市内巡回ニシテ一里以上ニ涉ルトキハ左ノ手續ニ據ルヘシ
但一里未滿ト雖モ急テ要スル用務ノ爲メ乘車ヲ必要トスルトキハ本年達第十號人力車乘車手續ニ從フヘシ

一 巡回ハ課長之ヲ命スルモノトス

一 月末ニ至リ別紙書式ニ依リ每一ヶ月分車馬賃請求書ヲ製シ課長ノ檢印ヲ受ケ會計課へ送附ス可シ

一 會計課ハ前項車馬賃ヲ翌月十日迄ニ本人ニ拂渡スヘシ
(別紙)

車馬賃請求書

課長

月 日	摘 要	里 程	金 額
、	何々ノ爲メ何處ヲ發シ	何里何丁	、
、	何處ヲ經テ何處ニ至ル	、	、
、	又ハ何處往復	、	、

● 市内巡回里程通算方

明治三十一年十月七日
所長 達 第四〇號

各 課

市内巡回里程通算方別紙ノ通相定ム

一 市内巡回ヲ要スルトキ事務所ヨリ安治川税關波止場迄ハ當所汽船ノ定期航行アリ之ニ上船シ得ルヲ以テ此間ノ里程ハ之ヲ省キ總テ該波止場ヲ起點トシ里程ヲ通算スルモ

計			

右之通ニ候也

年月日

何

某 印

所長、、、、殿

ノトス

一前項定時出船ヲ俟ツノ速ナキ急要事件若クハ税關波止場ヲ經テ巡廻スルヨリハ事務所ヨリ直チニ巡廻スル方便利ナルトキハ特ニ課長ノ承認ヲ得テ事務所ヨリノ里程ヲ通算スヘシ

一事務所へ出勤ノ後巡廻スルヨリハ自宅ヨリ直チニ巡廻スル方便利ナルトキ又ハ巡廻先ヨリ事務所ニ歸ルモ既ニ退所時間後ニ涉ル場合ニ直チニ自宅へ歸リタルトキハ其自宅ヨリ當日第一ノ巡廻地マテ及最終ノ巡廻地ヨリ自宅マテノ里程ハ通算スルヲ得サルモノトス但自宅ヨリ直チニ巡廻スル場合ニ於テ特ニ急行ヲ要スルノ事實アリ又最終ノ巡廻地ヨリ自宅へ歸リタル場合ニ於テ日没後ニ涉リタルトキハ課長ノ承認ヲ得テ巡廻地自宅間ノ里程ヲ通算スルコトヲ得

職工、工夫、人夫出張

旅費支給方 明治三十一年九月二十七日 所長 達 第三九號

當所ニ於テ職工、工夫、人夫等ヲ撰定シ犬島へ出張セシムルトキ其往復ハ五等旅費ヲ支給シ差支ナキモ同地滞在中心ハ總テ旅費ヲ支給スルノ限ニアラス又職工、工夫、人夫市内巡回ニシテ遠距離ニ涉ルコトアルモ車馬賃ヲ給セサル儀ト心得ヘシ

大阪市築港事務所物品

出納規程 明治四十一年二月二十八日 廳 第五號

廳 申 一般

大阪市築港事務所物品出納規程別紙ノ通改正シ四十一年二月一日ヨリ施行ス

大阪市築港事務所物品出納規程

第一條 本規程ニ於テ物品ト稱スルハ大阪市築港事務所ニ屬スル動産ヲ云フ

第二條 物品ノ出納ハ總テ會計年度ニヨリ區分シ現ニ出納ヲ爲シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ定ム

第三條 物品ノ出納ハ庶務課長之ヲ主管ス

第四條 物品ノ出納ハ證憑書類ニ據リ其都度帳簿ニ記入シ出納事實ヲ明ニスヘシ

第五條 各掛、工場及船艇ニ物品取扱主任ヲ置キ所屬ノ物品ヲ管理セシム

工事長室、技師室、應接室ニ屬スル物品ハ庶務課秘書掛物品取扱主任、小使室其他ノ室ニ屬スル物品ハ庶務課經理掛物品取扱主任ヲシテ之ヲ管理セシム

第六條 總テ物品ハ市役所經理課ヨリ直接交付スルモノ、外ハ庶務課經理掛ニ請求スヘシ

第七條 庶務課經理掛ハ物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ其物品ヲ交付シ遲滞ナク其物品取扱主任ニ送券ヲ發スヘシ但事務所費支辨ニ係ル物品ニ對シテハ送券ヲ發スルコトヲ要セズ

第八條 物品ノ交付ヲ受ケタル者ハ受領書(市役所經理課ヨリ交付ヲ受ケタルモノハ受入券)ヲ庶務課經理掛ニ差出スヘシ

第九條 物品取扱主任交送シタルトキハ後任者ハ五日以内

ニ其事務及現品ノ引渡ヲ受ケ各自ノ署名捺印シタル物品引渡書ヲ庶務課經理掛ニ差出スヘシ

第十條 不用ニ屬スルカ又ハ使用ニ堪ヘサル物品ハ其都度返付書ヲ添へ庶務課經理掛ニ送付スヘシ但破損セル物品ニ對シテハ其事由ヲ詳記シ所屬主任ノ證明書ヲ添付スルヲ要ス

第十一條 庶務課經理掛ハ前條送付ヲ受ケタル物品ニシテ使用ノ見込ナク且價值ナキモノト認メタルトキハ隨時處分スルコトヲ得

第十二條 證憑書類ハ左ノ様式ニ據ルヘシ (様式略之)

器具器械出納及取扱方

明治三十一年二月十四日 所長 達 第一五號

當所器具器械ニ關スル出納及取扱方等ノ儀ハ追テ規程相定ル迄本年二月五日達第一三號物品出納規程ニ準據スヘシ

●過怠金權收ノ件

明治三十一年十月五日
市參事會 決定

當所ニ於テ懲戒處分ニ依リ吏員ヨリ過怠金ヲ徵收シタルトキハ各請負人ヨリ契約上徵收スル過怠金、違約金若クハ事務所尿尿代金ノ如ク當所へ權收スル様致度此段相伺候也

●帽子雨覆貸與規程

明治三十一年六月十二日
所長 決定

第一條 船長運轉士機關士艇長器械方ニハ一定ノ帽子ヲ守衛ニハ一定ノ帽子及雨覆ヲ貸與シ保存期限滿一ケ年トシ貸與ノ月ヨリ之ヲ起算ス但右合品ヲ貸與シタルトキハ保存期限ヲ短縮シ之ヲ指定ス
第二條 保存期限ヲ經過シタル貸與品ハ帽章ノミヲ返納セシメ其他ハ之ヲ給與ス
第三條 保存期限中轉職退職又ハ死亡シタルトキハ貸與品ヲ返納セシム

第四條 貸與品ヲ毀損シ使用ニ堪ヘサラシメ又ハ亡失シタルトキハ調製費用ヲ月割トシ保存期限未了ノ月數ニ係ル金額ヲ辨償セシム
第五條 貸與品ノ修補ハ總テ自辨トス

●棧橋長、同助手被服

給與規程 明治三十八年十一月二十二日
達 第十三號
廳 中 一 般

大坂市棧橋長、棧橋長助手被服給與規程左通相定ム
大坂市棧橋長、同助手被服給與規程
第一條 大坂市棧橋長及同助手ハ別表ニ定ムル服裝ヲ爲スモノトス
第二條 棧橋長及同助手ノ被服ハ現品ヲ給與シ附屬品ハ代料ヲ以テ毎月支給ス
但轉免死亡ノ際給與品ノ保存滿期ニ至ラサルモノハ返納セシム
第三條 被服附屬品新任者其月ノ十五日以前ナレハ全月分

十六日以後ナレハ半月分ヲ支給ス

但轉免死亡ニシテ其月十五日以前ナレハ半月分十六日以後ナレハ全月分ヲ支給ス

第四條 給與品種類及保存期間左ノ如シ

但自己ノ過失怠慢ニ因リ毀損若クハ亡失シタルトキハ其殘餘期間内ハ自辨トス

品 目	個 數	保 存 期 限
帽子(徽章共)	壹 個	壹 年
冬服上下	壹 着	壹 年
夏服上下	壹 着	壹 年
外套(帽覆付)	壹 着	壹 年
帽子日覆	貳 枚	壹 年

第五條 被服附屬品種類及保存期間左ノ如シ

品 目	個 數	期 限
手 袋	六 組	壹 年

肌着上下	貳 着	壹 年
下 襪	拾 貳 枚	壹 年
靴 下	拾 貳 足	壹 年
長 靴	壹 足	壹 年
短 靴	貳 足	壹 年
雨 合 羽	壹 枚	參 年

第六條 製服并ニ帽日覆着用期限左ノ如シ

一 冬 服 自十月一日起至翌年五月末日
一 夏 服 自六月一日起至九月末日
一 帽日覆 自七月一日起至九月末日
第七條 防寒ノ爲メ外套ヲ着用スルハ毎年十一月一日ヨリ翌年三月末日限リトス

第八條 被服附屬品代料トシテ棧橋長ハ毎月金參圓棧橋長助手ハ毎月金貳圓五拾錢支給ス

但新任者ニ限リ其所屬年度分テ一時ニ前給スルコトヲ得此場合ニ於テ轉免又ハ死亡シタルトキハ殘餘ノ支給金ヲ直チニ返納スルモノトス

冬		帽					
胸	衣	上	日	紐	徽	製	地
地	袖	肩	製	地			
質	章	章	式	質	覆	鈕	章
紺羅紗或ハ綾羅紗	棧橋長ハ徑五分ノ金色櫻花ノ上ニ銀色水三個ヲ付ス	長五寸巾一寸六分ノ紺色羅紗ニ二分五厘ノ金線三條ヲ付シ徑五分ノ金色櫻花ノ上ニ銀色水三個ヲ付ス	長シヤケット製堅襟胸一重隠紐鈕金線邊ニ巾八分ノ黒毛線及巾一分ノ黒蛇腹組一筋ヲ付シ左右下部ニ各一個ノ隠ヲ付ス	紺羅紗或ハ綾羅紗	白布形状圖ノ如シ	金色小形圖ノ如シ	紺羅紗或ハ綾羅紗
全	全上二個ヲ付ス	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上

棧橋長及同助手服制

棧橋長

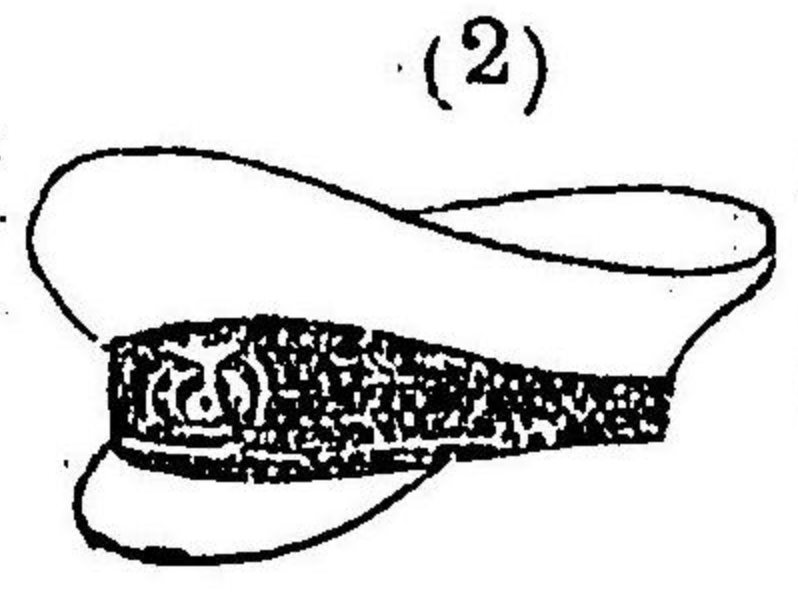
棧橋長助手

外		服						夏		服		
袖	製	地	袴	衣	胸	衣	上	袴	衣			
製	式	質	製	紐	地	肩	紐	製	地			
章	式	質	式	質	鈕	章	鈕	式	質			
水色布一線ヲ付シ其上部ニ徑五分ノ金色櫻花ノ上ニ銀色水橋長ハ三個全助手ハ二個ヲ付ス	折襟胸二重後面裾ヲ割キ腰部ニ帶緒ヲ付シ左右腰部ニ各一個ノ物入ヲ付ス	紺羅紗	冬服ニ全シ	冬服ニ全シ	白リン子ル或ハセル地	冬服ニ全シ(但シ紺羅紗ヲ水色布ニナス)	大形五個一行	白リン子ル或ハセル地	長シヤケット製胸一重堅襟左右各一個ノ隠ヲ付ス	普通	紺羅紗或ハ綾羅紗	小形六個一行
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

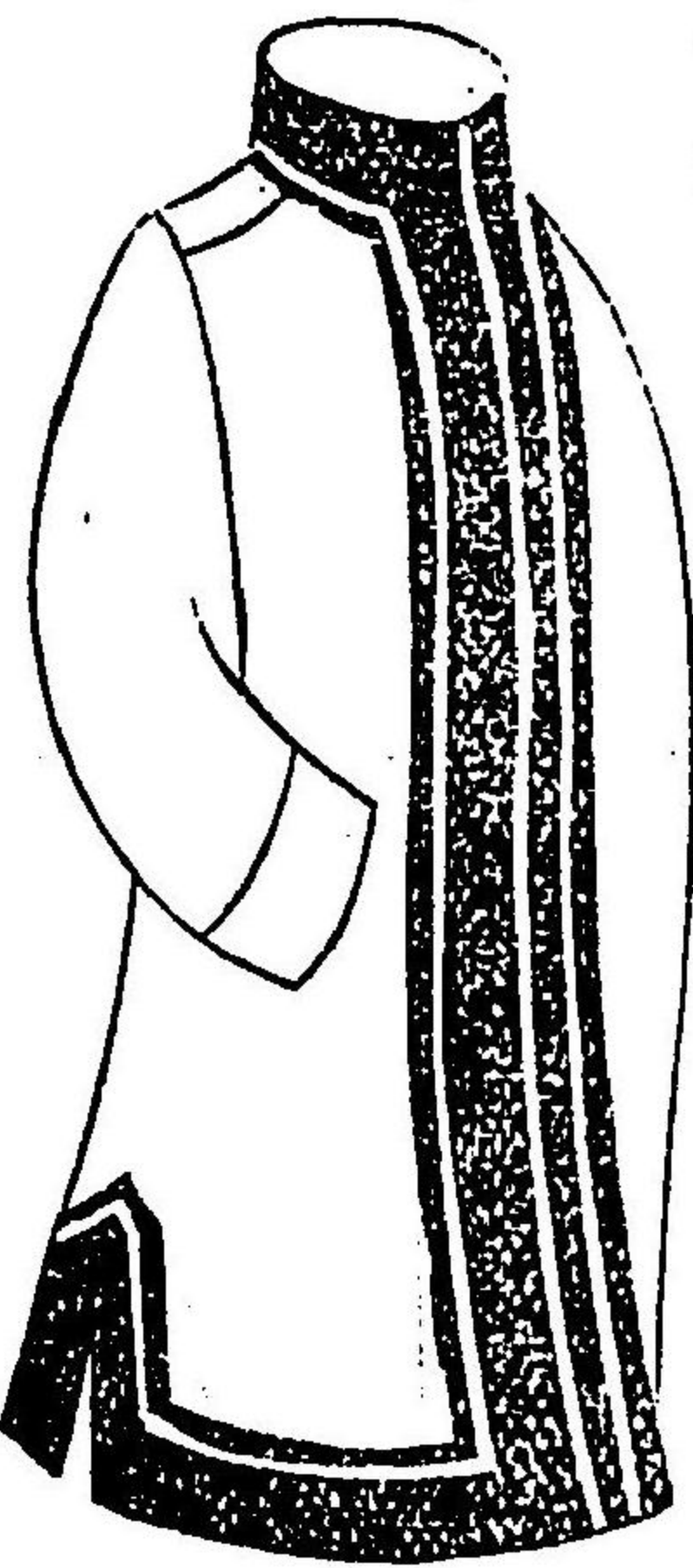
套	鈕	鈕	胸六個二行後面ノ腰部ニ大形八個袖ニ小形三個圖ノ	全	袖ニ二個	上
帽	如シ	覆	紺羅紗形狀圖ノ如シ	全		上



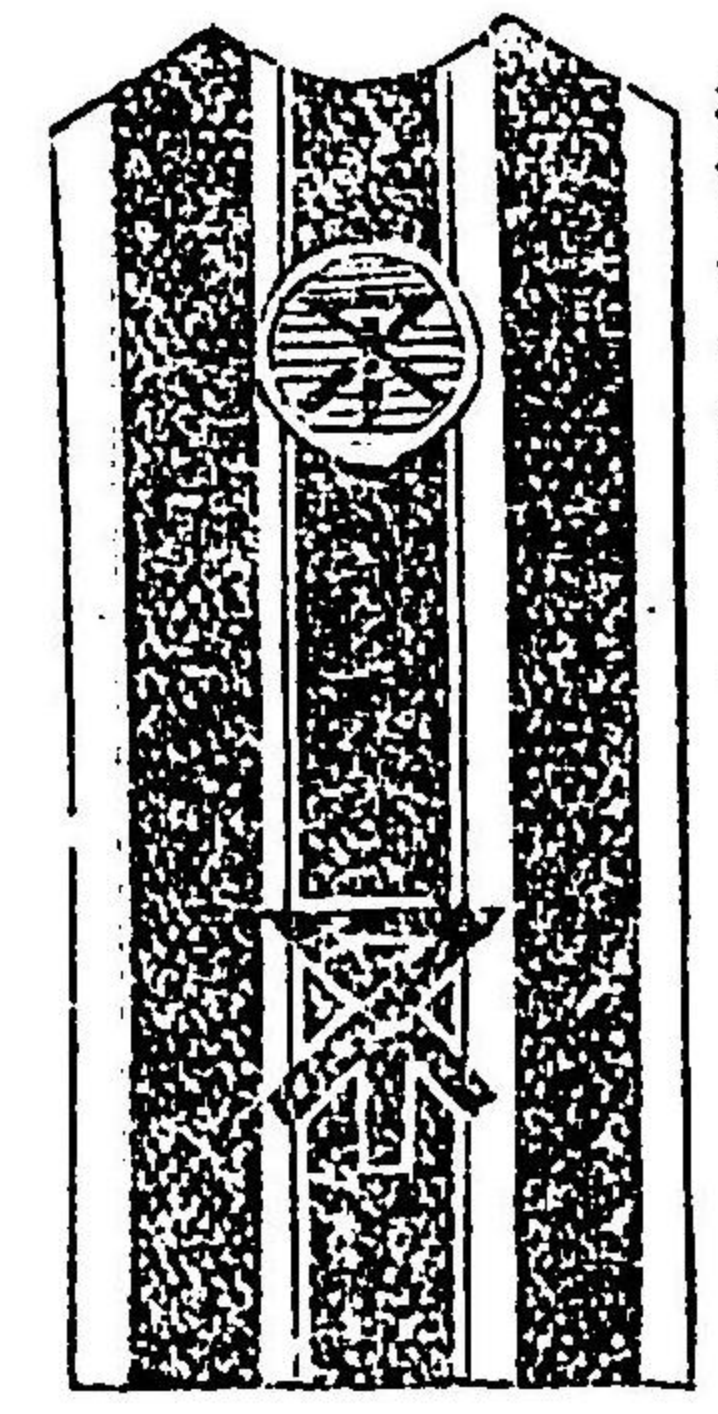
棧橋長、全助手帽前章



棧橋長、全助手帽



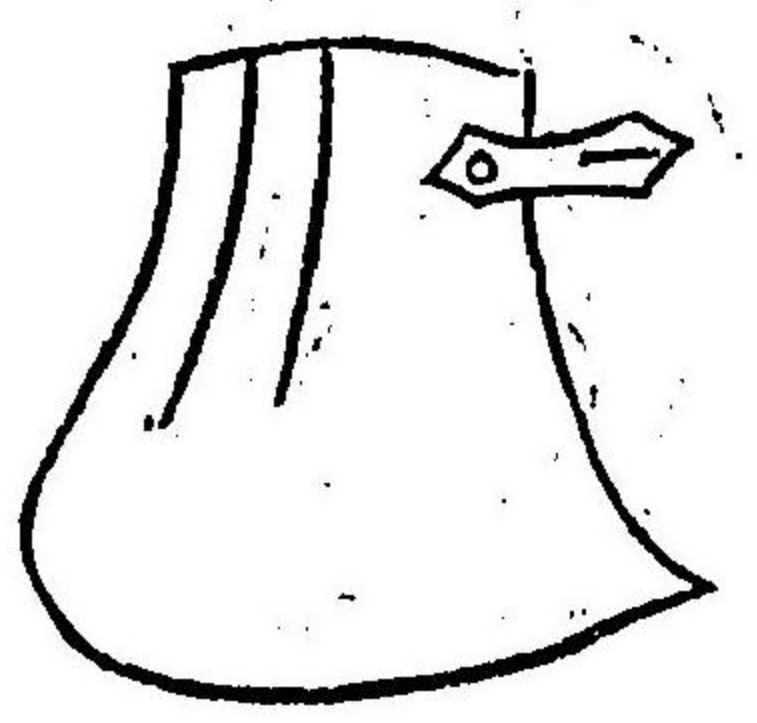
棧橋長、全助手上衣



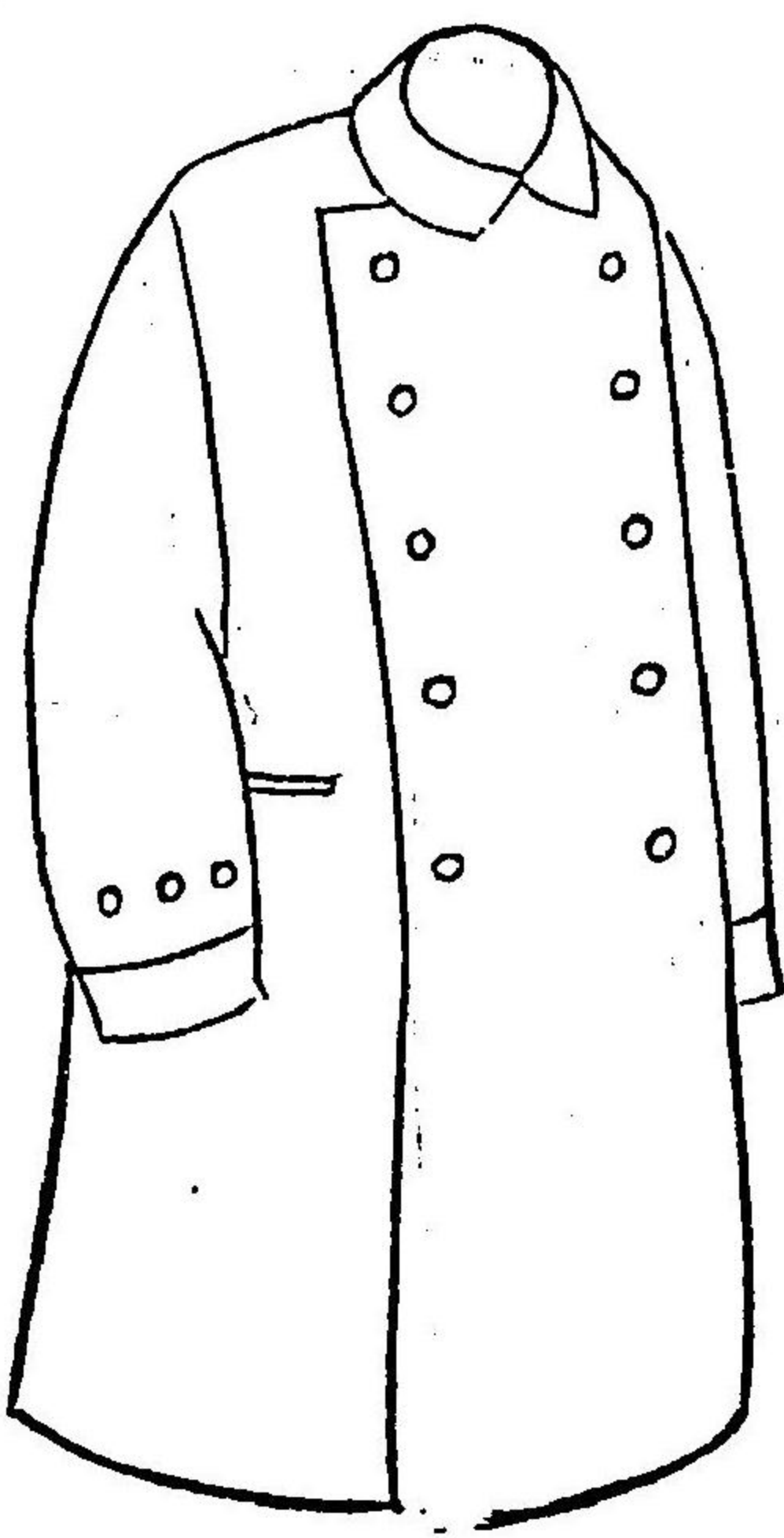
棧橋長、肩章

3/2

(3) 1

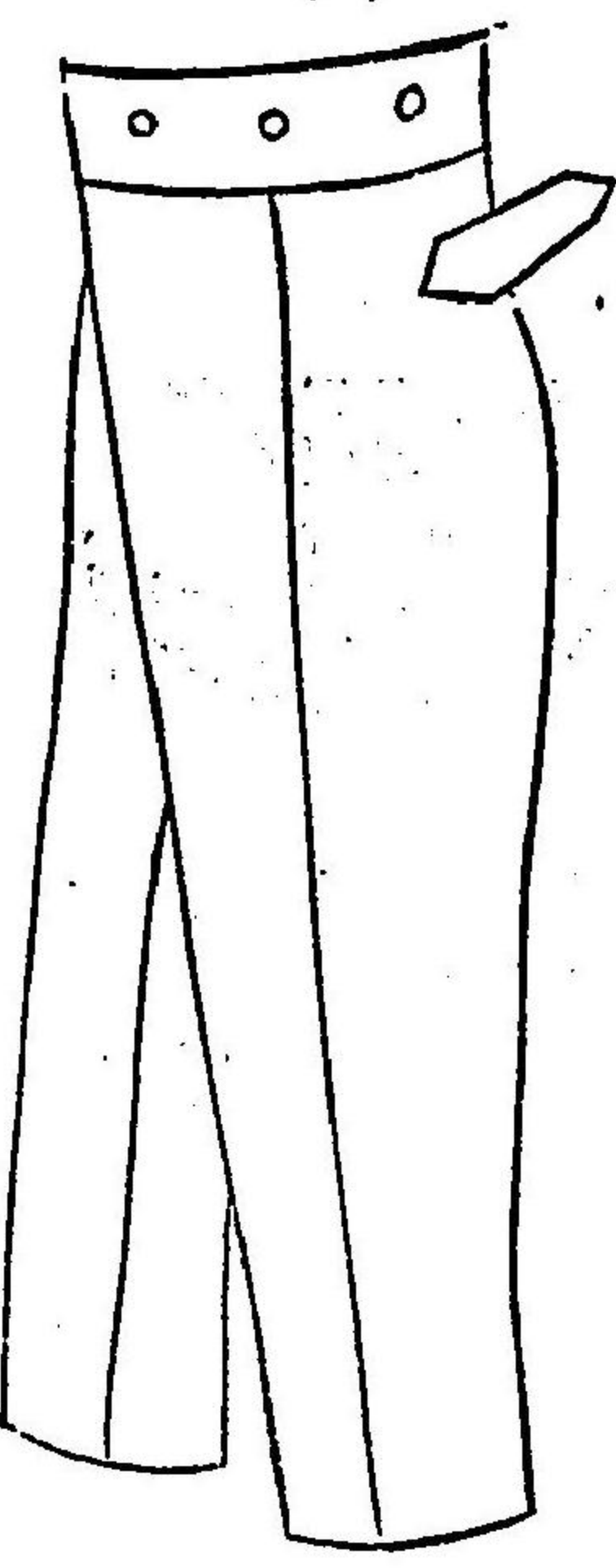


棧橋長、全助手外套

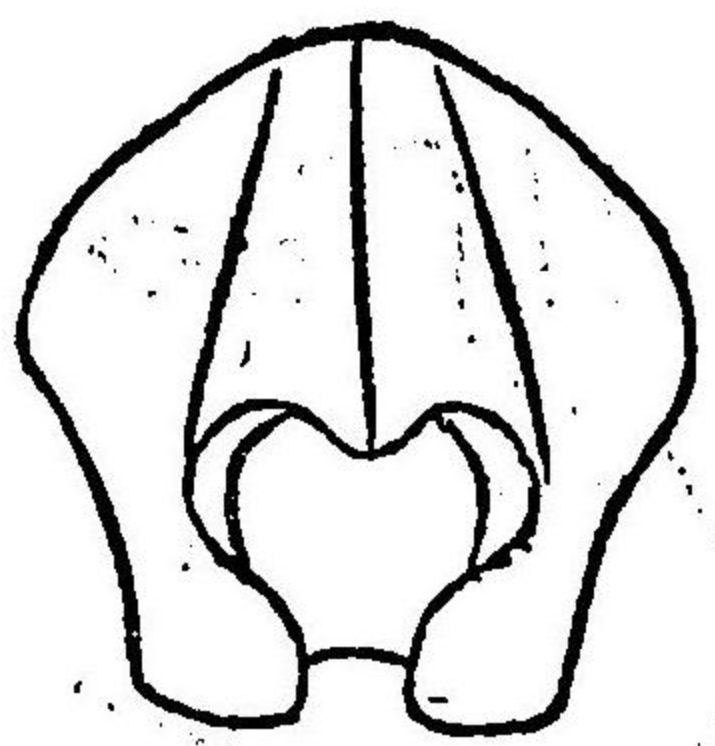


(4)

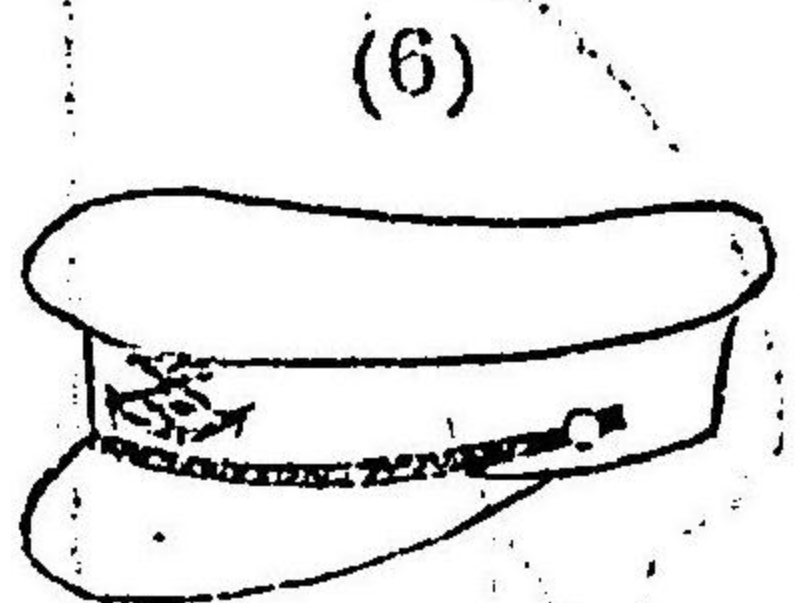
袴



3/2



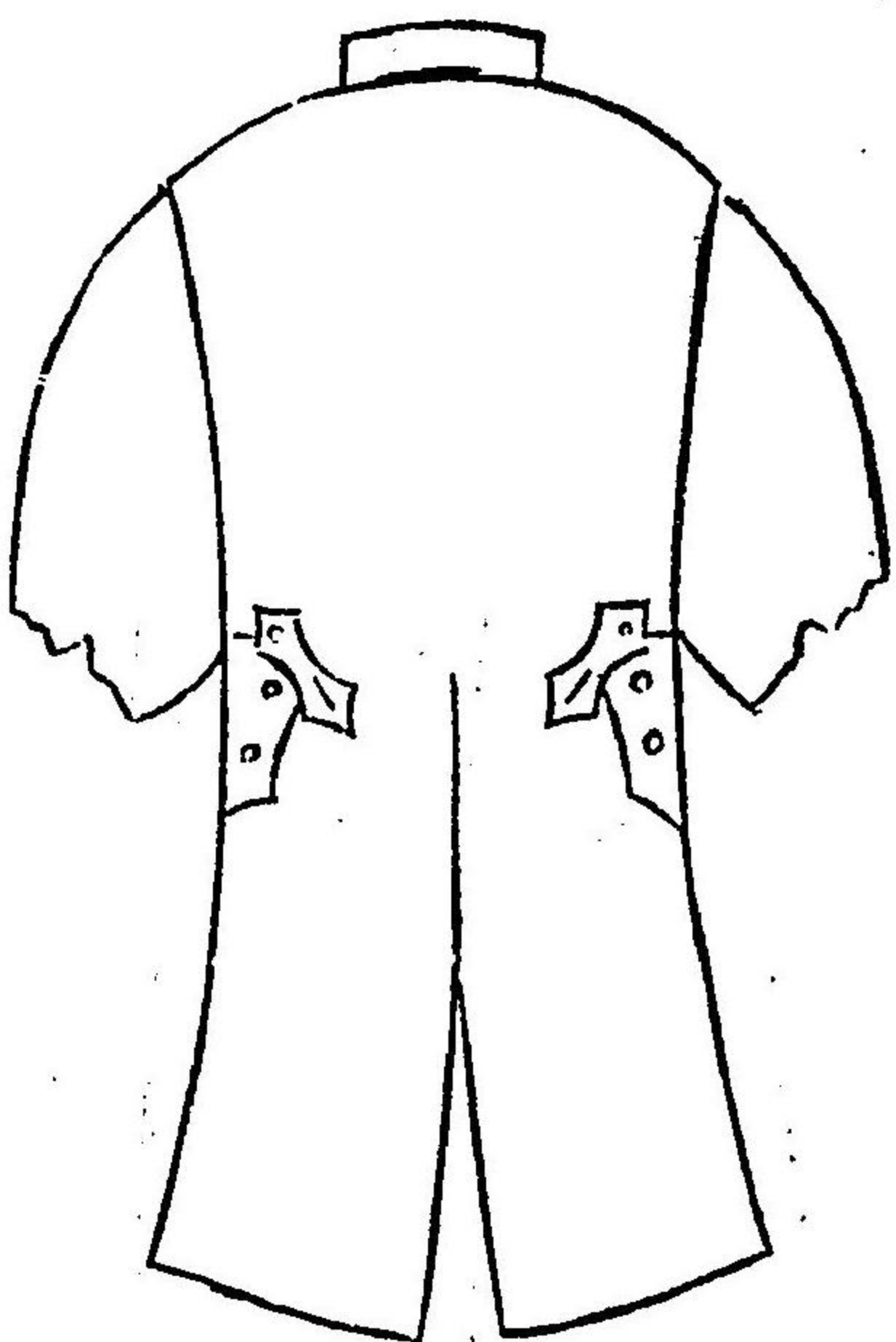
船長



機関長

燈臺監守

信號手



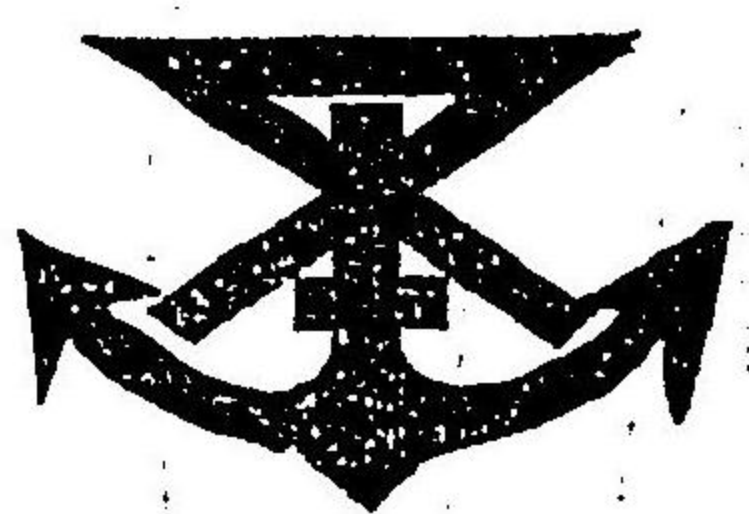
船長

機関長

燈臺監守

信號手

帽前章



● 棧橋掛所屬小蒸氣船船長、

機關長并ニ燈臺監守兼信號手、小蒸氣船舵取、油差、水

火夫被服貸與及給與規程

明治三十八年十一月二十二日 達 第一一四號

第一條 棧橋掛所屬小蒸氣船船長、機關長、燈臺監守兼信號手、舵取油差、水火夫ハ別表ニ定ムル服裝ヲ爲スモノトス

第二條 船長、機關長、燈臺監守兼信號手、舵取、油差、水火夫被服ハ貸與シ付屬品ハ代料ヲ以テ毎月支給ス貸與品ハ貸與シタル月ヨリ起算シ保存期間満了シタルトキハ之ヲ給與ス

但轉免死亡ノ際貸與品ノ保存満期ニ至ラサルモノハ返

納セシム已ニ満期ニ至リタルモノハ徽章及紐釦ノミヲ返納スルモノトス

第三條 被服付屬品ハ新任者其月ノ十五日以前ナレハ全月分十六日以後ナレハ半月分ヲ支給ス

但轉免死亡ニシテ其月十五日以前ナレハ半月分十六日以後ナレハ全月分ヲ支給ス

第四條 船長以下船員及燈臺監守兼信號手病氣其他止ムヲ得サル事故ニヨリ本規程ノ服裝ヲ爲シ難キトキハ認可ヲ受クヘシ此場合ニハ認可証ヲ所持スルモノトス

第五條 被服品ハ隨時点檢ヲナスモノトス新任者ニ在テハ貸與品ノ交付ト同時ニ付屬品ノ点檢ヲ爲スヘシ

第六條 貸與品ハ自己ノ過失怠慢ニヨリ毀損若クハ亡失シタルトキハ調製ノ原價ニヨリ保存期間ノ月割ヲ以テ計算シ残日數分チ一時ニ賠償セシムヘシ

第七條 貸與品種類及保存期間左ノ如シ

品目	個數	保存期間
帽子	壹個	壹ケ年
冬服上下	壹着	全上
夏服上下	二着	全上
外套	壹着	貳ケ年
雨合羽	壹枚	全上
帽子日覆	二枚	壹ケ年
船長、機關長、燈臺監守兼信號手	壹個	無期限
信號手	壹個	無期限
舵取、油差、水夫、帽章	壹個	壹ケ年

第八條 被服付屬品種類及保存期間左ノ如シ

品目	個數	期間
船長、機關長、燈臺監守兼信號手	壹個	無期限
信號手	壹個	無期限
舵取、油差、水夫、帽章	壹個	壹ケ年
肌着上下	二着	全上

船長、機關長、燈臺監守兼信號手	信號手	舵取	油差	水夫	火夫
短靴	短靴	肌着上下	襪	靴	短靴
下襪	下襪	二着	二筋	六足	六足
六枚	六枚	全着	全筋	全足	全足
全上	全上	全上	全上	全上	全上

第九條 制服并ニ帽日覆着用期限左ノ如シ

- 一冬服 自十月一日起至翌年五月末日
- 一夏服 自六月一日起至九月末日
- 一帽日覆 自七月一日起至九月末日

第十條 防寒ノ爲メ外套ヲ着用スルハ毎年十一月一日ヨリ翌年三月末日限リトス

第十一條 被服付屬品代料トシテ、船長、機關長及燈臺監守兼信號手ハ毎月金壹圓貳拾五錢舵取、油差、水夫ハ毎月金壹圓ヲ支給ス

所屬小湊漁船船長、機關長及燈臺監守兼信號手服制

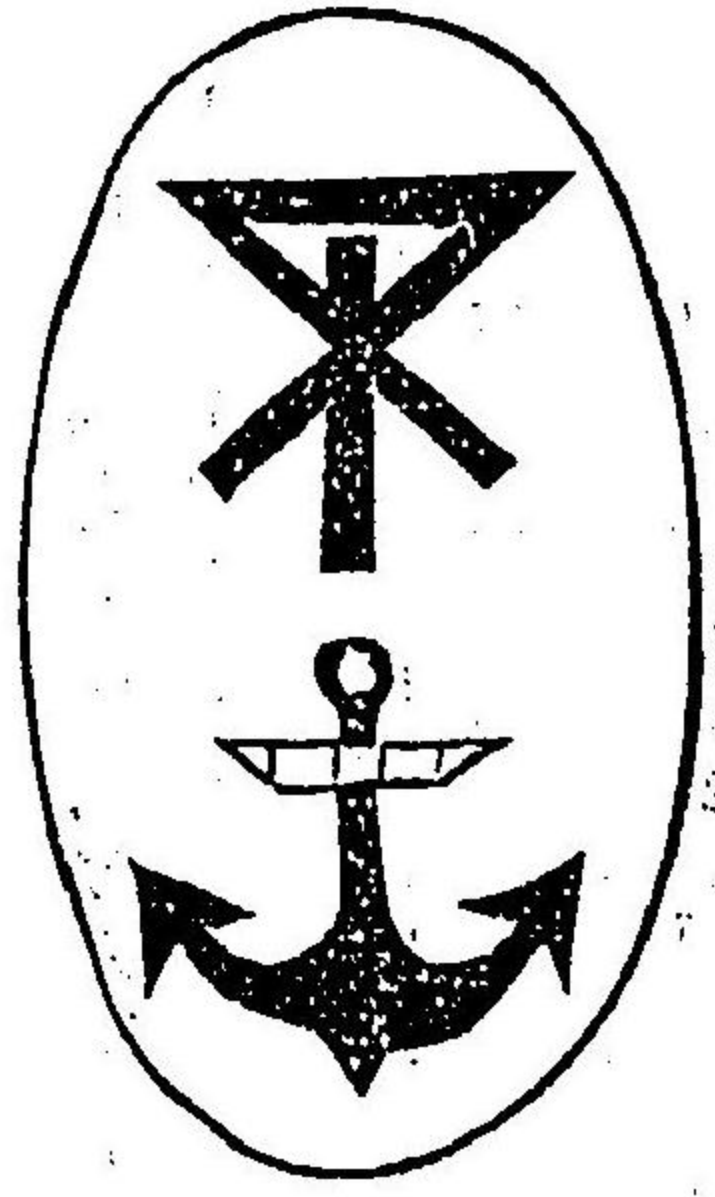
冬		帽		日		紐		徽		製		地	
袴	衣	上	地	製	式	質	日	紐	卸	章	式	質	地
紺羅紗或ハヘル地	大形五個一行	付ス形状圖ノ如シ	階圓形ノ水色羅紗ニ及銀色ノ紺チ	長シヤケツト製胸一重堅襟左右下部ニ各一個ノ隠チ付ス圖ノ如シ	全	上	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

外		服						夏			服			
組	製	地	衣		袴		上			組	地	製		
			紐	地	製	地	紐	肩	製				地	紐
鈕	式	質	鈕	質	式	質	鈕	章	式	質	鈕	質	式	質
黑色丸形製五個宛二行	折襟胸二重長膝上六寸形状同ノ如シ	紺ノ大羅紗	冬服ニ全シ	綿リソチル	冬服ニ全シ	綿リソチル	冬服ニ全シ	冬服ニ全シ	冬服ニ全シ	綿リソチル	小形五個一行	紺羅紗或ハヘル地	普通	普通
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

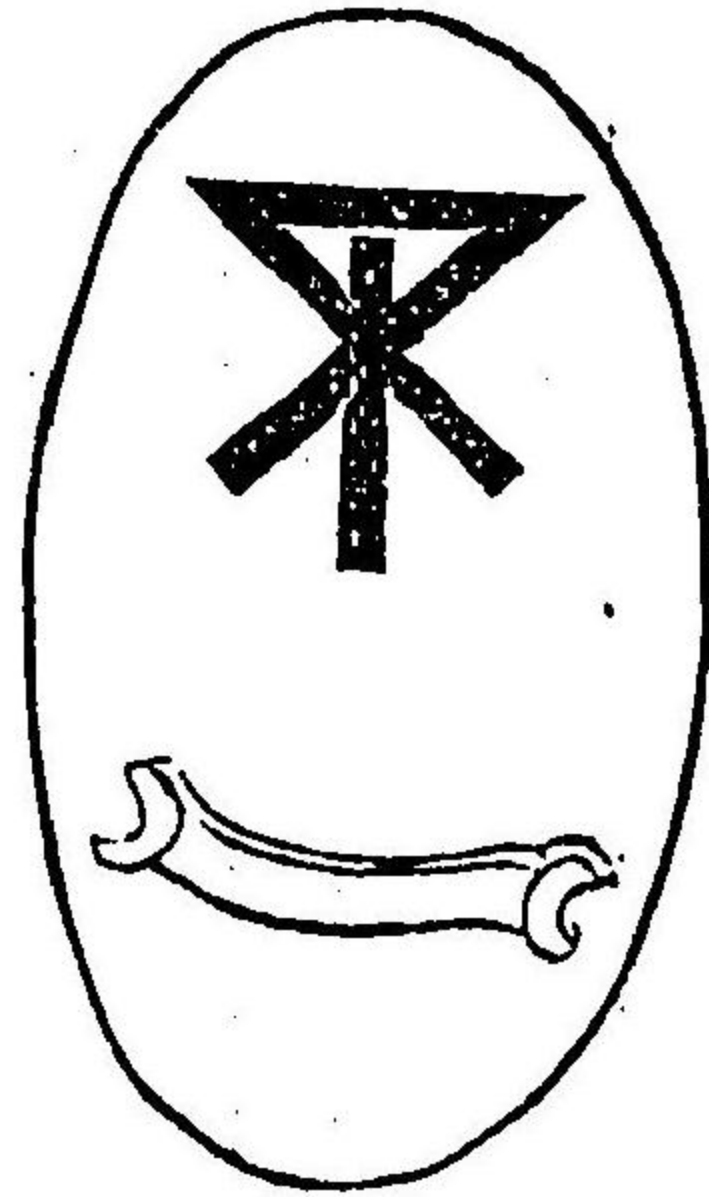
夏		服		冬		帽			所屬小蒸溜船能取、油差水火夫服制	套	
衣	上	袴		衣	上	徽	製	地			
		製	地						製	地	
式	質	式	質	式	質	章	式	質	能取	油差	水火夫
冬服ニ全シ	綾織木綿或ハ葛城織	形状同ノ如シ	ヘル地	フロック製丈ケ短ク袖先及裾ヲ割カス左側胸部ニ壹個ノ隠ヲ付シ両肩垂ニ二個ノ采形水色ノ布ヲ付ス圖ノ如シ	ヘル地	黒八丈ノ帯ヲ纏ヒ之ニ金文字ヲ付ス形状同ノ如シ	圓形ニシテ頸紐ヲ付シ前庇ヲ付セス	紺羅紗			
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

外 套				服 袴	
雨 合 羽	紐 釦	製 式	地 質	製 式	地 質
				冬服ニ全シ	綾織木綿或ハ葛城織
形状圖ノ如シ	黑色丸形製五個宛二行	折襟胸二重長膝上六寸	大羅紗		

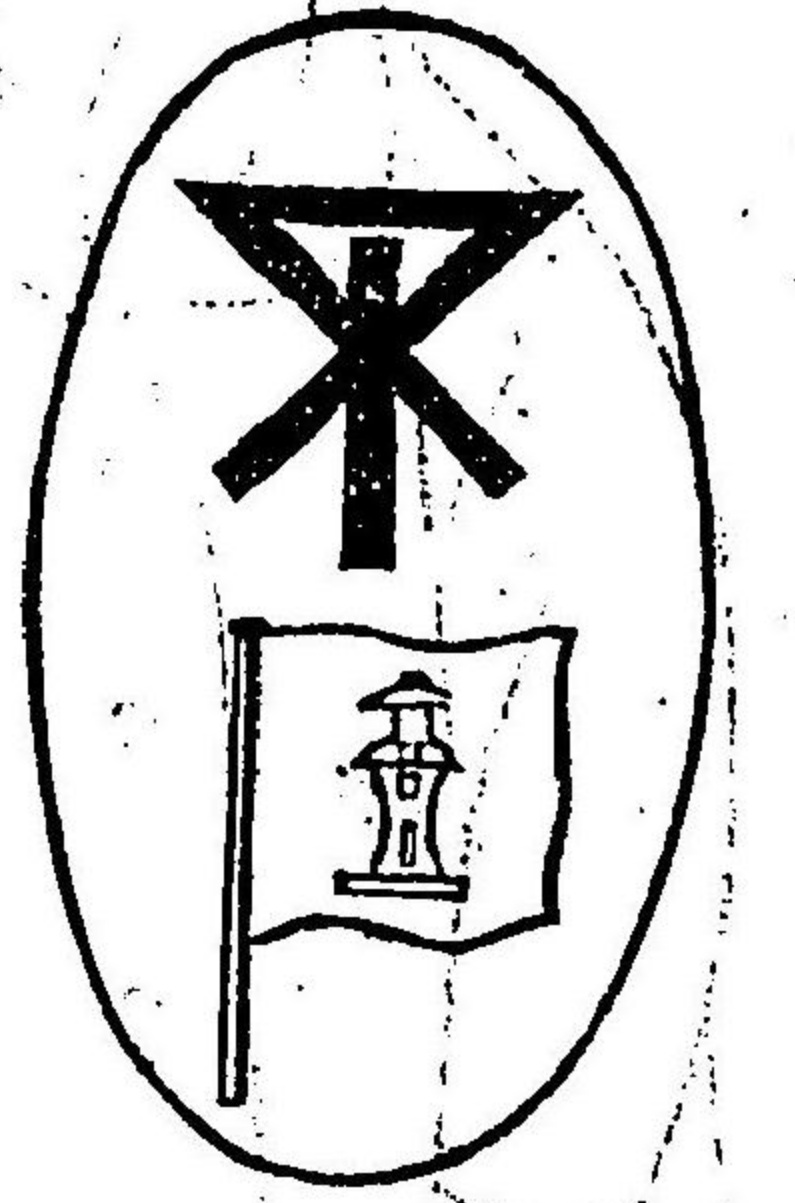
(7) 草肩長船



(8) 草肩長關機

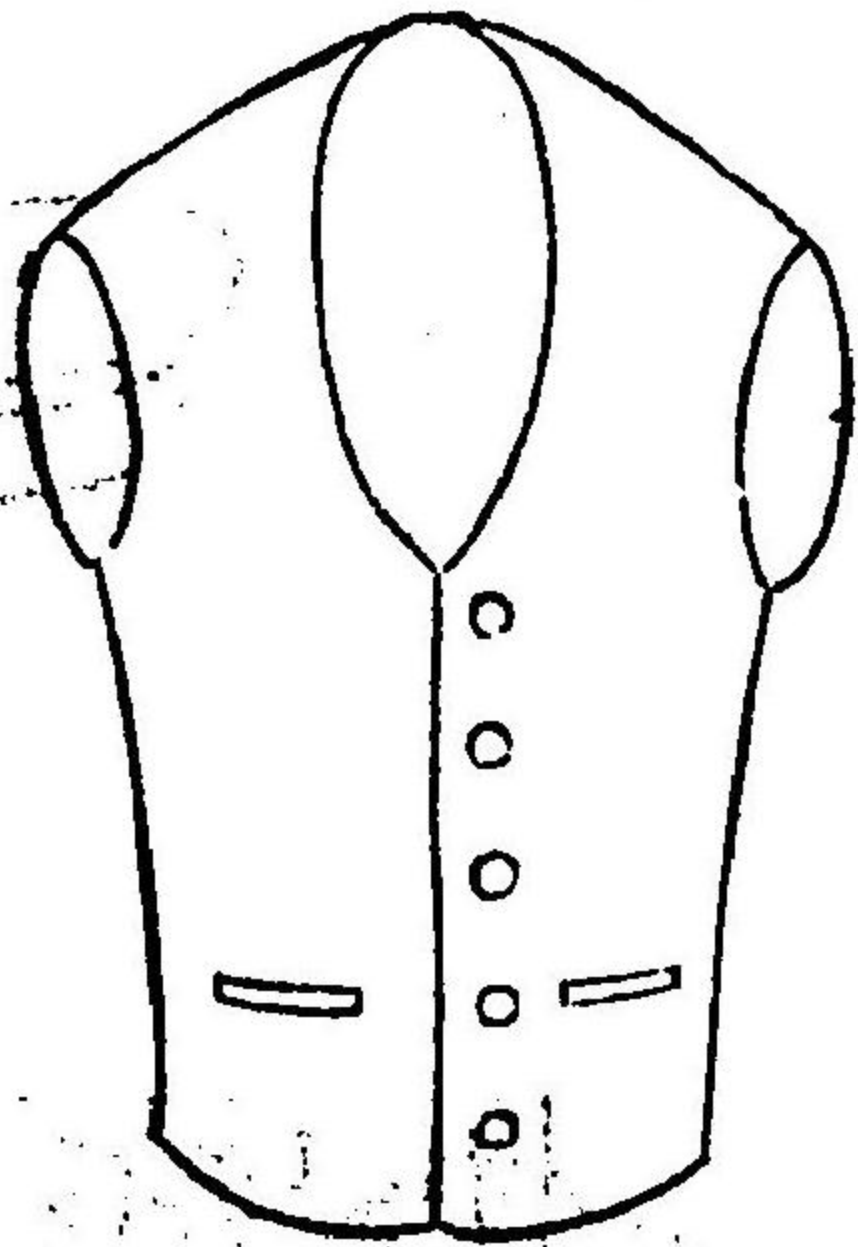


(9) 草肩手號信守監燈

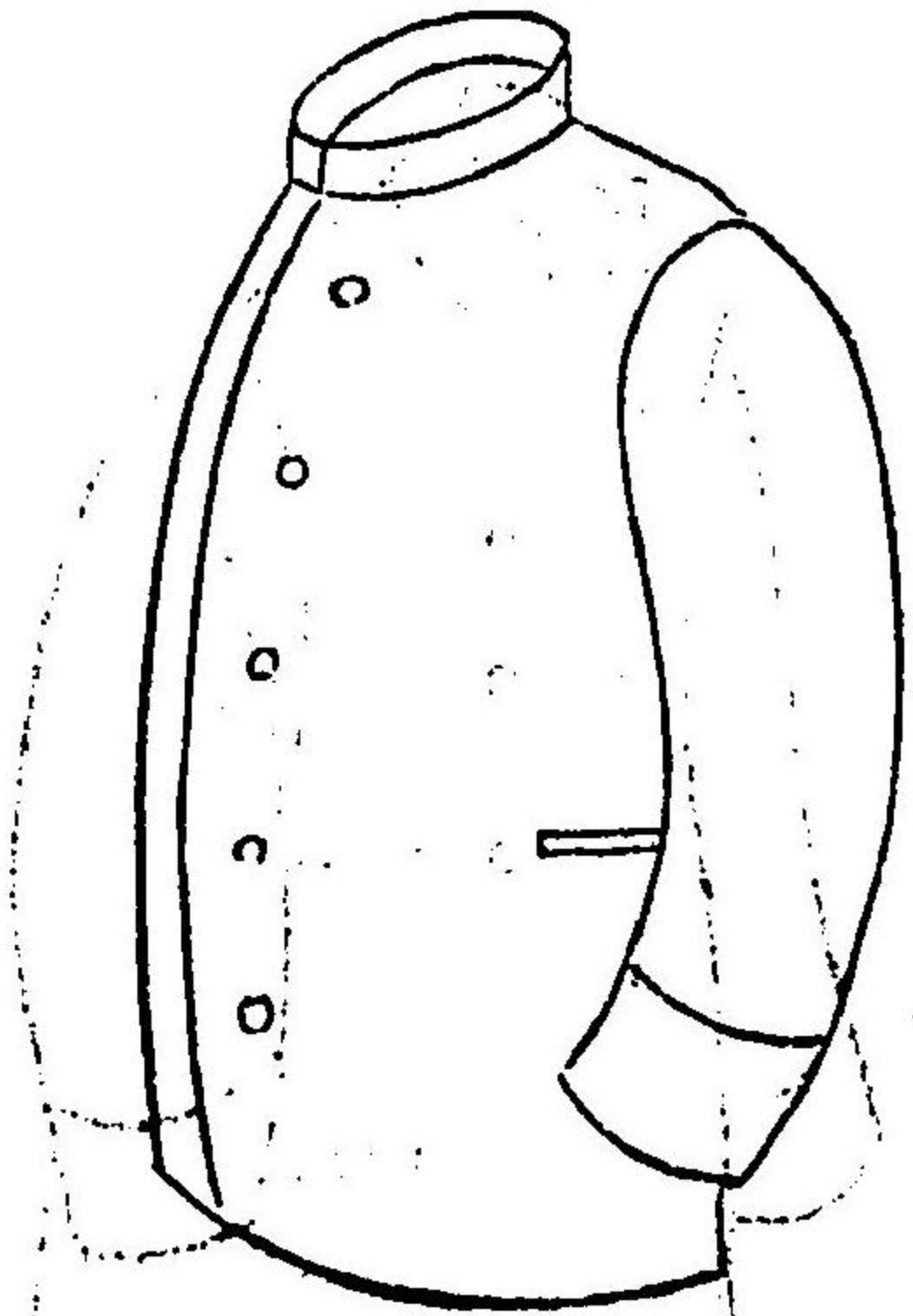


船長、機關長、上衣
燈臺監守信號手

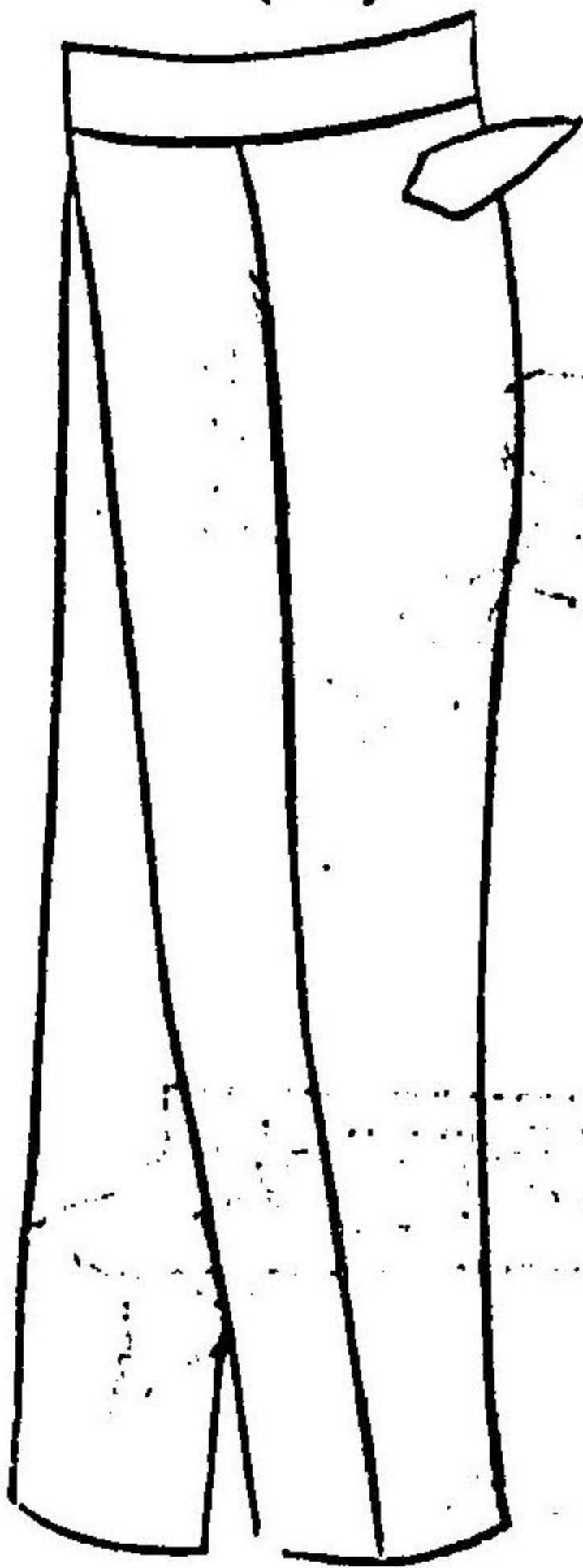
(11) 胸衣



(10)



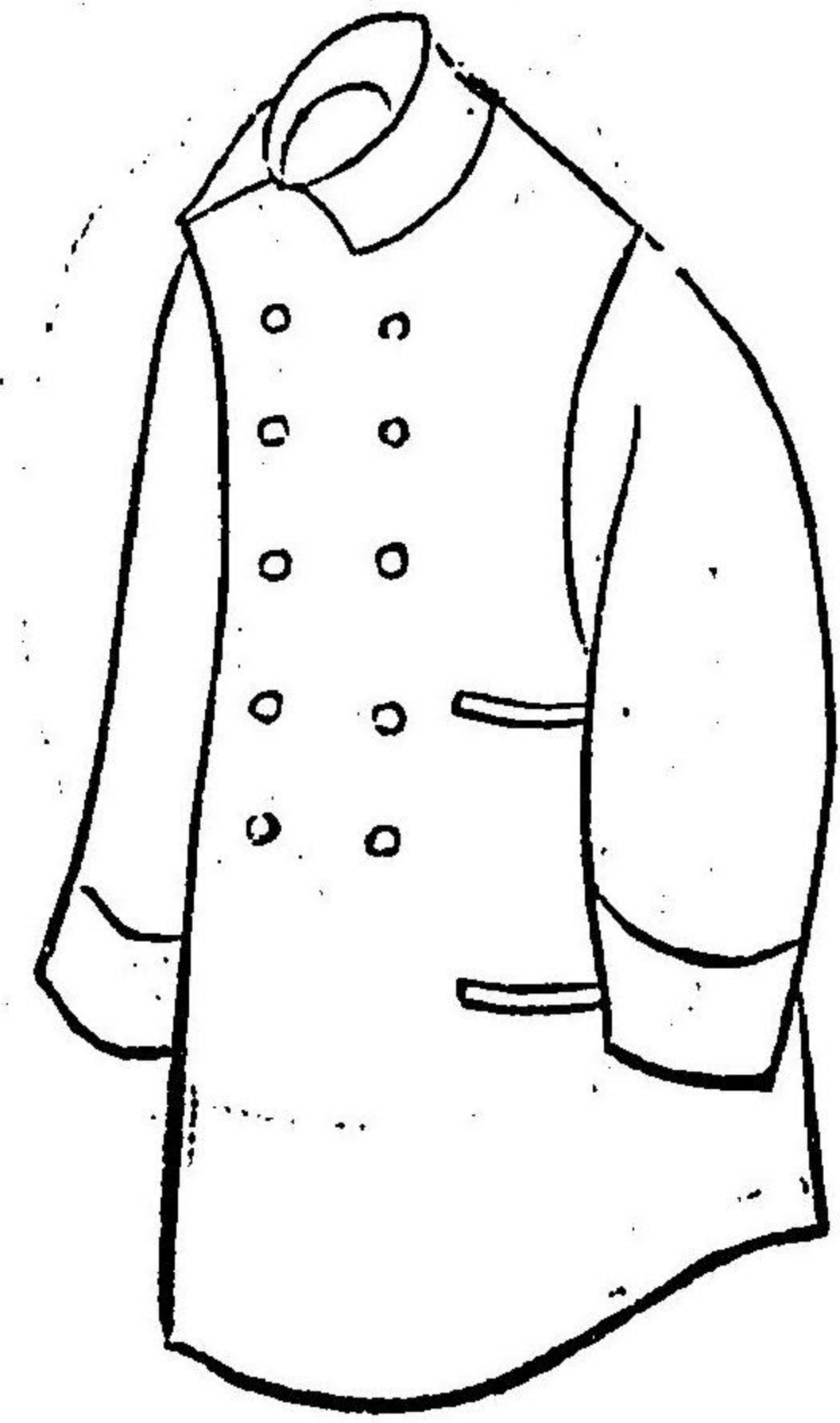
(12)



袴

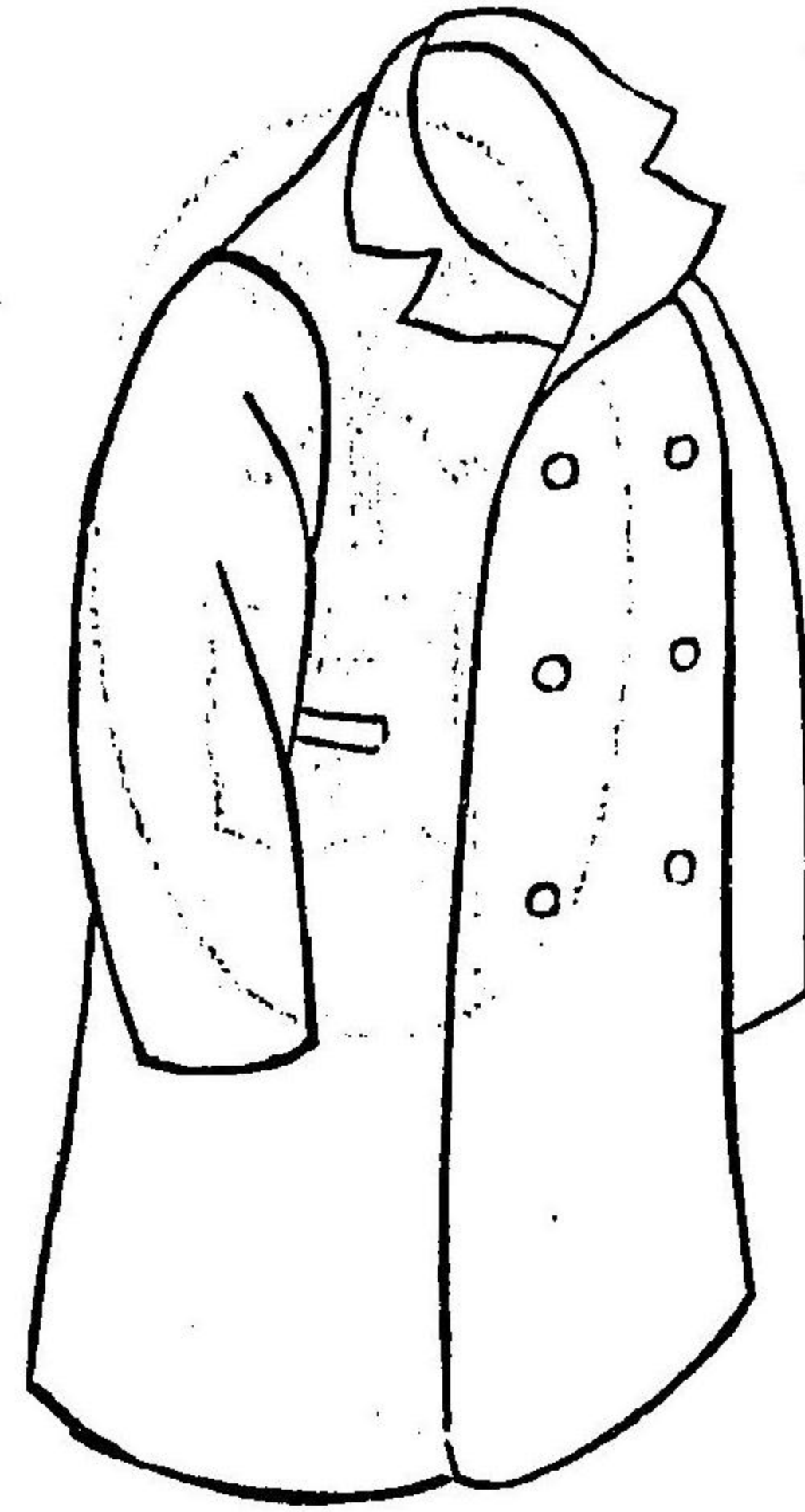
(13)

套外下以長船



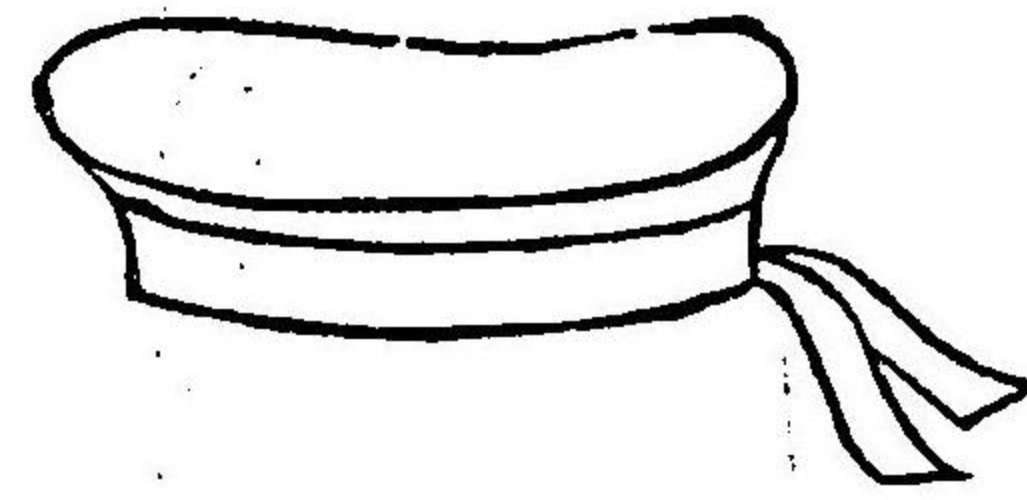
(14)

具雨不以長船

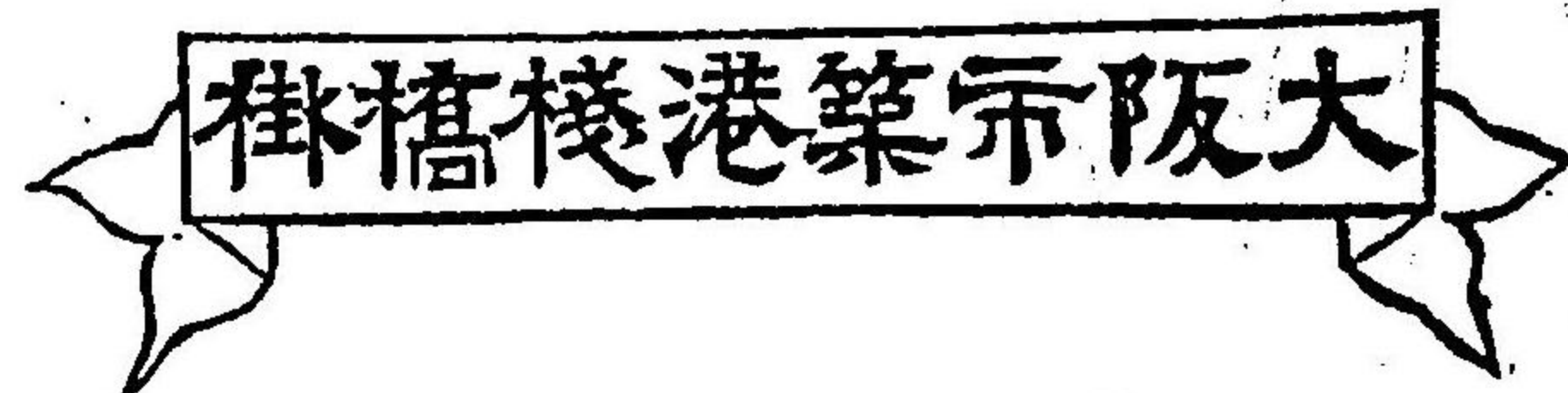


(15)

舵手以下帽



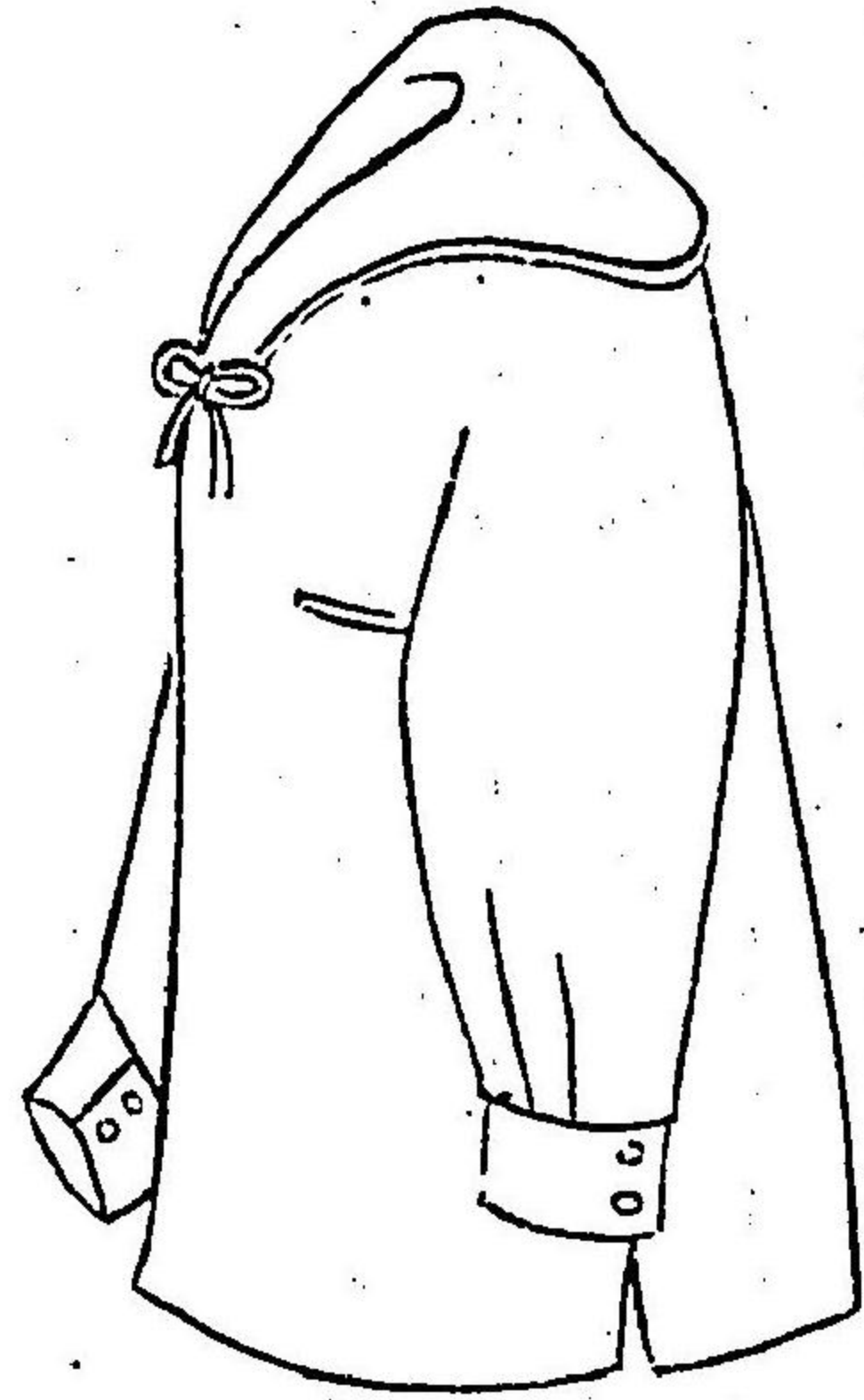
(16)



章前帽下以手舵

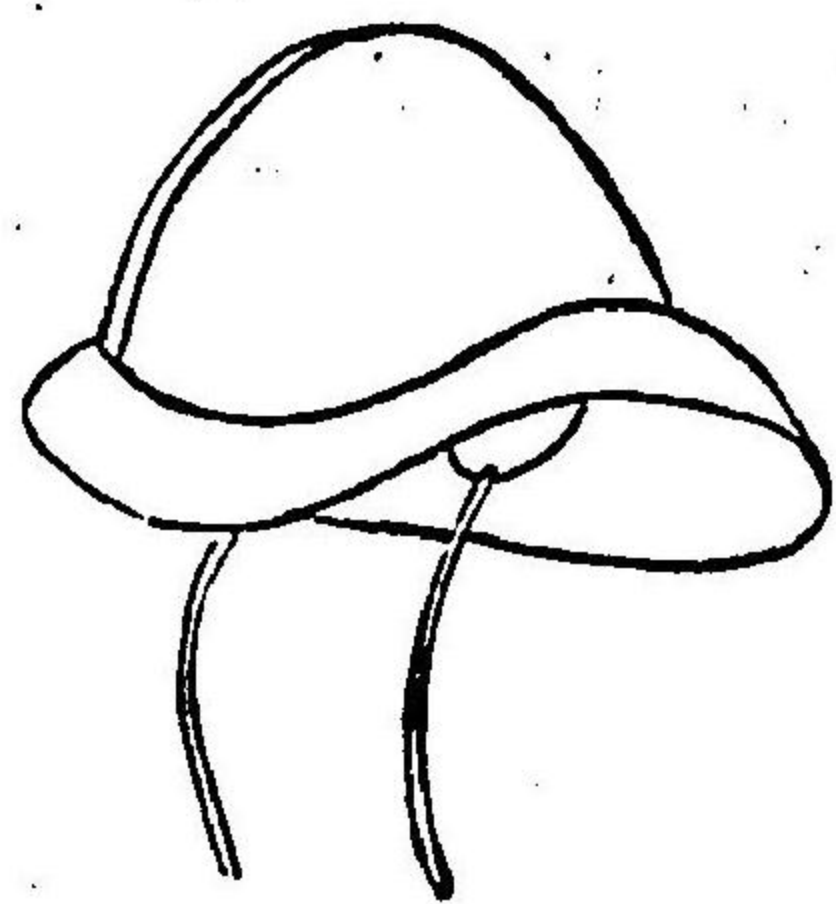
(17)

舵手、油差、水火夫
上衣



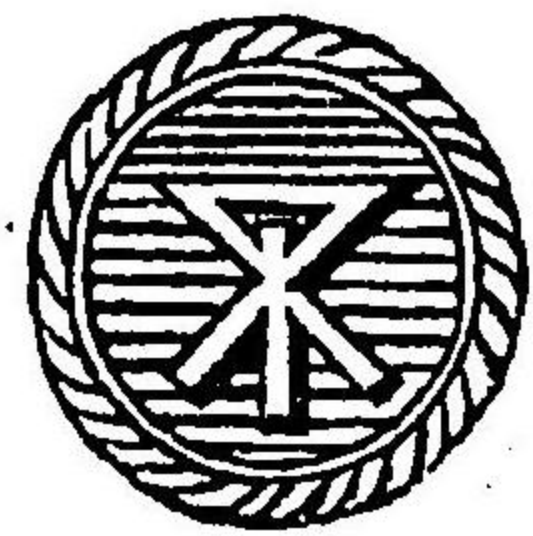
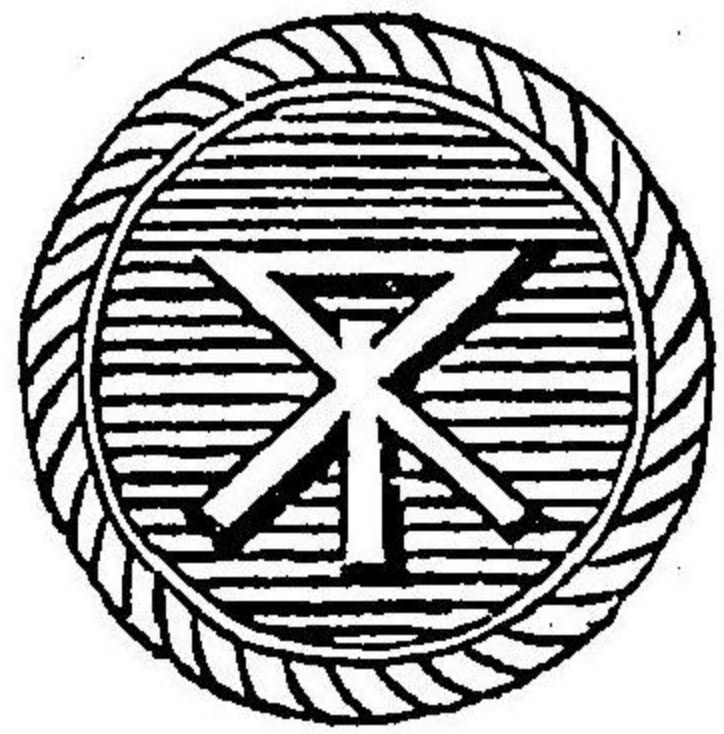
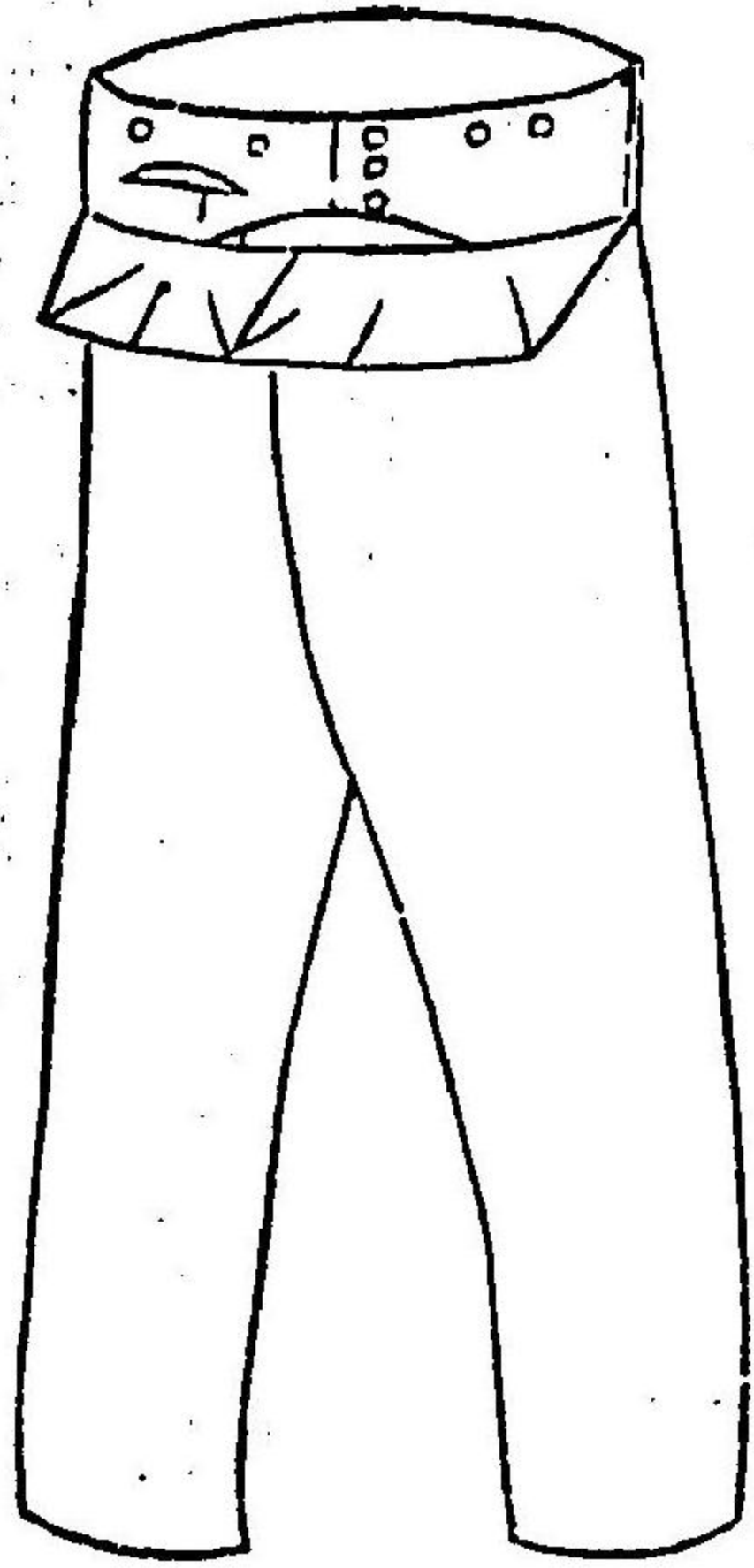
(19)

船長以下雨具



(18)

舵手、油差、水火夫



船舶乗組員被服規程

明治四十一年二月二十四日
總達 第一〇〇號

船舶乗組員被服規程別紙ノ通相定ム

(別紙)

船舶乗組員被服規程

第一條 船長、機關手、及水夫ニハ本規程ニ依リ被服ヲ貸與シ靴ハ代料ヲ以テ支給ス

第二條 被服ハ保存期間使用セシメ期間満了後ハ徽章ヲ除クノ外ハ之レヲ給與ス

保存期間ノ計算ハ貸與ノ月ハ初日ト末日トニ拘ハラズ一ケ月トシ滿期ノ月ハ末日ニ至ラサレハ一ケ月ニ算入セス

第三條 靴料ハ一ケ月金拾五錢トシ毎月下旬之レヲ支給ス但其月ノ十六日以後ニ就職シタルトキ又ハ十五日以前ニ解職若シクハ死亡シタルトキハ半額ヲ支給ス

第四條 貸與品ハ保存期間満了ニ至ラスシテ解職又ハ死亡

シタルトキハ之レヲ返納セシム

第五條 故意又ハ過失ニ依リ貸與品ヲ毀損又ハ滅失シタルトキ保存ノ殘期間ニ應ジ調製ノ原價ニ依リ其價格ヲ賠償セシム

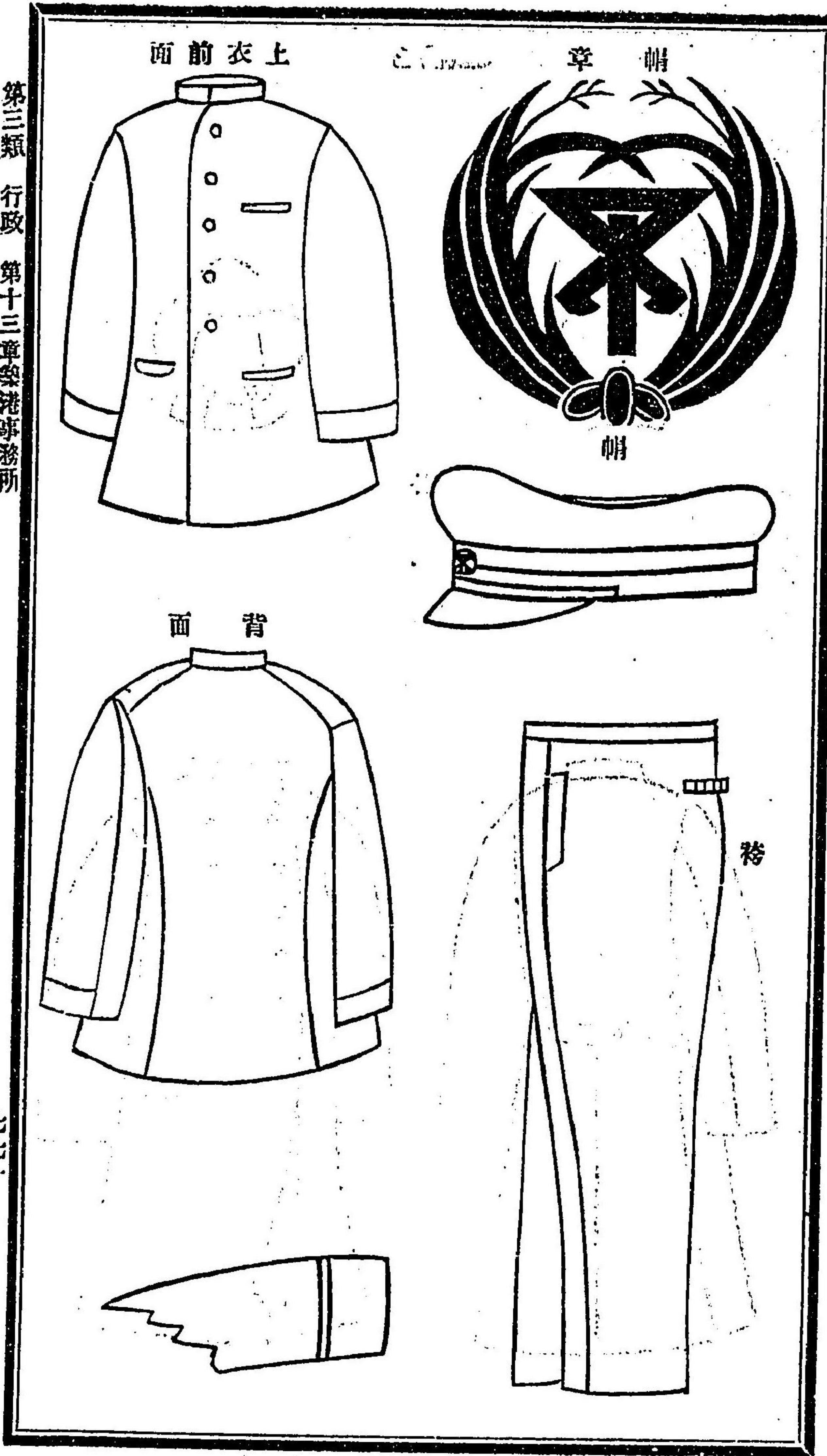
第六條 船長、機關手ノ服裝ハ別表ニ據リ水夫ハ市役所使丁ノ服裝ト全一トス但水夫ノ夏服ハ淺黄色小倉トス

第七條 貸與品ノ種類及保存期間左ノ如シ

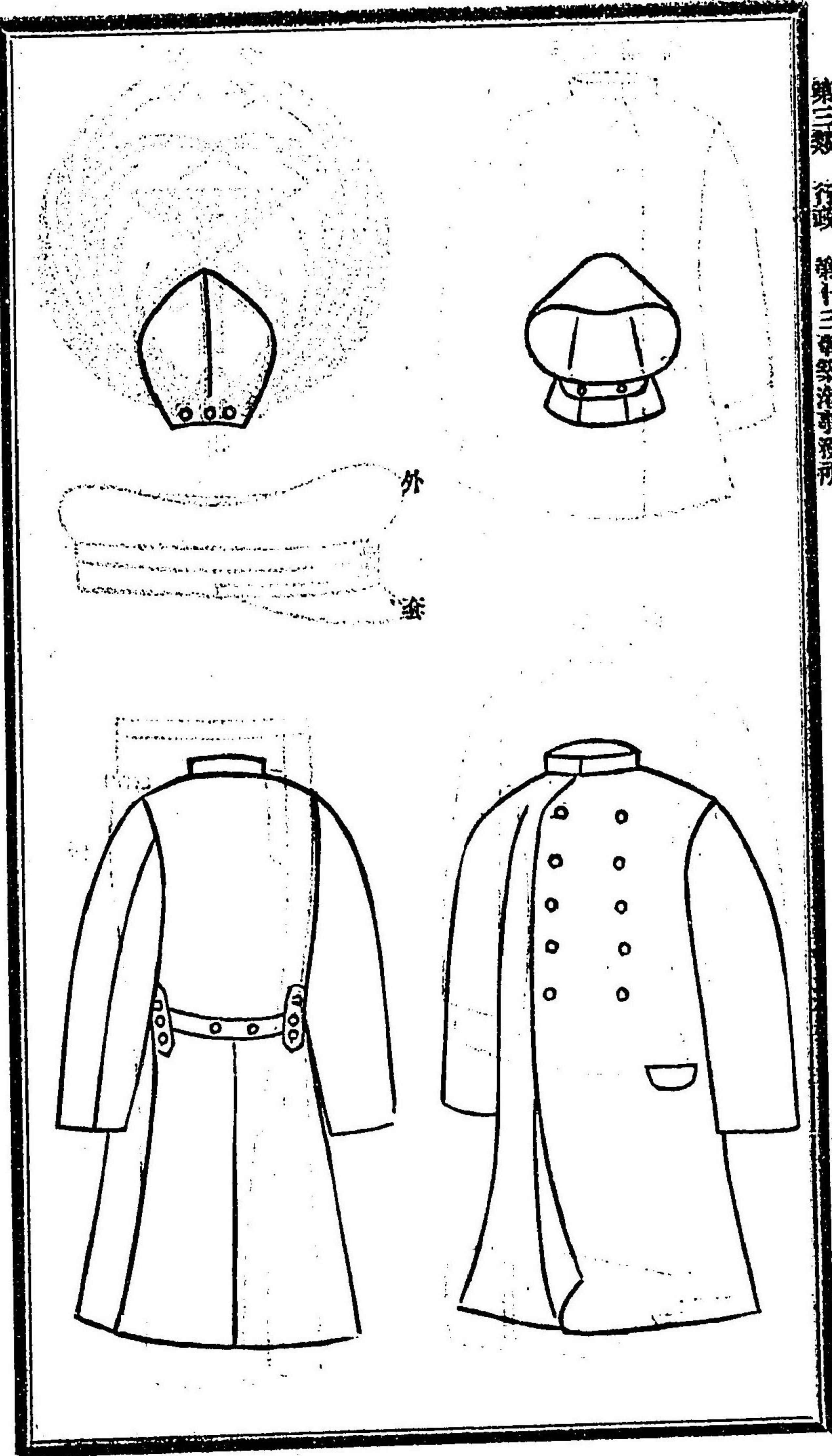
品目	個數	使用期間
帽子(日覆共)	壹個	一ケ年
冬服上下	壹着	二ケ年
夏服上下	壹着	一ケ年
外套(頭巾及雨覆共)	壹着	二ケ年
靴	壹個	無期限

別表

品目種別	船		子		冬		上		衣	
	地質	製式	徽章	卸	日覆	地質	製式	袖章	卸	
船	黒又ハ濃紺絨(裏適宜)	海軍形	前章ハ縦一寸五分巾一寸五分圓形中高ニシテ金色市ノ徽章ヲ付シ金色芦ヲ以テ抱合ス帽ノ周圍ハ中央ニ巾二分ノ金線一條ヲ付ス	金色小圓形	白布ニシテ帽ノ上部ヲ包ム	黒又ハ濃紺絨	長シヤケット	幅二分ノ金線二條ヲ付ス	銀色經五分ノモノ五個ヲ付ス	
機關手	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上一條ヲ付ス	全上	
形狀	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	如圖	



套	外		服						服		
	卸	製式	地質	製式	地質	卸	袖章	製式	地質	製式	地質
個ヲ付ス	本市徽草入金色五分ノモノ胸部十個腰部二八	立襟ニシテ肩覆及頭中ヲ付ス胸二重ニシテ后面裾ヲ割キ又腰部ニ帶緒ヲ付シ左右ニ物入一個ツヽヲ付ス	黒又ハ濃紺絨	普通	上衣ノ通	冬服ニ同シ	巾二分ノ平打白線二條ヲ付ス	冬服ニ同シ	淺黄小倉	普通	上衣ノ通
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	全上一條ヲ付ス	上	上	上	上
	如					如					
	圖					圖					



● 守警及給仕小使被服規程

大阪市築港事務所守警及給仕小使被服ハ明治三十六年十月二十二日廳達第拾號廳中巡視使丁被服規程ヲ適用ス

明治三十八年十一月二十二日 廳達第一二二號

廳中一般

● 工事其他受負人身元保證物件現在表書式

明治三十二年七月二十日 所長達第三一號

其主管ニ屬スル工事其他受負人ヨリ提出セル身元保證物件ハ每月末別紙書式ニヨリ現在表ヲ製シ翌月五日限り會計課ヘ
回付スヘシ

身元保證ニ對スル公債證書現在表

(明治何年何月末調)

種別	額	面	抵當價格	納入經由年月日	納人	備考
整理公債	、、、、	、、、、	、、、、	明治何年何月何日	何某	此公債ハ何年何月何日納ニ 係ル現金ト付換代納品ナリ
軍事公債	、、、、	、、、、	、、、、	、、、、	、、、、	
計						

右之通候也

會計課宛
年月日

何

課

身元保證ニ對スル銀行預券現在表

(明治何年何月末日調)

種別	金額	納入經由月日	納人	備考
住友銀行	、	、	、	、
第三銀行	、	、	、	、
計	、	、	、	、

右之通候也

何

課

會計課 宛

身元保證ニ對スル現金現在表

(明治何年何月何日)

金額	納入經由年月日	納人	備考
、	、	、	此現金ハ最初何程ノ所契約一部履行ニ付下戻殘餘ナリ
、	、	、	、
、	、	、	、
、	、	、	、
計	、	、	、

右之通候也

年月日

會計課 宛

何

課

● 築港費領收証書調理

順序概則

明治三十三年五月二十三日
所長 達 第九號

築港費領收証書調理順序概則別冊ノ通相定ム

各課

(別冊)

築港費領收証書調理順序

- 第一條 領收証書ハ描改塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等アリテ訂正ヲ加ヘタルトキハ本人ノ証印ヲ爲サシムヘシ
- 領收証書ニハ支出番號ヲ記載スヘシ
- 第二條 領收証書ノ文字ハ鉛筆其他總テ字体ノ消散シ易キモノヲ用非シムルコトヲ得ス
- 第三條 會社組合等ノ名ヲ以テスル領收証書ハ其代表者ノ署名捺印ヲ爲サシムルモノトス

第四條 過年度ニ屬スル仕拂ハ其事山ヲ領收証書ニ付記スヘシ

第五條 俸給日給ノ類ハ其領收証書ニ職名月日等ヲ記載セシメ任免黜陟其他欠勤等ノ事故ニ依リ給額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由及算出ノ基ク所ヲ詳記セシムヘシ

第六條 旅費ノ領收証書若クハ精算証書ニハ其用務及旅行ノ日數年月日往復里程宿泊場所等ヲ詳記スヘシ

迂路ヲ經テ旅行セシモノ又ハ病氣滞在其他道路障害ノ爲メ滞在シタルトキハ特ニ所長ノ檢印ヲ受クヘシ

第七條 職工人夫及臨時船員舟車馬等ノ備入費若クハ請負金ノ領收証書ニハ其備入者クハ請負ノ事由月日金額ヲ詳記セシムヘシ

第八條 宿直賄料ノ領收証書ニハ其月日度數及一直ノ料金を

ナ記載スヘシ

第九條 送金手数料ハ其金額月日着地及料金ノ算出方廣告料ハ其廣告事件廣告日數行數及料金ノ割合ヲ領收証書ニ記載セシムヘシ

第十條 物件ノ購買ニ係ル領收証書ニハ每品ノ種類個數單價ヲ掲ク數個ニ付價格ヲ定メタルモノハ其個數ニ對スル價格ヲ付記セシムヘシ

第十一條 物件ノ借上料ハ其領收証書ニ借入物件ノ名稱所要ノ事由借上中ノ月日及料金算出方ヲ記載セシムヘシ

第十二條 電信及電話料ノ領收証書ニハ月日并ニ發信ノ用件字數料金等ヲ記載シタル主務課ノ證明書ヲ添付スヘシ出張先ニ於テ臨時電信料及郵便稅ノ繰替仕拂ヲ爲シタルモノ、領收書ニハ本人ノ仕拂證明書ヲ添付スヘシ

第十三條 仕拂ノ事項ニ關シ前各條ニ依リ難キモノハ適宜ノ方法ヲ以テ其必要ノ事由計算ノ基ク所ヲ示シ事ノ復雜ニ涉ルモノハ明細内證書ヲ添付セシムルモ妨ナシ

領收証書中所用ノ目的其他正當受取人ニ於テ記載シ能ハサルモノ、如キハ其必要ノ事由ヲ主任者ニ於テ朱記認印

スヘシ

第十四條 領收証書ノ編纂ハ毎月各自ニ區別シ其金員枚數ヲ表記シ之ヲ一項毎ニ合綴シ其合計ヲ掲記スヘシ但假渡金ノ領收証書ハ精算証書ト共ニ其精算ノ月ニ編入シ表記ニ其精算ノ金員ヲ朱記スルモノトス

第十五條 證憑書樣式ハ第一號乃至第二十三號ニ依ルヘシト雖モ其他樣式ヲ示定セルモノハ之ニ準據調理スヘシ(書式畧ス)

船隻海難ニ遭遇ノ際

救援ノ件

明治三十三年四月廿五日
所長 達 第六號

各 漁 船 々 長

當所用船隻ニシテ海難ニ遭遇スルモノアルトキハ互ニ之ヲ救援スヘキ儀原ヨリ勿論ノ事ニシテ就中自進機ヲ有スルモノハ之ヲ有セサルモノ、保護ニ任スヘキハ當然ノ職責ナリトス依テ各漁船ニ船長タルモノハ海上不穩ノ際浮島、金剛、朝日風、朝日瀉等ノ器械浮艇、早潮、前波、鎮瀛等諸舟船カ風

波ノ爲メ危險ニ瀕スカ如キ場合又ハ如何ナル場合ニ於テモ諸船隻ノ船体ニ異狀ヲ生シルタモノアルトキハ自己乗組船カ平素任務所屬ノ如何ヲ論セス所員ノ指示スル處ニ從ヒ速救接ニ赴キ安全ノ位置ニ曳キ來ルヘシ
但シ本文ノ場合ニ於テ所員ノ指示ナキ時ト雖モ海難船隻ヲ發見シタルトキハ其最モ危險ナリト認ムルモノヨリ順次救援ノ手段ヲ取ルヘシ

天氣豫報及警報信號標式

並揭示心得 明治三十三年七月三十一日
所長 達 第一九號

各 課

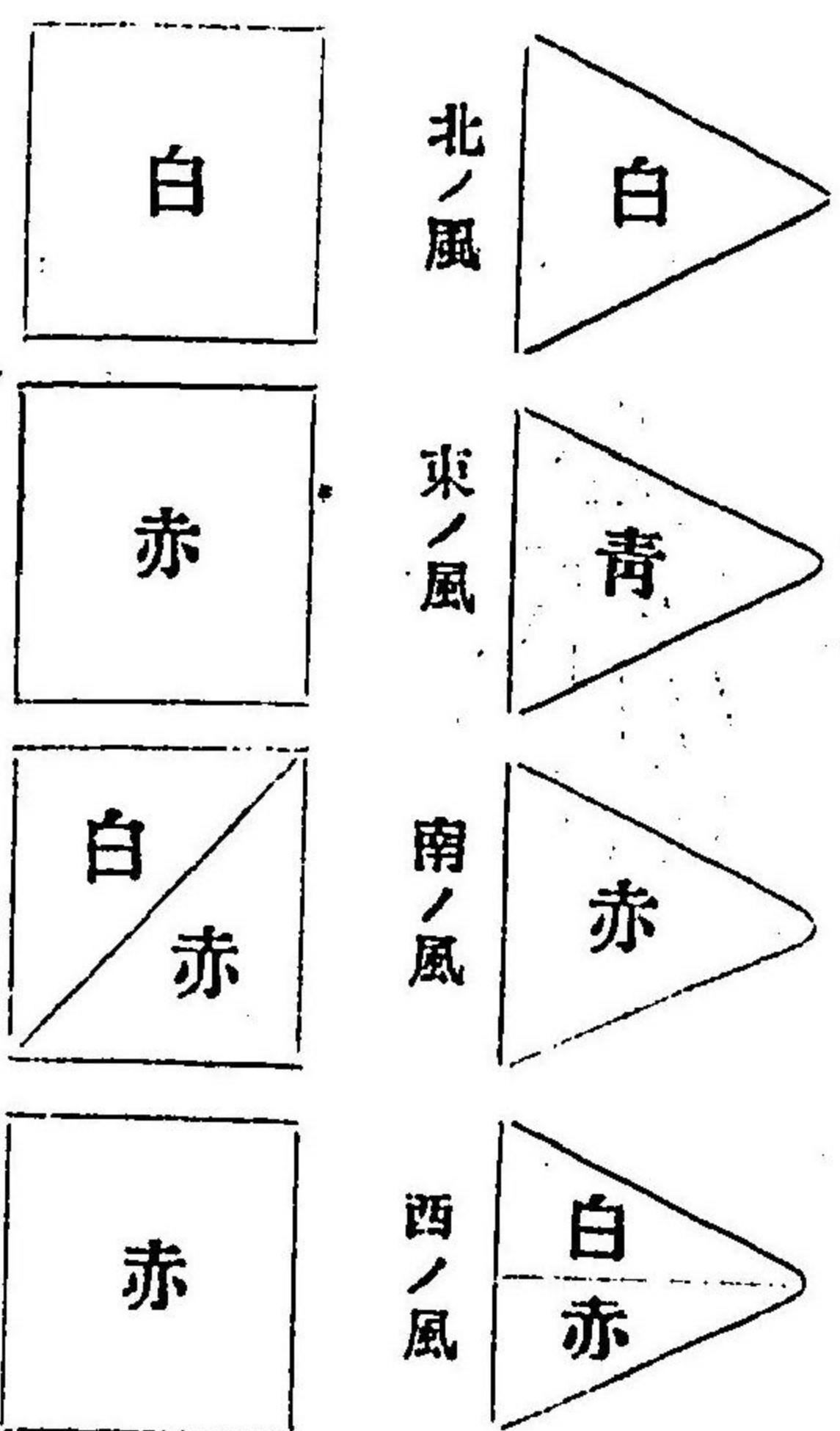
天氣豫報及警報信號標式並ニ揭示心得別紙之通相定メ八月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別紙)

天氣豫報及警報信號標式並ニ揭示心得

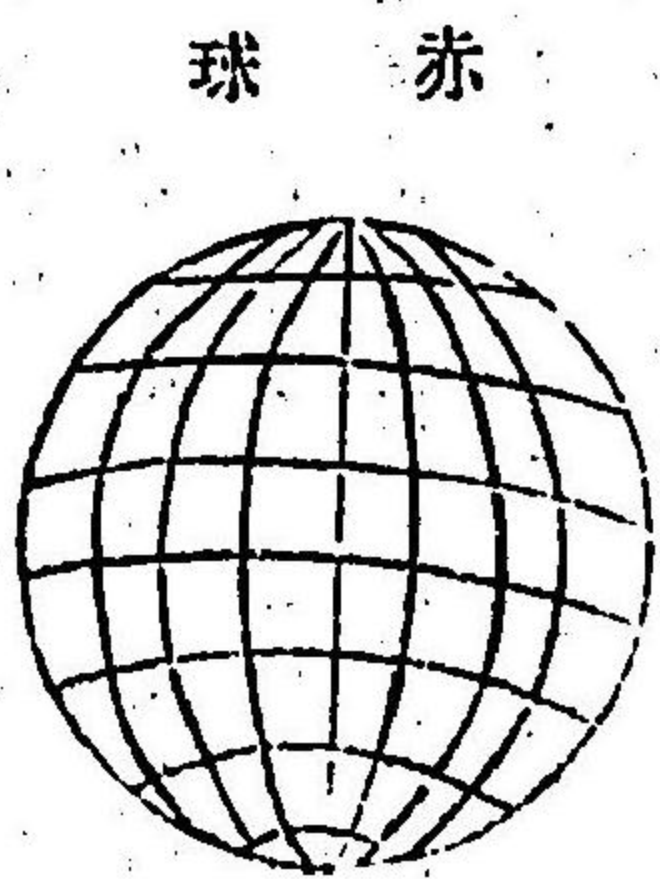
一 工事及船舶ノ爲メ天氣豫報及警報信號標式事務所構内西方堤防上ニ揭示ス

一 天氣豫報信號標式 毎日日出ニ掲揚シ日没ニ卸下シ夜間ハ別ニ信號標ヲ掲ケス
一 天氣豫報ノ信號ハ三角旗及方旗ノ二種ヲ以テシ三角旗ハ風向、方旗ハ天氣ヲ豫報ス其分類左ノ如シ



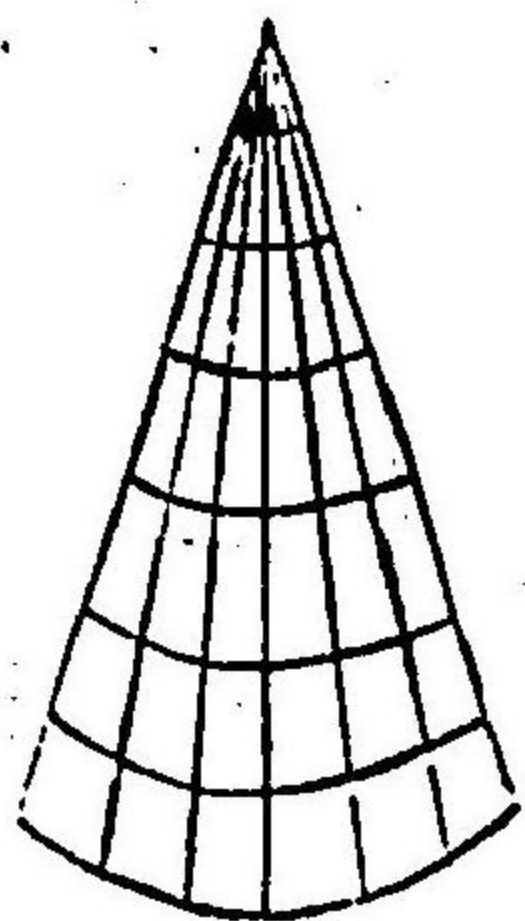
一 天氣豫報信號旗揭示方法左ノ如シ
一 「北又ハ東ノ風」及「北又ハ西ノ風」ハ「北ノ風」ノ信號旗ヲ用フ

- 一「南又ハ東ノ風」及「南又ハ西ノ風」ハ「南ノ風」ノ信號旗ヲ用フ
- 一「風ノ向定ラス」ハ信號旗ヲ掲ケス
- 一「霧レル」ハ晴レノ信號ヲ用フ
- 一「天氣變リ易ク雨模様アリ」ハ「天氣變リ易ク雨又ハ雪模様アリ」ハ方旗二個ヲ連掲ス但雨雪旗ヲ下トス
- 一「概子曇リ但シ雨模様アリ」ハ「概子曇リ但シ雨又ハ雪模様アリ」ハ方旗二個ヲ連掲ス但雨雪旗ヲ下トス
- 一「警報信號標ハ赤球又ハ赤圓錐ノ二種トシ夜間ハ紅燈一個ヲ以テ赤球ニ換エ紅燈上下二個ヲ以テ赤圓錐ニ換フ

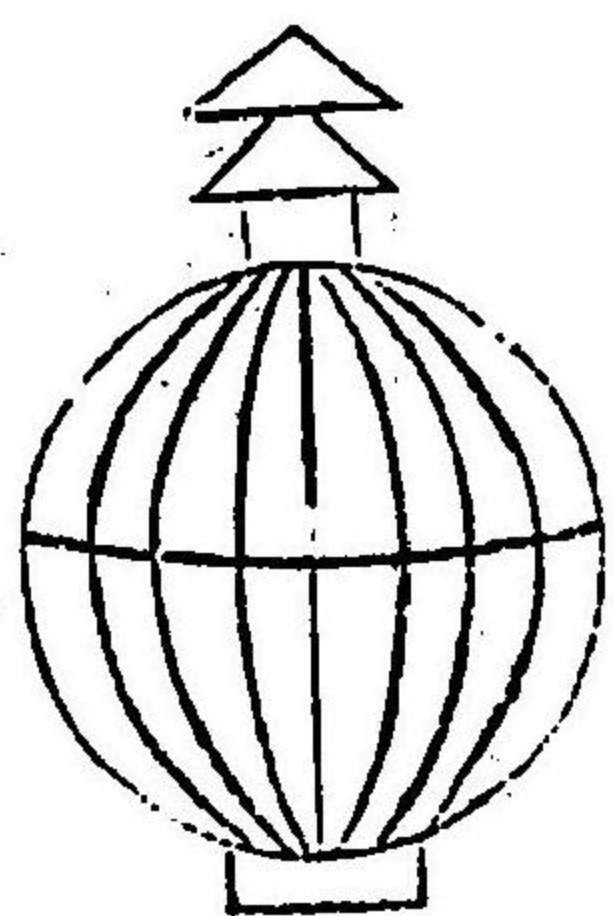


赤球

赤圓錐



紅燈



一赤球ハ海上不穩又ハ海陸ニ風雨ノ虞レアルヲ示シ赤圓錐ハ暴風雨ノ虞レアルヲ示ス

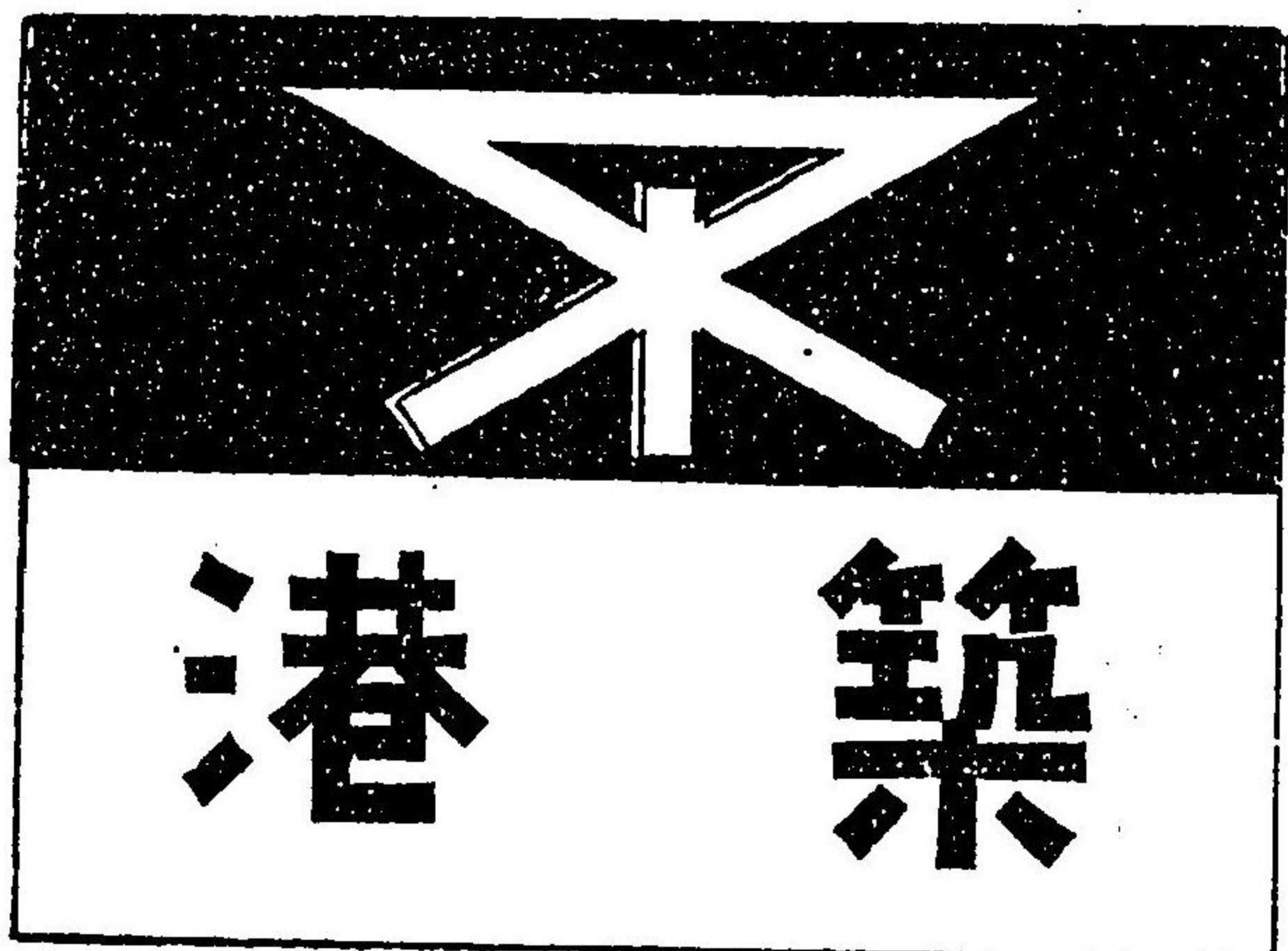
●請負人ノ運搬船ニ用

フル旗章

明治三十一年二月十八日
所長達第一九號

今般大阪府令第十五號ヲ以テ當事務所ノ所有ニ係ル船舶並ニ當所使用中ノ船舶ニ對シ入津料ヲ免除セラレタルニ付テハ自今石材其他運搬用ノ船舶ニハ請負人ノ費用ヲ以テ別紙雛形ノ旗章ヲ調製樹立セシムヘシ但請負人ニ於テ調製シタル旗章ノ員數ハ速ニ届出シムヘシ

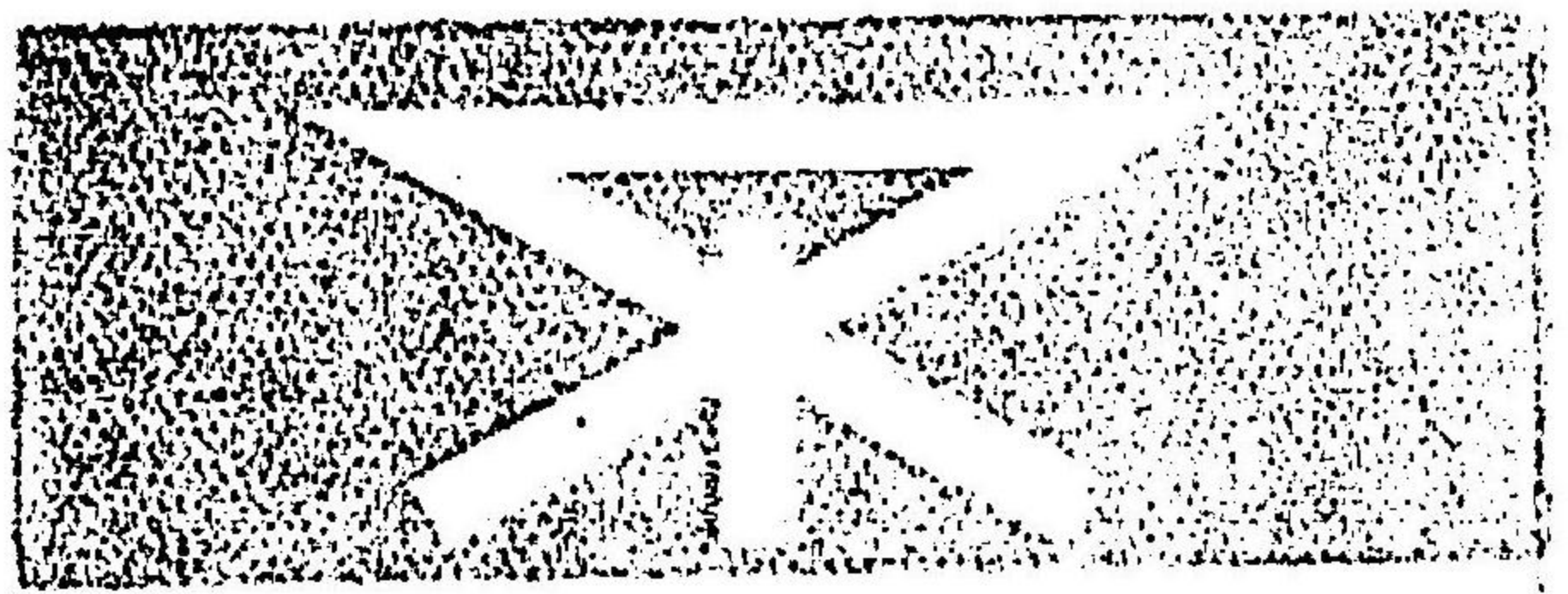
船舶旗章



貳尺參寸

尺

（別紙）
 市ノ徽章
 明治二十七年四月十二日
 大阪市告示參第八號

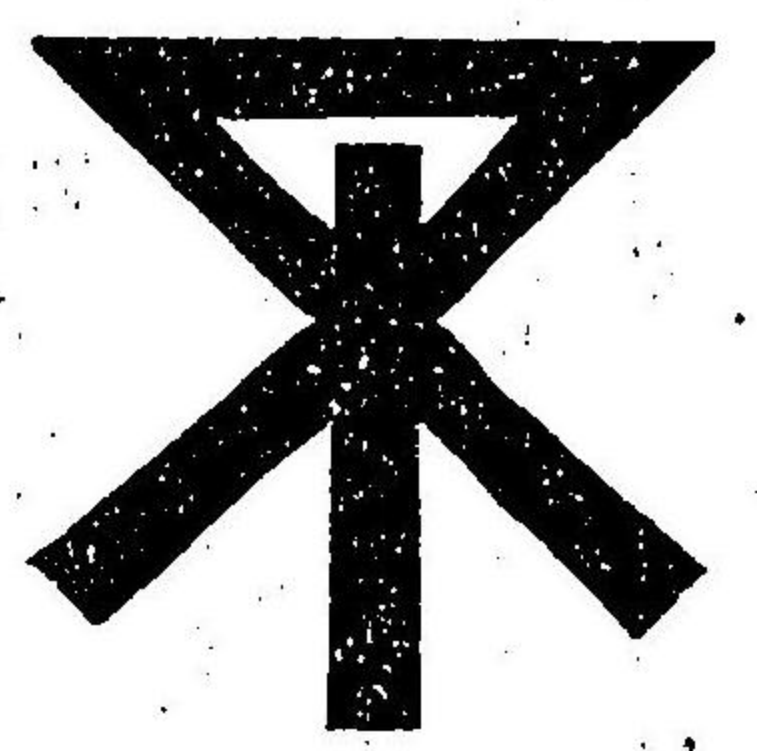


市ノ徽章

◎第四類 雜則

●市ノ徽章

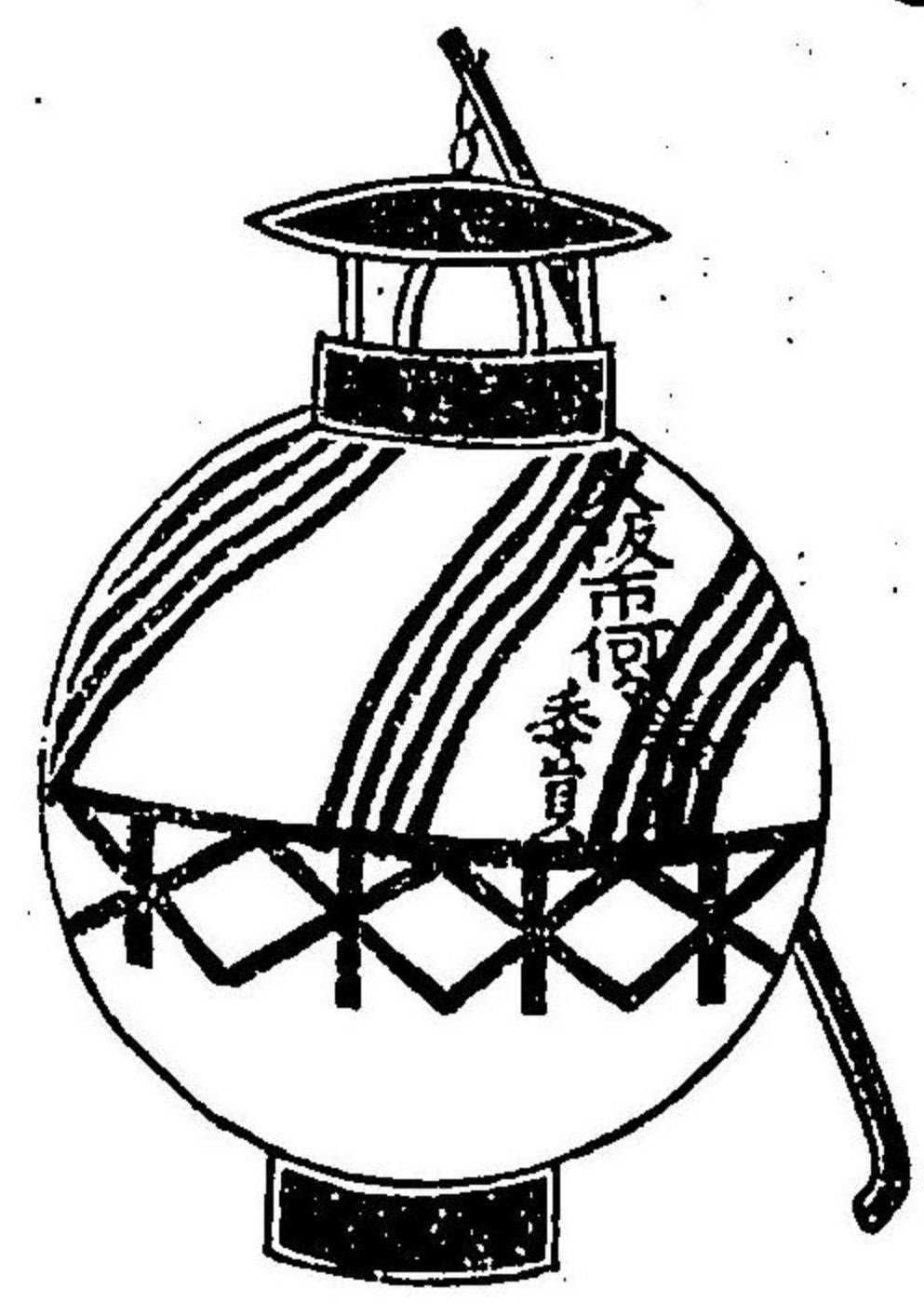
明治二十七年四月十二日
 大阪市告示參第八號
 本市會ノ議決ヲ經テ大阪市徽章左ノ通相定ム



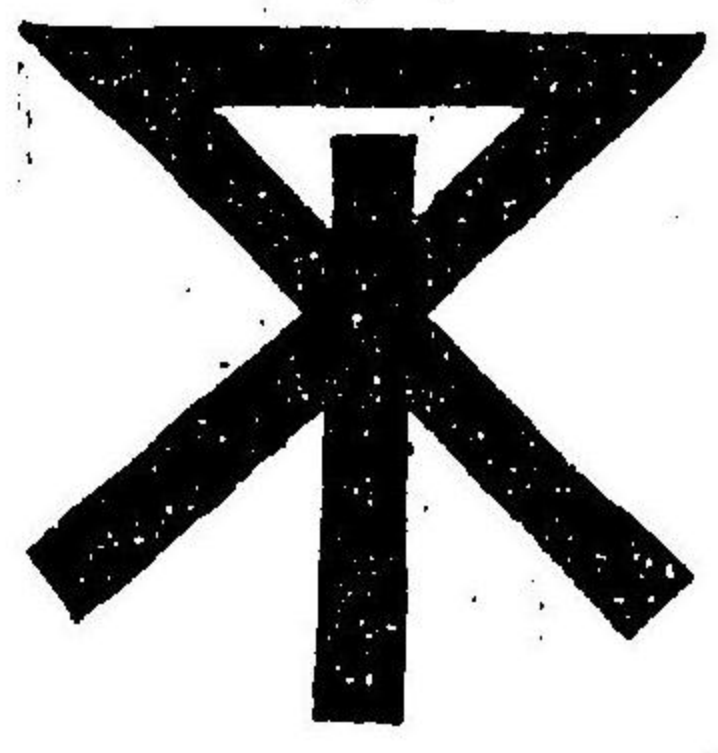
●名譽職員非常用徽章及提燈

市參事會員市會議員及市制第六十一條ニ據リ選出スル委員ノ徽章及提燈ハ別紙雜形ノ通相定ム
 但徽章及提燈ハ各所屬經費ニ於テ調製シ各自ヘ交付スル

モノトス
 (別紙)



畫間使用非常用徽章銀製



第四類 雜則

名譽職員辭職ノ効力

明治三十八年六月二十九日
市參事會議決

解釋ノ件
名譽職員ノ辭職ハ其届出ヲ受ケタル日ヨリ効力ヲ生スルモノト決定ス

寄付物收受手續

明治二十三年五月二十六日
市會議決

市ノ事業ニ對シ金品ヲ寄附セントスル者アル時其金額及物件見積金額百圓未満ノモノハ市參事會之ヲ許シ其許可スヘキモノハ寄付者指定ノ事業ニ充ツルモノトス

市收入役身元保証金

明治三十一年九月二十九日
市會議決

徵收方
本市收入役身元保証金ハ金千圓トシ通貨又ハ之ニ相當スヘキ有價証券ヲ提供セシムルモノトス

但有價証券ノ種類及價格ハ市參事會之ヲ定ム

電氣鐵道車掌及運轉手身元保証金納附方

明治三十八年三月八日
市參事會議決

自今電氣鐵道車掌及運轉手ニハ其採用前各自身元保証金拾圓ヲ納付セシムルモノトス

但現在ノ車掌及運轉手並ニ見習ニハ右金額ニ達スルマテ毎月金壹圓宛ヲ納付セシムルモノトス

車掌及運轉手ヨリ差出スヘキ誓約書案ハ別紙ノ通り改正ス

(別紙)

收入
印紙

誓約書

自分儀御市電氣鐵道 見習拜命シタルニ付保證人ト共ニ左ノ誓約ヲ爲ス但 命セラレタル後ト雖モ

本誓約ノ義務ヲ負フモノトス

第一條 就職ノ日ヨリ滿貳ケ年間ハ勤續スル義務ヲ負フモノトス

過剩ヲ生シタルトキハ過剩額ニ對スル切符ノ渡渡ト看做シ計算スルモノトス

第六條 勤務中乘客其他ノ者ニ對シ不法行爲ニ因リ損害ヲ生セシメタルトキハ自分ニ於テ直チニ之ヲ賠償スルモノトス

前項ノ賠償ハ身元保証金又ハ給料其他ノ諸給與ヲ以テ御市ニ於テ之ニ充當セラル、モ異議ヲ申立テサルモノトス

第七條 第一條第一項ノ義務ヲ履行セス又ハ自己ノ不都合ニ因リテ解職セラレタルトキハ身元保証金ヲ沒收セラル、モ異議ヲ申立テサルモノトス

第八條 在職中此誓約上ノ義務不履行ニ由リ保證金ノ處分ノ結果之ニ不足ヲ生シタルトキハ五日以内ニ既定ノ額ニ達スルマテ追納スルモノトス

第九條 保證人ハ本人ノ財産上ノ義務ニ付連帶ノ責任ヲ負フモノトス

第十條 保證人死亡シ又ハ大阪市内ニ住所ヲ轉シタルトキハ本人ハ其事由ヲ知リタル日ヨリ五日以内ニ大阪市内ニ住所ヲ有スル保證人ヲ立テ御市ノ承認ヲ受クルモノトス

前項ノ期間内タルト否トテ問ハス御市ノ規則ヲ遵守セス其他不都合ノ所爲アリタルトキ又ハ御市ノ都合ニ依リ何時解職セラル、モ異議ヲ申立テサルモノトス

第二條 前條第一項ノ期間經過後ニ於テ解職セントスルトキハ一ケ月前ニ其申出ヲ爲スヘキモノトス

第三條 正當ノ事由ニ因ラスシテ一週間以上欠勤シタルトキハ直チニ解職セラル、モ異議ナキハ勿論御市ニ損害ヲ生セシメタルトキハ身元保証金又ハ給料其他ノ諸給與ヲ以テ賠償金ニ充當セラル、モ異議ヲ申立テサルモノトス

第四條 自己ノ保管ニ屬スル被服其他ノ物品ハ充分ノ注意ヲ以テ取扱フヘク若シ之ヲ毀損滅失其他ノ事由ニ因リテ返還ノ時期ニ於テ原物ヲ返納スルコト能ハサルトキハ相當代價ヲ辨償スヘキモノトス

自己ノ保管ニ屬セサル器具機械ト雖モ故意又ハ過失ニ因リテ毀損若クハ滅失シタルトキハ亦前項ノ義務ヲ負フモノトス

第五條 車掌又ハ出札係勤務中發賣切符ニ對スル乘車賃金額ニ不足ヲ生シタルトキハ直チニ之ヲ辨償スヘキハ勿論

前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ直チニ解職セラレ又ハ保
證金ヲ沒收セラレ、モ異議ヲ申立テサルモノトス

第十一條 本人カ此誓約ニ基ク財産上ノ義務ヲ履行セサル
トキハ保證人先ツ其責ニ任シ最後ニ保證金ヲ以テ充當セ
ラルヘキモノトス

右誓約ヲ證スル爲各自左ニ署名捺印ス

明治 年 月 日

本人

保證人

保證人

大阪市參事會

大阪市長 殿

●電氣鐵道車掌運轉手身元保

證金分納方 明治四十年三月二十八日
市參事會 決定

電氣鐵道車掌運轉手身元保證金ハ採用ノ際金五圓ヲ納付シ
殘額五圓ハ毎月金壹圓宛五回ニ分納スルモノトス

但皆納前不都合ナル行爲ニヨリ解雇スル場合ニハ本人又
ハ保證人ヨリ一時ニ完納セシムルモノトス

●遺失物取扱方

明治三十七年七月二十五日
庶乙 第一八五號

區役所構内ニ於ケル遺失物ニシテ民法第百四拾條ニヨリ
其所有權ヲ取得シタルトキ通貨ナルトキハ直チニ之ヲ本市
雜收入ニ收入シ通貨以外ノ物件ナルトキハ賣却ノ上全權御
取扱相成度但シ該物件ニシテ遺失物法第三條ノ費用ヲ償フ
ニ足ラズト認メラル、場合ハ全法第八條ニ依リ豫メ其權利
ヲ拋棄相成度依命此段及通牒候也

區長 宛

總務課長

●遺失物取扱方

明治四十一年四月八日
庶乙 第一〇四號

本月十六日附北庶第一一五號ヲ以テ御伺出相成候區役所構

内ニ於テ拾得シタル遺失物ハ民法第百四十條ニ依リ本市
其所有權ヲ取得シタル場合ニ於テ現ニ物件ヲ拾得シタル者
其報勞金ヲ請求スル權利無之候ハ共善行獎勵ノ爲メ相當ノ
報勞金ヲ贈與可致候條其都度拾得者ノ住所姓名及價格等詳
具シ御申請相成度依命此段及通牒候也

北區長 宛

總務課長

◎附 錄

●府知事ヨリ市長、區長へ

委任條款

明治三十四年四月二十五日
大阪府令第六一號

市長委任條款

- 第一 罹災救助基金法及同基金管理並支出規則ニ依リ給與品ヲ罹災者ニ給與シ罹災者ノ爲メニ必要ナル焚出ヲ爲シ又ハ避難所ヲ設ケ若ハ一時施設ニ關スル事
- 第二 地盤ノ官有ニ屬スル滯上使用處分ニ關スル事
- 第三 市立學校幼稚園職員ニ出張及除服ヲ命シ並市立學校(小學校ヲ除ク)職員ノ轉地療養父母看護若クハ墓參ニ關スル事但委任待遇者ヲ除ク(明治三十四年十二月大府令第三百三二號改正)
- 第四 氏ノ復舊及名ノ改稱ニ關スル事
- 第五 士族ヲ平民籍へ編入ニ關スル事
- 第六 府社以下神社遷宮ニ關スル事
- 第七 府社以下神社及寺院他管ニ關セサル開帳ニ關スル事

第八 府社以下神社及寺院並佛堂修繕ニ關スル事

第九 社司社掌ノ旅行、病氣、忌引及除服ニ關スル事

第十 (明治三十七年十一月府令八十九號削除)

第十一 府社以下神社及寺院並佛堂境内伐採木竹代金ヲ修繕費又ハ其境内苗木植繼費ニ支出ニ關スル事

第十二 寺院及佛堂法會ニ關スル事

第十三 府社以下神社及寺院什物取締ニ關スル事

區長委任條款

- 第一 明治四十年遞信省令第二十四號及同省訓令第一號ニ依リ船鑑札下附ニ關スル事但シ漁船ヲ除ク(明治四十年府令第四七號改正)
- 第二 貸座敷及娼妓賦金賦課徵收ニ關スル事
- 第三 貸座敷及娼妓賦金滯納者處分ニ關スル事
- 第四 棄兒迷子等處分ニ關スル事
- 第五 府ノ收入ニ屬スル河川及堤防敷地流水並道路橋上ノ占用使用料徵收ニ關スル事
- 第六 府ノ收入ニ屬スル河川堤防ノ生産物拂下代金徵收ニ關スル事

- 第七 府ノ收入ニ屬スル河川ノ土石、砂利拂下代金徴收ニ關スル事
- 第八 河川法施行ニ係ル河川堤防敷地及流水占用使用料其ノ他河川ヨリ生スル收入金滯納處分ニ關スル事
- 第九 市場設置ニ關スル事但シ共同市場ニ係ルモノヲ除ク
- 第十 賣藥請賣行商閉止業ニ關スル事
- 第十一 賣藥請賣行商鑑札調製下附ニ關スル事 (明治三十三年三月三日大阪府令)
- 第十二 市立小學校教員恩給基金納金徴收ニ關スル事 (明治三十四年十二月府令)
- 第十三 小學校教員及幼稚園保母檢定手数料徴收ニ關スル事 (明治三十五年三月府令第三十五號追加)
- 第十四 小學校教員及幼稚園保母免許狀書換及再渡手数料徴收ニ關スル事 (明治三十七年十一月府令第八十九號追加)
- 第十五 府税ノ賦課徴收ニ關スル事 (明治三十九年二月二日大阪府令第二二號追加)
- 第十六 府税滯納處分ニ關スル事(全上追加)

掃除監視吏員定員及

給料規程

明治三十三年三月廿九日
大阪府令第二二三號

明治三十三年法律第三十一號汚物掃除法第五條ニ依リ大阪
市及堺市ニ掃除監視吏員ノ設置ヲ命ス其定員及月俸額ハ左
表ニ依ルヘシ

大阪市	掃除監督長	一人	四拾圓以上 百圓以下
	掃除監督	十五人	貳拾圓以上 五拾圓以下
	掃除巡視	百五十人	拾貳圓以上 貳拾圓以下

(中略)

右ノ人員ナ一昨ニ置キ難キ事情アルトキハ知事ノ認可ヲ得
テ之ヲ減少シ三ケ年以内ニ補充スルコトヲ得但大阪市ニ於
テハ掃除監督十人掃除巡視百人以下ニ減スルコトヲ得ス

(中略)

掃除巡視採用規則

明治三十三年三月三十日
大阪府令第二十四號

明治三十三年三月内務省令第六條第七號ニ依リ大阪市及堺
市掃除巡視採用規則左ノ通定ム

掃除巡視採用規則

- 第一條 掃除巡視ハ此規則ニ依リ試験合格者中ヨリ之ヲ採
用ス但シ左ニ該當スル者ハ試験ヲ經シテ採用スルコト
ヲ得
- 一 曾テ判任官以上ノ職ヲ奉シ又ハ市吏員ノ職ニ在リタ
ル者
- 二 判任官以上ニ任用セラルヘキ資格ヲ有スル者
- 三 曾テ巡查ノ職ニ在リタル者
- 四 曾テ陸軍兵卒ト爲リ下士適任證書ヲ有スル者
- 第二條 掃除巡視志願者ハ年齢二十一年以上四十五年未満
ニシテ徵兵ニ相當セス且ツ左ノ諸項ニ抵觸セサル者タル
ヘシ
- 一 重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若ハ同上ノ刑ニ處セラル

ヘキ罪ヲ犯シ單ニ監視ニ附セラレタル者及輕禁錮ノ刑
ニ處セラレ滿期後五年ヲ經過セサル者

二 身分不相應ノ負債アル者又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復權
ヲ得サル者

三 官吏懲戒令巡查懲罰例ニ依リ其職ヲ罷免セラレ若ク
ハ故ナク三年以内ニシテ掃除巡視ノ職ヲ辭シ二年ヲ經
過セサル者

四 品行方正ナラス又ハ酒癖暴行ノ癖アル者

第三條 掃除巡視ノ体格検査ハ左ノ諸項ニ適合スルヲ以テ
合格トス

- 一 體質強壯ニシテ身體各部ニ異狀ナキ者
 - 二 身長五尺以上ノ者
 - 三 兩眼ノ視力四分ノ三以上ニシテ辨色力完全ノ者
 - 四 聽力完全ノ者
 - 五 言語應答明瞭ナル者
 - 六 精神完全ナル者
- 第四條 掃除巡視ノ學術試験ハ左ノ諸項ニ適合スルヲ以テ
合格トス

- 一 執務上必要ノ法規類ヲ理解シ得ル者
- 二 普通往復文及記事文ヲ作り得ル者
- 三 算術(加減乗除)ヲ爲シ得ル者
- 四 普通ニ楷書又ハ行書ヲ書キ得ル者
- 第五條 掃除巡視ノ採用試験ハ掃除監督二名以上立會ノ上掃除監督長之ヲ施行ス
- 第六條 掃除巡視ハ採用ノ日ヨリ三ケ年以内ハ疾病ニ由ルノ外私事ノ故ヲ以テ其職ヲ辭スルコトヲ得ス
- 第七條 掃除巡視ノ採用試験ニ關スル手續ハ市長之ヲ定メ當廳ノ認可ヲ受クヘシ
- 第八條 掃除巡視ノ採用手續ハ一般市吏員ノ例ニ依ル

●小學校教員旅費支給方

明治四十年十月十六日
大阪府學乙第二九三九號

小學校教員旅費支給方ニ關シ北河内郡長ヨリ問合ニ對シ左記ノ通り回答候條爲念此段及通牒候也

大阪府内務部長

大阪市長宛

一 小學校教員ニシテ行賞辭令受領ノ爲メ出張シタル場合ハ職務上ノ出張ニアラザルヲ以テ旅費支給スヘキモノニアラス

一 師範學校卒業生新任ノ場合ハ召喚ト看做シ同校ヲ起點トシ召喚旅費支給セラルヘシ

明治四十一年五月三十一日印刷
 明治四十一年六月十五日發行

發行者 大阪市役所

大阪市南區安堂寺橋通一丁目一番地

印刷者 濱田正夫

電話東一三三八番

大正十四年六月十五日發行
大正十四年六月十五日發行

大正十四年六月十五日發行

大正十四年六月十五日發行

031199-000-6

CZ-1113-74-04

大阪市例規類纂

大阪市参事会 / 編

M41

BBD-0164

